

SAGA
REHABILITATION
HOSPITAL
ANNUAL REPORT

2018

60th anniversary

病院年報 診療活動報告



<http://www.sagareha.or.jp>



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT

佐賀リハビリテーション病院年報目次

病院活動に関する統括

医事統計

看護部活動報告

リハビリテーション部活動報告

薬剤課・栄養課・放射線課・医療相談課活動報告

居宅サービス・みずがえ活動報告

訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ活動報告

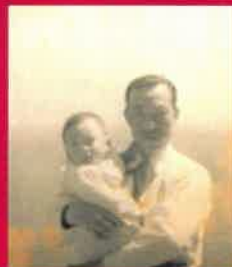
吉原デイサービス活動報告

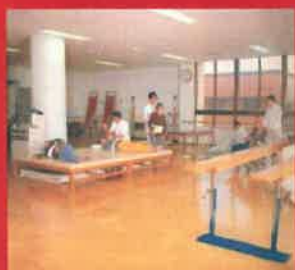
夢館活動報告 (DH 吉原・HP 吉原・GH 吉原)

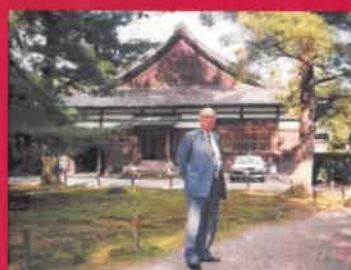
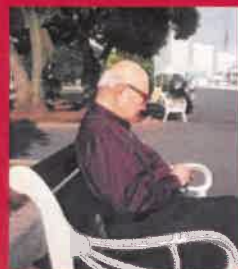
福寿荘活動報告



60周年











トップ対談 佐賀市医師会新会長

市民の健康と暮らしを守る 佐賀市医師会 ～安定的で継続した地域医療を届けるために～



団塊の世代が後期高齢者となる2025年が目前に迫り、日本は本格的な超高齢社会を迎えます。地域医療や高齢者福祉のさらなる充実が求められるなか、今年6月22日、佐賀市医師会の新会長に吉原正博氏(佐賀リハビリテーション病院理事長)が就任されました。市民の健康な暮らしを支える佐賀市医師会の役割と今後の展望について、佐賀新聞社の中尾浩一郎社長がうかがいました。

佐賀市医師会 会長
吉原 正博氏

佐賀法人協会の「佐賀リハビリテーション病院」理事長、佐賀大学医学部附属病院(佐賀44)、肥前大学医学部附属病院(佐賀44)院長、佐賀市医師会会長(佐賀44)。
●昭和56年 佐賀大学医学部卒業
●昭和57年 佐賀大学医学部(佐賀)内科学専攻
●平成元年 佐賀市医師会副会長(佐賀)に就任
●平成10年 佐賀市医師会副会長(佐賀)に就任
●平成17年 佐賀市医師会副会長(佐賀)に就任
●平成20年 佐賀市医師会副会長(佐賀)に就任





★★★ゆめっこ保育園★★★





🎃🎃🎃 ★2018★ 🎃🎃🎃



栄の国祭り



防災訓練



**SAGA
REHABILITATION
HOSPITAL
ANNUAL REPORT**



敬老会



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT



クリスマス会



創立 60 周年 記念式典





**SAGA
REHABILITATION
HOSPITAL
ANNUAL REPORT**

平成30年度を振り返る

理事長 吉原正博

今年度はこれまでと違う忙しさに追われた一年となりました。

平成30年4月12日(木)の夜は新人歓迎会、並びに国試合格者の祝賀会ということで美味しい酒をたっぷり満喫して帰宅したその直後に自宅で転倒しました。頸椎損傷し、激痛のため両手が動かないという恐ろしい体験をしました。一晩中七転八倒した挙句、翌13日に朝一番で好生館に救急搬送されて救急病棟に入院という人生初体験。幸いにも好生館の先生方の適切な医療、看護師さん、リハビリスタッフの献身的な加療にて若干の後遺症が残ったものの一週間で退院の運びとなりました。当院の患者さんの大半が経験しておられる「突然身体が自由が奪われる」ということの意味を身をもって知りました。患者となって改めて優しい看護がどれだけ重要かということも痛切に感じました。

実はその2週間後の4月25日が36年ぶりに行われた佐賀市医師会長、役員選挙という大変な時期で入院中もおちおち寝てはいられない気分。動けない自分に代わって選挙のために動いてくれた事務長さん始めスタッフの皆さん、そして医師会の現理事、役員たちの協力のおかげで選挙ではダブルスコアで勝利することができました。6月22日の佐賀市医師会定例総会で正式に第15代佐賀市医師会会長に就任しました。

これまで理事として上村前会長の仕事を支えてきましたが、いざ会長となってみると、その当てる職の多さにはただただ驚くばかりでした。30個は越す肩書き、それに加えて医師会立看護学校の学校長としての仕事も加わり、自院でゆっくり患者さんを診る時間が少なくなりました。紫藤院長を始め、先生方には大変ご迷惑をかけることになってしまいました。亡き父も医師会活動のため多忙で病院を空けることが多かったのを思い出します。留守番を任された当時は恨めしく思っていたものですが、いざその活動を始めてみるとそのやりがいや充実感に驚いています。父と同じ血を感じています。どんなに会議や懇親会が続いても楽しく仕事ができます。そしてこの活動を当院のためにも生かしていきたいと考えております。これからも迷惑のかけっぱなしと思いますが、どうかお許し下さい。

今年度の一番の病院の変化としては、12月から導入した電子カルテだと思えます。困難な道のりではありましたが、皆さん熱心に取り組んでいただき、徐々にではありますが、軌道に乗ってきたと感じています。当院のスタッフの素晴らしいのは、病院で決めた目標に対して文句ひとつ言わずに前向きに立ち向かっていく姿勢だと思います。黙々とこなしているうちにひとつずつ形になって実現させてくれています。感謝と共に誇りに思っています。当院のモットーであるチーム医療を継続していくためにも、各部署が理解、協力をしていき、患者さんのために今まで以上の医療提供をしていきたいと考えます。

5月より年号も平成から令和に変わりました。新しい時代にも佐賀県一、いや九州一のリハビリ専門病院を目指してみんなで頑張っていきましょう。



平成30年度理事長活動報告

- 4月
- 1日 10時～12時：一般向け佐賀市医師会立看護学校内覧会
 - 2日 佐賀県研修医合同オリエンテーション18時～MC
 - 3日 佐賀ライオンズクラブ花見例会18時30分～神野茶屋
 - 5日 佐賀市医師会立看護専門学校入学式13時～現地
 - 7日 佐賀市医師会会館落成式15時～式典 16時～祝賀会 現地にて
 - 9日 こども診療所開院式19時～現地
 - 10日 久友会19時～志乃
 - 11日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
上記終了後天ぷら千鳥で食事会
 - 12日 新人歓迎会19時～ランパーダ
 - 25日 佐賀ガス産業医13時30分～現地
佐賀市医師会臨時総会19時～看護学校（会長選挙）
 - 28日 久留米大学代議員会定期総会15時～筑水会館
 - 30日 ティータイムのひとつときを14時～ロマン座
- 5月
- 1日 佐賀ライオンズクラブ理事会、例会11時45分～オータニ佐賀
 - 5日 CM高柳結婚披露宴17時～アイランドヒルズ迎賓館
 - 6日 PT北村結婚披露宴12時30分～マリトピア
 - 7日 池田県医師会会長、松永県医師会副会長、枝國常任理事と食事会
18時30分～オータニ佐賀楠
 - 9日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会監査会18時30分～看護学校
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
上記終了後大成で食事会
 - 10日 智博会19時～いちりん
 - 11日 赤松小学校内科健診14時～現地
権藤好生館副館長と懇親会19時～天ぷらみねまつ
 - 12日 OT吉田、OT城野結婚披露宴16時40分～Anfil
 - 14日 同級生入江均君お通夜19時～長崎市教会
 - 15日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
 - 16日 智仁会理事食事会19時30分～七島
 - 17日 介護認定審査会14時～佐賀中部広域連合
 - 21日 佐賀県研修医運営協議会18時30分～MC
 - 22日 若獅子会18時30分～やきとり悟空
 - 23日 佐賀ガス産業医13時30分～現地
 - 25日 老人ホーム入所判定会議13時30分～ほほえみ館
佐賀大学脳神経外科医局員との懇親会19時～大成
 - 26日 佐賀市医師会立看護専門学校専門課程50周年記念式典14時～現地
同上 講演会15時～現地
同上 祝賀会17時30分～オータニ佐賀
 - 30日 佐賀市医師会理事会19時～看護学校
上記終了後鳥菊で食事会
 - 31日 佐賀県医師会定例代議員会19時～MC
- 6月
- 1日 好生館整形外科受診14時～
 - 2日 佐賀西高9回生委員会10時～メートプラザ
佐賀県病院協会総会15時30分～MC
 - 3日 OT山中、Ns平河結婚披露宴
12時30分～アクアデヴュースイートテラス
枝國幸恵氏お通夜18時～リバーズ典礼殿
 - 4日 枝國幸恵氏告別式13時～リバーズ典礼殿
つぼみ会理事会19時～オータニ佐賀
 - 5日 佐賀ライオンズクラブ理事会、例会11時45分～オータニ佐賀
 - 8日 久友会19時～シャンリー

- 10日 佐賀大学医学部開講40周年祝賀会11時～オータニ佐賀
佐賀大学医学部内科学同門会16時～オータニ佐賀
- 13日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
上記終了後鉄板焼きくいで食事会
- 14日 介護認定審査会14時～佐賀中部広域連合
佐賀大学勤務医師と開業医の懇親会19時～オータニ佐賀
- 15日 講師会議18時30分～看護学校
- 18日 つばみ荘評議委員会19時～オータニ佐賀
- 19日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 21日 佐賀県医師会理事会15時～MC
地域医療構想中部医療圏分科会18時30分～中部保健福祉事務所
- 22日 佐賀市医師会定例総会19時～看護学校
- 23日 佐賀大学総合診療部同門会17時30分～創世
- 25日 佐賀県社会福祉法人経営協議会18時30分～オータニ佐賀
- 26日 佐賀大学脳神経外科阿部教授と懇親会19時～じゅせん
- 27日 佐賀ガス産業医13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～楊柳亭
- 28日 智博会19時～大成
- 29日 九州厚生局来院9時～12時
- 30日 宮崎市医師会看護学校視察14時～看護学校
佐賀県医師会定例総会15時～MC

7月

- 2日 平成30年度佐賀県救急医療協議会理事会18時～佐賀県庁正庁4階
第1回佐賀県メディカルコントロール協議会
19時～佐賀県庁新館4階特別会議室
- 3日 佐賀ライオンズクラブ例会12時30分～オータニ佐賀
- 4日 佐賀県ケデイカルコントロール検証部会18時30分～佐賀広域消防局
- 5日 運営会議19時～看護学校
- 7日 施設教育担当臨地実習指導者合同研修会14時～看護学校
神代社長、山口郵便局長と懇親会19時～きぶん
- 9日 地域医療支援病院運営委員会18時～NHQ佐賀病院
三師会19時～オータニ佐賀
- 10日 久友会19時～ランパーダ
- 11日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
上記終了後肉上手明月館で食事会
- 12日 介護認定審査会14時～佐賀中部広域連合
院内ビアパーティー18時～通所リハ室
- 13日 佐賀新聞社長と面談14時～佐賀新聞社
佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会18時30分～MC
- 14日 桐野好生館理事長、佐賀大学脳外科阿部教授と懇親会18時～楊柳亭
- 17日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 18日 佐賀市地域包括支援センター運営委員会13時30分～佐賀市立図書館
個別指導立ち会い（森山胃腸科）15時～九州厚生局佐賀事務所
こども診療所ミーティング19時～現地
- 19日 平成30年度健康増進佐賀市民会議14時～看護学校
佐賀県医師会理事会15時～MC
- 20日 地域医療支援病院運営委員会17時～好生館
- 21日 産業医研修会14時～MC
久留米大学医学部同窓会佐賀支部総会18時～オータニ佐賀
- 22日 在宅医9時～
- 23日 上村先生慰労会19時～オータニ佐賀
- 25日 佐賀ガス産業医13時～現地
個別指導立ち会い（コメディカルクリニック佐賀）
14時～九州厚生局佐賀事務所
佐賀市医師会理事会19時～オータニ佐賀

- 26日 智博会 19時～牛庵
- 30日 佐賀ライオンズクラブ主催会長就任祝い 19時～オータニ佐賀
- 31日 佐賀市行政部長と佐賀市医師会役員との懇親会 19時～鳥菊

- 8月
- 1日 佐賀中部保健福祉事務所と佐賀市医師会役員との懇親会
19時～ランパーダ
 - 2日 佐賀市保健事業関係会議 19時～看護学校
 - 4日 十人会 19時～くらおか亭
 - 5日 沖田信光先生叙勲祝賀会 17時～オータニ佐賀
 - 6日 楠葉会 19時～アパホテル
 - 8日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
学校保健安全委員会 14時～赤松小学校
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
上記終了後くらおか亭で食事会
 - 9日 介護認定審査会 14時～佐賀中部広域連合
 - 10日 久友会 19時～オータニ大観苑
 - 11日 ひらまつ病院 35周年感謝のタベ 18時30分～オータニ佐賀
 - 12日 佐賀西高 9回生打ち合わせ会 15時20分～オータニ佐賀 1階ロビー
 - 13日 初盆参り 13時～7件
 - 14日 智博会 19時～グリム
 - 16日 佐賀県医師会理事会 17時～MC
佐賀県医師会理事会臨時代議員会 19時～MC
 - 18日 中四九地区医師会立看護学校協議会 14時～島原市
 - 19日 新江口病院落成式 12時30分～マリトピア
たかまろ君長男誕生祝い 18時～オータニ佐賀 ロータス
 - 20日 招福会 18時30分～きりん
 - 21日 STSCM撮影 14時～第2診察室
佐賀県病院協会理事会 19時～MC
 - 22日 佐賀ガス産業医 13時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
上記終了後志乃で食事会
 - 23日 老人ホーム入所審査会 13時30分～ほほえみ館
南部水ヶ江班ビアパーティー 19時～オータニ佐賀 ビアテラス
 - 25日 ライオンズ対ホークス野球観戦 13時～ヤフオクドーム
 - 26日 同上
 - 28日 NHO佐賀病院勤務医師と開業医の交流会 19時～創世アメニータ
 - 29日 山口よしのり佐賀県知事県政報告会 18時～佐嘉神社記念館
佐賀中部保地域リハ広域協議会 19時～看護学校
 - 31日 佐賀大学脳神経外科学学生講義 14時～脳外科医局
佐賀市医師会長就任祝い 19時～オータニ佐賀

- 9月
- 3日 佐賀市医師会立看護学校監査 10時～挨拶 15時30分～総評
 - 4日 佐賀ライオンズクラブ例会 12時30分～オータニ佐賀
 - 5日 個別指導立ち会い（グリーンクリニック） 14時～九州厚生局佐賀事務所
ワタキューセイモア村田副社長らと食事会 19時～じゅせん
 - 6日 介護認定審査会 14時～佐賀中部広域連合
グリーンクリニック崔、山本先生らと食事会 19時～きぶん
 - 8日 佐賀救急医学会 13時～メートプラザ
上記終了後 18時～焼肉ひらぬまで反省会
 - 10日 久友会 19時～肉上手明月館
 - 11日 学術講演会 19時～オータニ佐賀
 - 12日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
地産保打ち合わせ会 18時～看護学校
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
 - 15日 久留米大学医学部 26回生同窓会（山木副学長お祝い）
19時～ホテル創世久留米
 - 16日 鶴田満浩先生次男結婚披露宴 12時～オータニ博多

- 18日 佐賀県病院協会理事会 19時～MC
- 19日 佐賀ガス産業医 13時30分～現地
山口知事県政報告会 18時30分～佐嘉神社記念館
こども診療所ミーティング 19時～看護学校
- 20日 地域産業保健センター協議会 14時～看護学校
佐賀県医師会理事会 15時～MC
地域医療構想（中部医療圏）講演会&懇親会 19時～オータニ佐賀
- 21日 好生館地域医療連携懇談会 18時30分～オータニ佐賀
- 22日 佐賀西高9回生同窓会準備 10時～メートプラザ
- 23日 佐賀市医師会立看護学校学校祭 8時30分～諸富公園多目的広場
- 24日 ライオンズクラブソフトボール大会応援 9時～佐賀市民運動場
招福会 18時30分～ぎんえん
- 25日 若獅子会 18時30分～天ぷらなにわ
- 26日 吉原医設決算説明（諸井会計来院） 15時30分～4階理事長室
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
- 27日 介護保険運営協議会 15時～オータニ佐賀
智博会 19時～ユニオン
- 28日 九州医事新報取材 14時～診察室

- 10月 1日 佐賀市高齢福祉課田中部長、佐賀市医師会理事との食事会
19時～じゅせん
- 3日 平成30年度佐賀大学医学部解剖体慰霊式 14時～北佐賀草苑
藤川先生、佐賀新聞社と食事会 18時～おうせ
- 4日 介護認定審査会 14時～佐賀中部広域連合
佐賀県地域医療介護総合確保促進会議 18時30分～佐賀県庁
- 5日 院内お月見会 18時～通所リハ室
阿部教授らと食事会 19時～鳥菊
- 7日 佐賀西高9回生ワールドカップイヤー同窓会 18時～グランデはがくれ
- 9日 久友会 19時～すし栄
- 10日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
- 11日 招福会 18時30分～千寿
- 13日 うんどう会ごっこ 9時15分～ゆめっこ保育園
看護師卒後研修会 13時50分～看護学校
- 16日 佐賀県病院協会理事会 19時～MC
- 17日 こども診療所ミーティング 19時～現地
佐賀中部病院リハ科Dr南里と食事会 19時30分～じゅせん
- 18日 佐賀県医師会理事会 15時～MC
- 19日 PET-CTを含んだ人間ドック検診 9時～福岡病院
- 20日 西純平先生結婚披露宴
12時30分～WITH THE STYLE FUKUOKA
- 21日 諸井会計主催ソフトボール&ミニバレーボール大会応援
8時30分～大和中央公園
- 23日 佐賀中部広域連合職員来院 8時30分～当院
走ろう会打ち合わせ会 14時～看護学校
運営会議 19時～看護学校
- 24日 佐賀ガス研修医活動 13時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
- 25日 郡市医師会各担当理事連絡協議会 18時45分～大正屋
- 30日 岸川孝晟先生お通夜 18時～メモリードホール新館

- 11月 1日 介護認定審査会 14時～佐賀中部広域連合
産業医研修会座長 19時～MC
- 2日 就学時内科健診 14時～赤松小学校
- 3日 音琴要一郎先生長男結婚披露宴
15時30分～ヒルトン福岡シーホークホテル
- 5日 招福会 18時30分～縁

- 6日 佐賀ライオンズクラブ例会 12時30分～オータニ佐賀
- 7日 個別指導立ち会い（萩原脳神経外科クリニック） 14時～九州厚生局
中部地区MC協議会 18時30分～佐賀広域消防局
同上 検証部会 19時～佐賀広域消防局
- 9日 久友会 19時～くらおか亭
- 10日 戴帽式 13時～看護学校
- 12日 佐賀中部病院勤務医師と開業医の懇親会 19時～オータニ佐賀
- 14日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
- 15日 佐賀県医師会理事会 15時～MC
智博会 18時30分～さいくう
- 17日 糖尿病教室終了後懇親会 18時～オータニ佐賀
- 19日 佐賀県臨床研修医運営協議会 18時30分～MC
- 20日 佐賀中部保健福祉事務所立ち入り検査 13時30分～当院
佐賀県病院協会理事会 19時～MC
- 21日 個別指導立ち会い（龍皮フ科クリニック） 14時～九州厚生局
こども診療所ミーティング 19時～現地
運営会議 19時30分～看護学校
- 22日 生活習慣病とPSA検診を考える会（座長） 19時～マリトピア
- 23日 佐賀大学脳神経外科開講記念会 18時～創世
- 24日 久留米大学医学部同窓会全国支部長会議 16時～筑水会館
佐賀大学平成30年度病院長会議 19時～グランデはがくれ
- 27日 若獅子会 18時30分～ゆうき
- 28日 佐賀ガス研修医活動 13時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
- 29日 走ろう歩こう会会議 14時～看護学校
働き方改革に関する懇話会 18時30分～佐賀県庁
南部水ヶ江班忘年会 19時～牛庵
- 30日 佐賀中部病院地域連絡協議会 18時～中部病院2階会議室

12月

- 1日 佐賀県医師会設立記念祝賀会 16時30分～MC
- 3日 介護認定審査会第1回正副委員長会議 19時～オータニ佐賀
- 4日 佐賀ライオンズクラブ例会 12時30分～オータニ佐賀
三師会 19時～オータニ佐賀
- 6日 運営会議 19時～看護学校
- 8日 産業医研修会 14時30分～MC
- 10日 看護学校職員賞与支給 11時～看護学校
久友会 19時～シャトー文雅
- 11日 むつごろう班食事会 19時15分～南大門
- 12日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
佐賀市医師会理事会&忘年会 19時～楊柳亭
- 13日 介護認定審査会 14時～佐賀中部広域連合
- 14日 総合診療部忘年会 19時30分～シャンリー
- 15日 久留米大学医学部同窓会佐賀県連合支部総会 18時～オータニ佐賀
- 16日 佐賀県知事投開票
- 18日 佐賀県病院協会理事会&忘年会 18時45分～志乃
- 19日 個別指導立ち会い 14時～佐賀大学附属病院
地域医療構想親会議 18時30分～佐賀県庁4階特別会議室
こども診療所ミーティング&忘年会 19時～オータニ佐賀
- 20日 佐賀県医師会理事会 15時～MC
- 21日 佐賀リハ病院つぼみ荘合同忘年会 19時～オータニ佐賀
- 23日 池松久美子結婚披露宴
11時～WITH THE STYLE FUKUOKA
- 25日 若獅子会 18時30分～
- 26日 佐賀市医師会理事会 19時～看護学校 終了後肉上手明月館で食事会
- 27日 智博会 18時30分～牛庵
- 28日 御用納め

- 平成31年 1月
- 1日 新春走ろう、歩こう会 6時佐賀県庁前集合
 - 2日 吉原会 13時～実家
 - 4日 新春賀詞交換会 11時30分～オータニ佐賀
 - 7日 看護学校講義 14時30分～現地
辻発彦新春パーティー 19時～龍登園
 - 9日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
終了後文雅にて正島先生、枝國先生の誕生日会
 - 10日 看護学校講義 14時30分～現地
 - 11日 久友会 19時～楊柳亭
 - 12日 佐賀市医師会新年会 18時～オータニ佐賀
 - 14日 在宅医（午前中勤務）
 - 15日 佐賀県病院協会理事会 19時～MC
 - 16日 こども診療所ミーティング 19時～現地
 - 17日 佐賀県医師会全理事会 15時～MC
 - 18日 経営協理事会 18時30分～オータニ佐賀
メデイカルコントロール検証作業部会 18時30分～佐賀広域消防局 4階
 - 19日 九州首市医師会連絡協議会 14時～熊本ホテル日航（宿泊）
 - 20日 同上 12時まで
福岡たかまる君を励ます会 17時30分～オータニ佐賀
 - 21日 招福会（とんかつきのや野口社長誕生日会） 19時～くらおか亭
 - 22日 地域医療支援病院委員会 17時～好生館
 - 23日 佐賀ガス産業医活動 13時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
終了後くらおか亭で権藤副館長の誕生日会
 - 24日 介護認定審査会 14時～佐賀中部広域連合
智博会 18時30分～大成
 - 26日 在宅医療市民公開講座
14時～看護学校講堂（ACPについて）冒頭挨拶施行
 - 28日 SAGAHIMAT理事会 16時～現地
 - 30日 佐賀中部地区健康危機管理対策協議会
18時30分～佐賀中部保健福祉事務所
地域医療構想中部医療圏分科会 19時30分～佐賀中部保健福祉事務所
 - 31日 運営会議 19時～看護学校 終了後さいくうにて懇談会
- 2月
- 1日 佐賀大学泌尿器科野口教授と食事会 19時～元気屋
 - 2日 ふくの会 18時～楊柳亭
 - 3日 吉原家誕生日祝い 17時30分～シャンリー
 - 4日 神代社長と食事会 19時～楊柳亭
 - 6日 個別指導立ち会い 14時～メートプラザ
田村顧問税理士、光岡副会長、溝上経理担当理事と
医師会人事に関しての会議 19時～志乃
 - 7日 ぶんぶんテレビパートナーズコンペンション懇親会 18時～オータニ佐賀
腎臓検診委員会 19時～末広
 - 8日 正博（63歳）誕生日
好生館シンポジウム「地域医療構想と地域包括ケア」 19時～MC
 - 9日 PT西、近藤結婚披露宴 16時～オータニ佐賀
 - 10日 PT熊倉結婚披露宴 11時20分～マリトピアフオレストチャーチ
 - 13日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
終了後肉上手明月館で誕生日（私と田中博志先生）会
 - 14日 佐賀市地域包括支援センター運営委員会
14時～佐賀市立図書館2階多目的ホール
ワタキュー副社長らと食事会 18時30分～くらおか亭
 - 15日 好生館佐藤館長らと食事会 19時～縁
 - 16日 栄城医会 18時～オータニ佐賀

- 19日 佐賀県病院協会理事会 19時～MC
- 20日 こども診療所ミーティング 19時～現地
- 21日 走ろう会歩こう会決算報告会 14時～看護学校
佐賀県医師会全理事会 15時～MC
佐賀中部地域いきいきを考える会 19時～佐賀中部保健福祉事務所
- 22日 好生館勤務医師と開業医の懇親会 19時～オータニ佐賀
- 23日 看護学校高等課程入学説明会冒頭挨拶 13時30分～看護学校講堂
佐賀医学会（医師の働き方改革について） 17時10分～MC
- 26日 学校健康管理委員会 14時～赤松小学校
若獅子会 18時30分～オータニ佐賀
- 27日 佐賀ガス産業医活動 13時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校 終了後鉄板焼きくいで食事会

3月

- 1日 光岡副会長、溝上理事と人事について話し合い 19時～末広
- 2日 看護学校卒業式 13時～看護学校講堂
謝恩会 18時45分～オータニ佐賀
- 3日 高取家と食事会 18時30分～HEIWA
- 4日 介護認定審査会正副委員長会議 19時～オータニ佐賀
- 6日 石丸忠夫君御母堂様のお通夜 18時～メモリードゆめさき
- 7日 運営会議 19時～看護学校
- 8日 佐賀大学小児科Dr大塚御父堂様お通夜 18時～JA会館
腎臓検診部会との打ち合わせ会 19時～縁
- 11日 NHO佐賀病院地域医療支援会議 18時～現地
久友会 19時～志乃
- 13日 佐賀女子短大産業医活動 12時30分～現地
佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
終了後ホテル創世で横尾理事の誕生日祝い食事会
- 14日 佐賀市医師会専門課程入学説明会冒頭挨拶 13時30分～看護学校講堂
佐賀県医師会全理事会 15時～MC
- 15日 介護保険運営委員会 15時～オータニ佐賀
阿部教授と懇親会 19時～ゆうき
- 17日 未来結婚披露宴 10時～オータニ佐賀
- 18日 医療安全従事者研修会 19時～看護学校講堂
終了後演者と食事会 20時～じゅせん
- 19日 佐賀県病院協会理事会 19時～MC
- 20日 こども診療所ミーティング 19時～現地
智博会 20時～さいくう
- 22日 佐賀大学皮膚科若手医師との懇親会 19時～縁
- 23日 佐賀女子短大内田理事長らと食事会 19時～千鳥
- 24日 さがさくらマラソン応援 9時～赤松小学校近辺
Dr福田雄高と会合 12時～オータニ佐賀
- 25日 栄仁会評議委員会 18時30分～オータニ佐賀
つぼみ会理事会 19時～オータニ佐賀
- 26日 メディカルコントロール検証作業部会
18時30分～佐賀中部広域消防署4階
- 27日 佐賀市医師会理事会 19時～看護学校
終了後くらおか亭でDr正島、光岡の誕生日祝い食事会
- 28日 サガハイマツト理事会 16時～現地
佐賀県医師会臨時代議員会 19時～MC
- 29日 佐賀市医師会退職者辞令交付式 16時45分～現地
佐賀県医療審議会 18時30分～佐賀県庁
皮膚科永瀬医局長らと食事会 20時～さいくう
- 31日 丸山バスケット男子試合 10時～佐賀のへそふれあいセンターネイブル

「われわれに求められていること」

回復期リハビリテーション病棟の今後のあり方

紫藤 泰二

「今後のあり方」とは裏を返せば「質の向上」である。回復期リハビリテーション（回復期リハ）病棟のミッションは、急性期後の重度障害者を医学的管理の下、多職種チームによる集中リハ・ケアにより、ADLを改善し、在宅復帰に導くことである。これらの達成には、①医学的管理・リスク管理、②リハ介入、③リハ看護、④チーム医療、⑤退院後のリハ・ケア継続——の強化充実が欠かせない。

脳卒中では入院中、介入量が不十分だったり、既存症、合併症、肺炎等を起こしたりすると本来回復するはずのゴールに辿りつけなくなる。よって介入のタイミングをもう少し前に持っていく必要がある。転倒・骨折や再発にも留意したい。

現在急浮上している問題は、回復期リハ病棟に以前よりも重度な障害を抱えた状態で入ってこられる方が多く見られることです。再発による再入院、認知症や複合的な疾患の合併などADL改善がより難しい例、ADL改善＝在宅復帰という図式が成立しない老老介護・逆介護や独居例の増加です。患者・介護者共に、介入の強化、在宅の環境設定、社会資源の活用で一層の工夫が必要となっています。病棟内の回復期リハチームに加え、在宅のコミュニティの中の地域包括ケアに参画する医療・介護サービススタッフとの関わりもより一層大事だという点を強調したい。



電子カルテ導入

黒原 和博



当院では昨年 12 月 1 日から電子カルテの運用を始めました。7 月ごろから運用に向けて準備が始まり、当院に最適化されたシステムを構築するために会議が重ねられました。9 月からは職種ごとに操作研修が繰り返し実施されました。万全を期するために、導入直前にはリハーサルも繰り返し行われました。実際の運用が始まった 12 月には、職員は勤務終了後もカルテ入力の確認作業に追われました。また、電子カルテの導入後にもシステムの修正を繰り返し、最適化作業が続けられました。

年度の終わりには、皆、電子カルテの使用に慣れたようです。電子カルテは一度慣れてしまうと、2 度と「紙カルテ」には戻りたくなくなるほど便利なものです。

電子カルテの長所を列举しますと、

- 医師（すべての職員）のカルテ記事が読みやすくなる
 - 処方入力、文書作成が容易になり、読みやすいものになる
 - 入院時指示など、ルーチンで行っている内容をセットとして登録して簡単に一括入力できる
 - 検査結果などを台紙に貼って整理する必要がなくなる
 - 多職種の記録を一元化できる。
 - 紙カルテの保管に必要な物理的スペースを大幅に減らせる
 - 紙カルテを探す手間が要らないので、すぐにカルテ記載ができる
- などなど、たくさんの長所があると思います。

ただし、気がかりなデメリットとして、災害時などに停電した場合、アクセス不能に陥り、混乱が生じる恐れがあります。

電子カルテの導入率について、一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会が平成 29 年に行った調査によると、病床数 50 から 99 床の病院における導入率は 20.1%でした。一般に大規模な病院群ほど導入率が高くなっており、当院と同規模の病院群の中では、比較的早く導入したということが出来ます。

電子カルテを有効活用し、今後も、患者さんへのサービス向上、および医療の安全性の向上に努めていきます。

おみくじ雑談



事務長 飯盛 克己

病気をして、変わったことが、占いを見るようになりました。

毎朝の目ざましテレビでの今日の運勢は、家や車の中で必ず見えています。

神社では、おみくじを引くようになりました。勿論信用はしていませんが、思い当たることがあれば注意しています。

占いを見なかった理由は、学生時代、大宰府のおみくじで凶を引いて以来、おみくじの信用することはやめ、他の占いも信用することはしませんでした。

もともと、日本のおみくじの起源は、南北朝時代に中国からもたらされた「天竺靈籤（てんじくれいせん）」であるとされているそうです。天竺靈籤とは、観音菩薩のお告げとされる五言四句の漢詩集を、一首ずつ短冊状に作ったもので、観音經の教えを広めるために、寺院に参拝に来た人々に一つ一つ手渡しをして配ったものだそうです。すると仏教の教えのはずが、どうして神社なのだと馬鹿にして、見向きもしなくなり、40年もたちました。

しかし今は、1日を大切に過ごそうと思い、今日の日はどんな日なのかと、毎朝の占いが楽しくなりました。カーナビが伝える今日は何の日かも、後でスマホで調べるようになり、新たな発見をしています。そもそも、出る確率の低いものを、引き当てたのに、今が一番悪いので、これからはいいことがあるはずなのに、腹を立てたのは、若かったからなのではないでしょうか？



平成 30 年度をふりかえって

夢館 館長 吉原 眞紀子

夢館がスタートして 5 年半が過ぎました。夢館を第二の我が家のように思ったださっている方々を本当に有難いと思いますしその気持ちに応えたいとも思っています。今年度は悲しい別れが続きました。入られた時にはお元気だった方が次第に介助量が増えて来たなあと感じるようになり、いよいよ体調がおもわしくなくなり、悲しい別れへと移行していく方が続きました。悲しかったけれど、救いは「父は夢館が大好きでした。」とか「夢館に戻るのが目標でした。」「夢館で幸せでした。」とご遺族様からお言葉をいただいたこと。職員の間が頑張ってくれたおかげだなと心から有難く思ったことでした。夢館はその方の人生の最終ページを託された場所なのだと改めて気づかされました。

定期的な取り組みとして毎月の生け花教室、歌声喫茶、絵手紙教室を三本柱として毎月続けています。副院長先生の奥様始め、毎月通ったださっているボランティアの皆様には本当に感謝です。グループホームでは料理レクが人気。今年度は夏祭りも企画してくれました。通所リハでは年間を通じて様々なイベントを企画してくれています。運動会や敬老会、クリスマス会など皆様、本当に楽しみになさっています。

毎朝、夢館に入ると、清々しく掃除され季節季節の飾りつけをした居心地のいい空間が迎えてくれます。総務や訪問の皆さんが常に季節の香りを届けようと手作りの飾りつけに勤しんでくれているおかげです。

令和の新しい時代も、皆様に愛される夢館作りにみんなで頑張っていこうと思います。



絵手紙教室風



歌声喫茶、いつも副院長先生の奥様と



運動会 人気競技の球転がし、皆様 大興奮でした。



毎月第1水曜日は生け花教室



医局 吉原麻里
2018 年度振り返り

← ゆめっこ保育園の病院散歩は楽しみ！

ヒヤヒヤした分喜びもひとしおだった祝賀会→



血液内科外来を開設 患者数はさほど多くはありませんが、輸血などの補助療法が必要な方、骨髄移植後の予防接種が必要な方、血液疾患をお持ちでリハビリが必要な方の受け皿ができました。

佐賀市医師会会長選挙 理事長(父)が怪我で救急搬送され、その直後に選挙がありました。父の代理で医師会の先生方に応援をお願いに伺った際や、投票日、その後の医師会の仕事の運びなどに対して、客観的に父が(私も)たくさんの方に支えていただいているという実感が湧いて貴重な経験となりました。物心ついた頃から「医師会長の孫」と呼ばれていましたが、最近は「医師会長の娘」と言われることが増えました。

リハ医として 回復器リハ病棟専従医師研修会に参加しました(5月)。三女の産後、単身で宿泊の出張は初めてで、それだけで興奮！二日間みっちり研修して頭がパンパン！また日本リハビリテーション医学会の認定臨床医の認定を頂きました(3月)。熱心にご指導をいただいた紫藤先生、ありがとうございました。これからも専門医を目指して頑張ります。

佐賀リハ病棟デビュー 佐賀リハで働き始めたのは2012年ですが、長い間外来のみでした。病棟を担当し始めると、これまた面白い世界が待っていました。患者さんの細かい変化がわかるし、各職種が独立かつ連携している様子は頼もしい。大学病院ではあまり接点が無かったMSWや医事課とも強烈な連携を感じます。

グループホーム回診デビュー 今まで回診は付いて回るもの(教授回診とか院長回診とか)でしたが、グループホームでは単独で回っています。介護保険の実際を学べて勉強になります。

電子カルテ始動 乱筆な私にとって、ありがたいシステムです！ありがとうございます！

外来リハビリに通院 三女の発達に遅れがあり、整肢学園に毎週リハビリに通っています。最初は全身の緊張が低く、うつぶせにすると頭すら持ち上げられずにグッタリと寝てしまいましたが、少しずつ筋力がつき、今ではつたい歩きはお手の物！そろそろ自力で一步踏み出しそう！！

ゆめっこ保育園は永遠です！ 2018年4月に三女が入園、三姉妹全員がゆめっこ保育園にお世話になっています。また園医として健診も担当し、園児達が可愛くて癒やされます。2020年3月に次女と三女は卒園予定ですが、現在妊娠中なので、その子も引き続き入園予定です。この時代に待機児童問題に悩まされることなく安心して働ける幸せ。今後もお付き合いが続くのが嬉しいです。



新年走ろう会



粋メンコンテスト



ゆめっこ運動会

平成 30 年 医事課活動報告

平成30年 診療活動(実績)報告書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	訪問診療													0
	訪問診療(施設)	132	188	150	145	165	133	153	288	117	118	124	119	1832
検 査	胃カメラ	5	5	14	10	8	13	21	8	4	5	7	6	106
	ボタン交換	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	5
	ホルターECG	2	2	4	1	0	0	0	3	3	3	3	2	23
	ECG	101	105	107	59	128	85	124	86	53	39	64	33	984
	腹部エコー	11	22	14	12	12	28	22	13	6	4	8	2	154
	心エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CBC	84	120	75	75	110	65	85	78	42	57	62	53	906
画 像	単純撮影	242	314	268	200	273	224	312	278	164	185	210	253	2923
	VF	2	2	5	2	3	3	3	4	6	3	1	3	37
	他造影	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	5
	CT	116	107	92	79	103	96	117	94	89	92	87	95	1167
														0
保険予防	健康診断	76	120	108	41	65	35	58	99	25	1	27	45	700
	人間ドック	3	12	3	5	3	17	14	3	3	0	2	2	67
	特定検診	7	8	5	6	8	9	10	8	2	8	7	0	78
	佐賀市国保ドック	1	2	3	0	1	0	2	1	0	0	1	1	12
														0
														0
	救急来院	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2

平成30年度紹介来院統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介来院(2F入院)	18	14	12	19	20	17	17	9	19	16	12	20	193
紹介来院(3F入院)	18	21	14	9	23	17	18	18	17	17	17	19	208
紹介来院(外来)	1	6	4	6	4	5	7	1	3	2	2	10	51
合 計	37	41	30	34	47	39	42	28	39	35	31	49	452

平成30年度逆紹介統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
逆紹介病院(2F退院)	3	3	3	3	4	2	3	2	2	5	1	5	36
逆紹介病院(3F退院)	4	5	2	3	6	3	2	3	1	6	5	6	46
逆紹介病院(外来)	28	35	28	33	35	27	38	18	24	19	26	32	343
逆 紹 介 合 計	35	43	33	39	45	32	43	23	27	30	32	43	425

平成30年度施設紹介統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介施設へ(2F退院)	8	4	6	6	7	7	0	4	5	5	6	3	61
紹介施設へ(3F退院)	5	2	6	3	8	6	9	7	0	3	3	2	54
紹介施設へ(外来)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
施 設 紹 介 合 計	13	6	12	9	15	13	10	11	5	8	9	5	116

平成30年紹介病院別一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
佐賀大学医学部附属病院	8	3	3	2	8	12	4	3	4	4	1	6	58
佐賀県医療センター好生館	14	9	11	10	12	12	14	15	15	9	13	10	144
NHO佐賀病院	4	5	1	1	4	1	4	3	4	5	4	5	41
副島病院	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
福田脳神経外科	3	3	2	3	3	1	5	2	5	2	5	5	39
正島脳神経外科	1	3	0	1	0	1	4	0	0	1	0	1	12
百武整形外科	1	4	2	5	4	0	0	0	2	2	1	2	23
遠藤内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西有田共立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀中部病院	1	2	9	5	8	5	5	2	3	6	1	6	53
ひらまつ病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清友病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちはら耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小田クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀記念病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
													0
													0
													0
													0
													0
													0
県内他の病院	2	8	2	3	3	2	5	1	2	4	2	6	40
県外の病院	2	4	0	4	4	5	1	1	4	1	1	7	34
合 計	37	41	30	34	47	39	42	28	39	35	31	49	452

平成30年逆紹介病院別(施設)一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
佐賀大学医学部附属病院	3	5	1	5	5	3	6	5	2	3	2	4	44
佐賀県医療センター好生館	10	18	6	11	13	7	19	7	5	5	11	12	124
NHO佐賀病院	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	5
副島病院	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1	1	0	7
福田脳神経外科	0	0	1	1	1	1	1	0	1	3	1	0	10
佐賀中部病院	2	1	3	1	3	3	1	0	2	0	0	1	17
百武整形外科	0	2	1	2	3	1	0	0	0	0	4	1	14
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正島脳神経外科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀記念病院	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	8
小田クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちはら耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中原眼科	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
横尾クリニック	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
療養病床の病院	0	5	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3	13
回復期リハ病院	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他の病院	18	10	17	17	18	14	14	7	13	16	11	20	175
特老	0	0	2	4	1	0	1	4	0	1	1	0	14
ヘルスケア水ヶ江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀中部病院附属 介護老人保健施設	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4
エバーグリーン	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
レストピア	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
白寿園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徐福の里	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
自宅扱いの施設	10	6	8	3	11	11	6	6	4	5	5	5	80
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の施設	2	0	1	2	2	0	1	1	0	1	2	0	12
	48	49	45	48	60	45	53	34	32	37	41	48	540

平成30年度外来患者集計

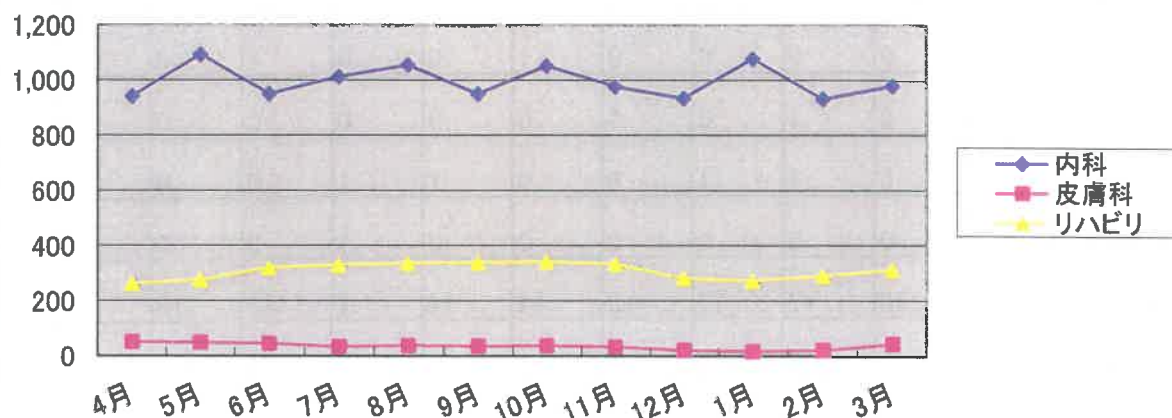
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
患者数	内科	945	1,096	953	1,016	1,058	953	1,055	980	937	1,081	935	982	11,991	999.3
	皮膚科	55	54	50	38	42	40	41	37	25	21	25	47	475	39.6
	リハビリ	266	280	325	334	341	343	346	338	286	277	295	317	3,748	312.3
新患数	内科	26	45	19	52	29	19	37	42	28	115	26	38	476	39.7
	皮膚科	4	2	0	2	0	2	1	1	2	3	1	3	21	1.8
	リハビリ	0	3	3	5	1	6	1	1	1	0	1	2	24	2.0
紹介来院数	内科	0	2	2	2	2	0	1	0	0	1	0	1	11	0.9
	皮膚科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	リハビリ	1	4	2	4	1	5	6	1	3	1	2	9	39	3.3
算定状況	時間外	1	1	1	3	0	2	0	1	0	0	1	1	11	0.9
	深夜	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	3	0.3
	休日	1	23	0	18	1	1	0	21	0	69	0	0	134	11.2
1日平均外来患者数		52.75	57.20	51.08	53.38	55.42	58.09	55.46	54.20	54.43	57.46	54.57	53.84	658	54.8
新患率		2.37%	3.50%	1.66%	4.25%	2.08%	2.02%	2.70%	3.25%	2.48%	8.56%	2.23%	3.19%		
入院対外来比		0.44	0.49	0.47	0.48	0.49	0.47	0.50	0.47	0.42	0.47	0.47	0.46		
1日平均入院患者数		92.81	94.48	90.74	93.55	95.68	90.74	93.23	92.45	95.42	94.65	86.81	94.90		
外来診療実日数		24	25	26	26	26	23	26	25.00	23.00	24.00	23.00	25.00	296	

在宅医

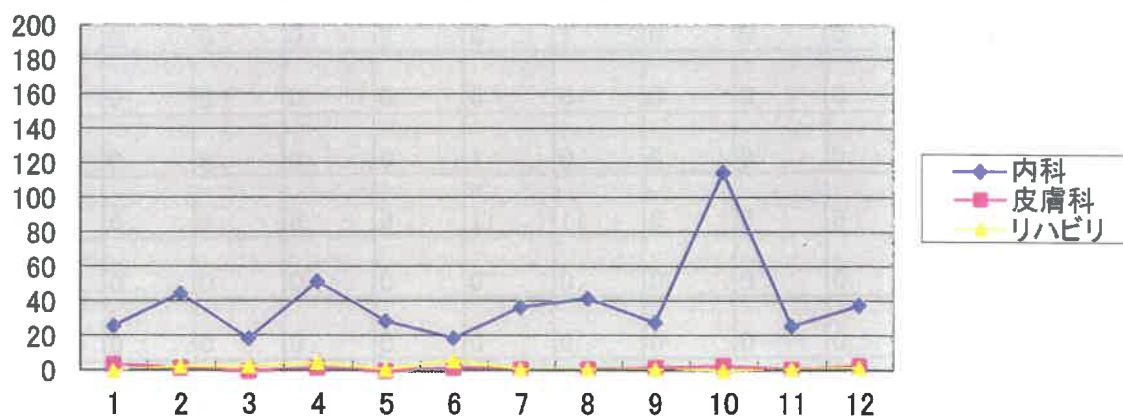
在宅医

在宅医

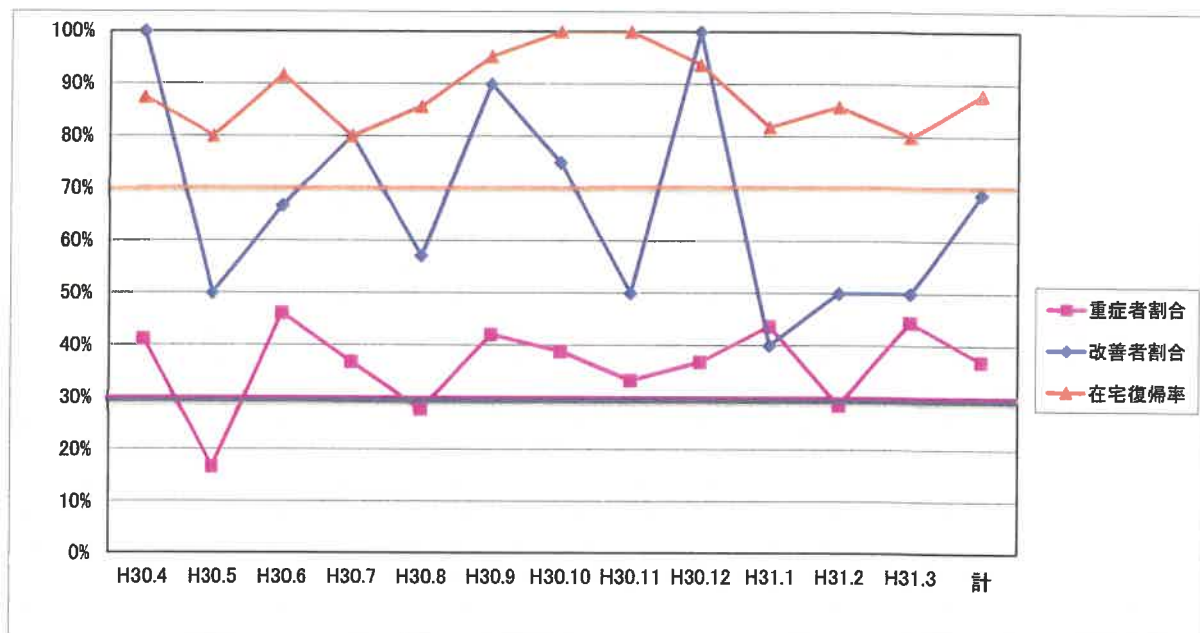
診療科別患者数



診療科別新患数



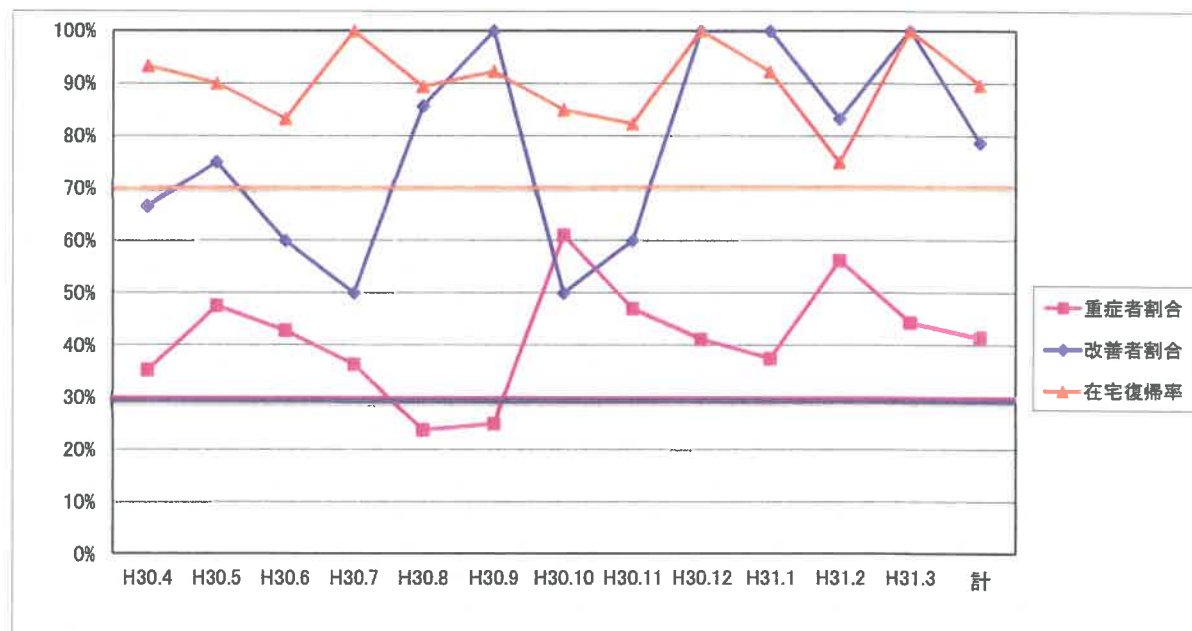
H30年度 回復期リハビリテーション入院料1(2階病棟)に係る施設基準推移表



入院	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	計
① 入院患者数	18	16	15	20	21	20	22	10	19	18	14	20	213
② (1) ①のうち回復期算定外	1	4	2	1	3	2	4	2	0	2	0	2	23
療養⇒回復へ	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
③ ①のうち日常生活機能指標が10点以上だった患者数 (②(1)除く)	7	2	6	7	5	8	7	3	7	7	4	8	71
④ 重症者割合 (③/(①-②(1)))	41%	17%	46%	37%	28%	42%	39%	33%	37%	44%	29%	44%	37.0%

退院	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	計
⑤ 退院者数	19	17	16	19	21	24	17	10	19	18	15	21	216
(1) ⑤のうち療養型入院等の算定外	0	2	2	2	4	1	1	3	0	2	0	0	17
(2) ⑤のうち死亡、急変による退院患者	3	0	2	2	4	2	3	2	3	7	1	2	31
(3) 算定期限切れによる退院追加対象者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3
⑥ 対象退院患者数 (⑤(1)(2)除く)	16	15	12	15	14	21	14	5	16	11	14	20	173
⑦ (1) ⑥のうち在宅等へ	14	12	11	12	12	20	14	5	15	9	12	16	152
(2) ⑥のうち介護老人保健施設へ	2	0	0	2	1	1	0	0	1	1	2	0	10
(3) ⑥のうち他の回復期リハ病棟へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
(4) ⑥のうち(3)を除く病院、有床診療所へ	0	3	1	1	1	0	0	0	0	1	0	3	10
⑧ 在宅復帰率 (⑦(1)/⑥)	88%	80%	92%	80%	86%	95%	100%	100%	94%	82%	86%	80%	87.9%
⑨ ⑥のうち入院時の日常生活機能指標が10点以上であった患者	4	4	6	5	7	10	4	2	4	5	4	6	61
⑩ ⑨のうち退院時、日常生活機能指標4点以上改善した者	4	2	4	4	4	9	3	1	4	2	2	3	42
⑪ 改善者割合 (⑩/⑨)	100%	50%	67%	80%	57%	90%	75%	50%	100%	40%	50%	50%	68.9%

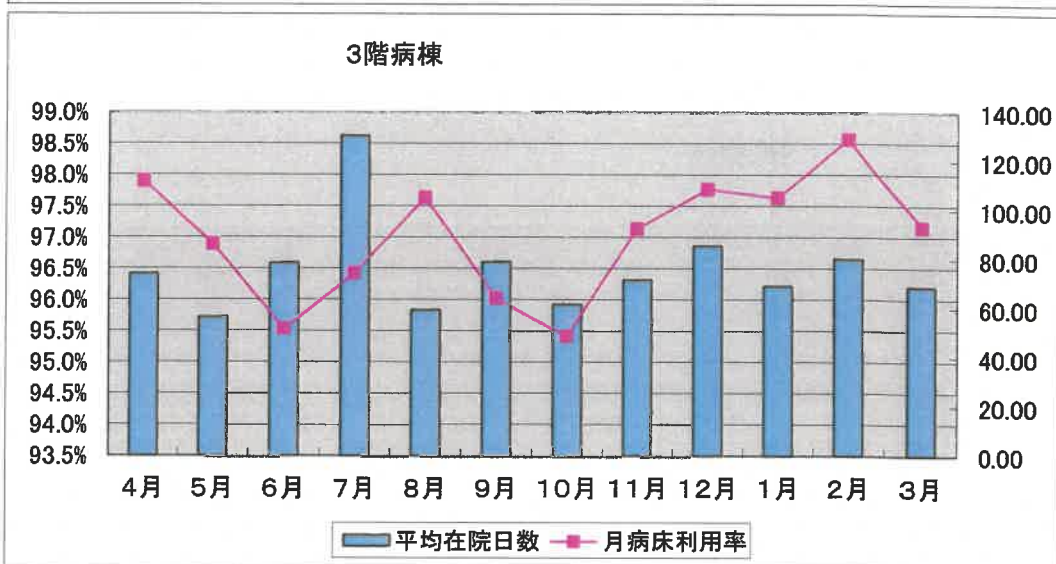
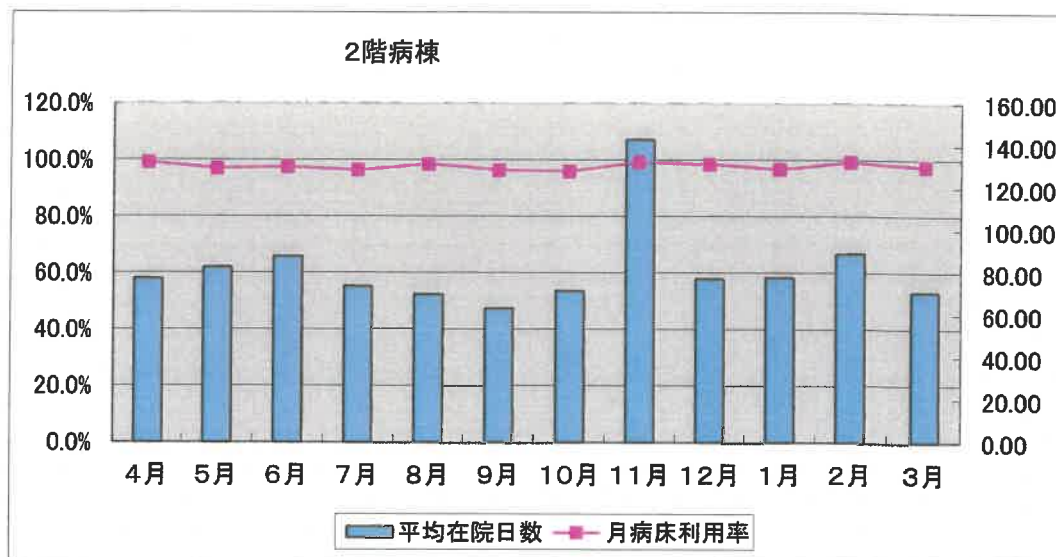
H30年度 回復期リハビリテーション入院料2(3階病棟)に係る施設基準推移表



入院	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	計
① 入院患者数	18	25	18	12	24	18	22	19	17	20	17	20	230
② (1) ①のうち回復期算定外	1	5	5	3	3	2	4	2	0	4	2	2	33
療養⇒回復へ	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5
③ ①のうち日常生活機能指標が10点以上だった患者数 (②(1)除く)	6	10	6	4	5	4	11	8	7	6	9	8	84
④ 重症者割合 (③/(①-②(1)))	35%	48%	43%	36%	24%	25%	61%	47%	41%	38%	56%	44%	41.6%

退院	H30.4	H30.5	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	計
⑤ 退院者数	20	24	16	10	25	17	23	20	17	21	15	22	230
(1) ⑤のうち療養型入院等の算定外	0	3	3	1	1	1	2	2	0	4	0	1	18
(2) ⑤のうち死亡、急変による退院患者	5	3	2	3	5	3	1	1	2	4	5	8	42
(3) 算定期限切れによる退院追加対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
⑥ 対象退院患者数 (⑤(1)(2)除く)	15	20	12	6	19	13	20	17	15	13	12	13	175
⑦ (1) ⑥のうち在宅等へ	14	18	10	6	17	12	17	14	15	12	9	13	157
(2) ⑥のうち介護老人保健施設へ	1	0	2	0	2	1	2	1	0	1	0	0	10
(3) ⑥のうち他の回復期リハ病棟へ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
(4) ⑥のうち(3)を除く病院、有床診療所へ	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	6
⑧ 在宅復帰率 (⑦(1)/⑥)	93%	90%	83%	100%	89%	92%	85%	82%	100%	92%	75%	100%	89.7%
⑨ ⑥のうち入院時の日常生活機能指標が10点以上であった患者	3	4	5	4	7	5	6	5	8	2	6	6	61
⑩ ⑨のうち退院時、日常生活機能指標4点以上改善した者	2	3	3	2	6	5	3	3	8	2	5	6	48
⑪ 改善者割合 (⑩/⑨)	67%	75%	60%	50%	86%	100%	50%	60%	100%	100%	83%	100%	78.7%

利用率・平均在院日数



平成30年 2階病棟

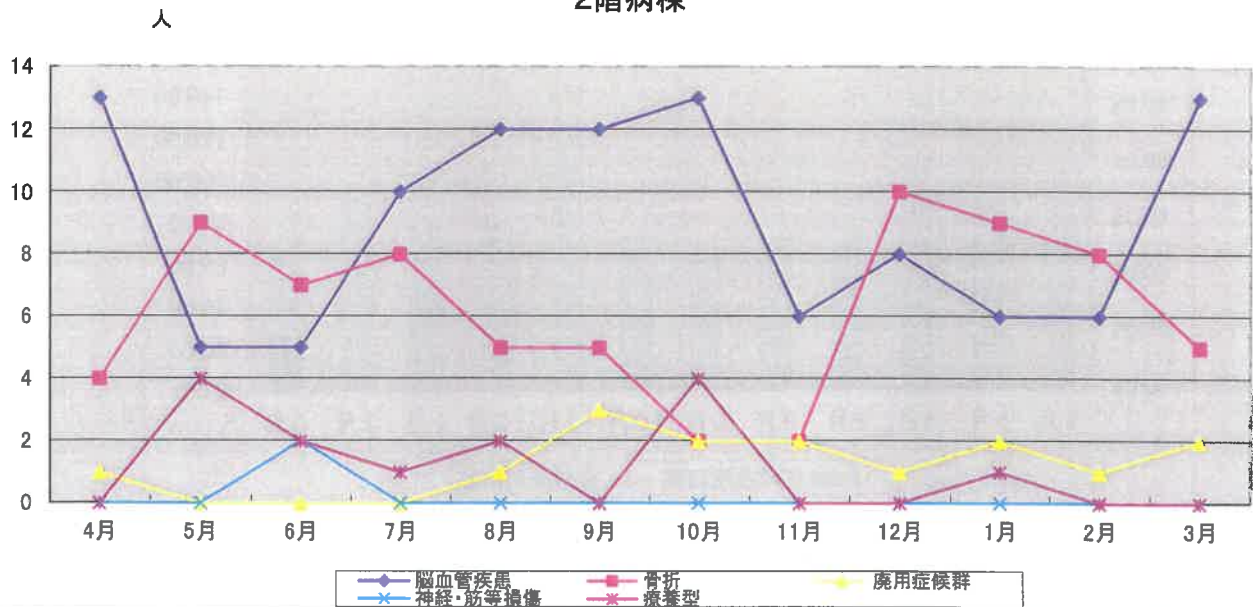
診療月	日数	病床数	総人数	入院者数	退院者数(死亡数)	月病床利用率	平均在院日数	粗死亡率
4月	30	48	1,428	18	19 0	99.2%	77.19	0.0%
5月	31	48	1,444	18	17 0	97.0%	82.51	0.0%
6月	30	48	1,404	16	16 0	97.5%	87.75	0.0%
7月	31	48	1,436	20	19 0	96.5%	73.64	0.0%
8月	31	48	1,467	21	21 1	98.6%	69.86	4.8%
9月	30	48	1,389	20	24 1	96.5%	63.14	4.2%
10月	31	48	1,429	22	18 0	96.0%	71.45	0.0%
11月	30	48	1,430	10	10 0	99.3%	143.00	0.0%
12月	31	48	1,467	19	19 1	98.6%	77.21	5.3%
1月	31	48	1,441	18	19 2	96.8%	77.89	10.5%
2月	28	48	1,335	15	15 0	99.3%	89.00	0.0%
3月	31	48	1,453	20	21 0	97.6%	70.88	0.0%
合計	365	48	17,123	217	218 5	97.7%	78.73	2.3%

平成30年 3階病棟

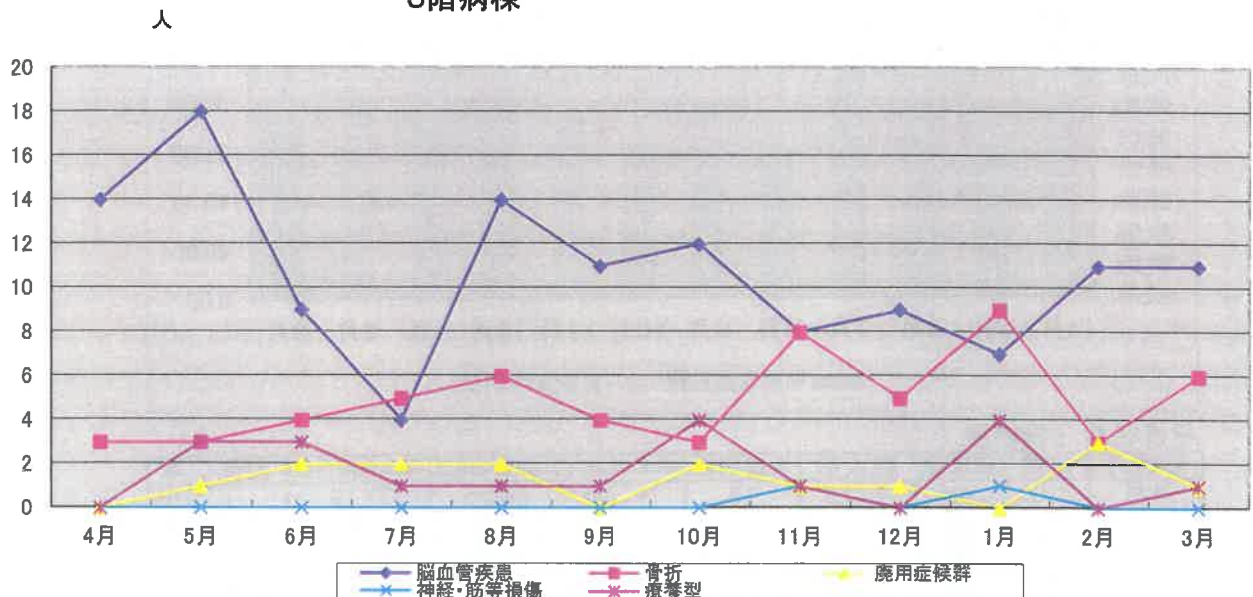
診療月	日数	病床数	総人数	入院者数	退院者数	月病床利用率	平均在院日数	粗死亡率
4月	30	48	1,410	18	20 1	97.9%	74.21	5.0%
5月	31	48	1,442	25	26 0	96.9%	56.55	0.0%
6月	30	48	1,376	18	17 0	95.6%	78.63	0.0%
7月	31	48	1,435	12	10 0	96.4%	130.45	0.0%
8月	31	48	1,453	24	25 0	97.6%	59.31	0.0%
9月	30	48	1,383	18	17 1	96.0%	79.03	5.9%
10月	31	48	1,420	23	23 0	95.4%	61.74	0.0%
11月	30	48	1,399	19	20 0	97.2%	71.74	0.0%
12月	31	48	1,455	17	17 1	97.8%	85.59	5.9%
1月	31	48	1,453	21	21 0	97.6%	69.19	0.0%
2月	28	48	1,325	17	16 1	98.6%	80.30	6.3%
3月	31	48	1,446	20	22 1	97.2%	68.86	4.5%
合計	365	48	16,997	232	234 5	97.0%	72.95	2.1%

入院患者数推移表(平成30年)

2階病棟

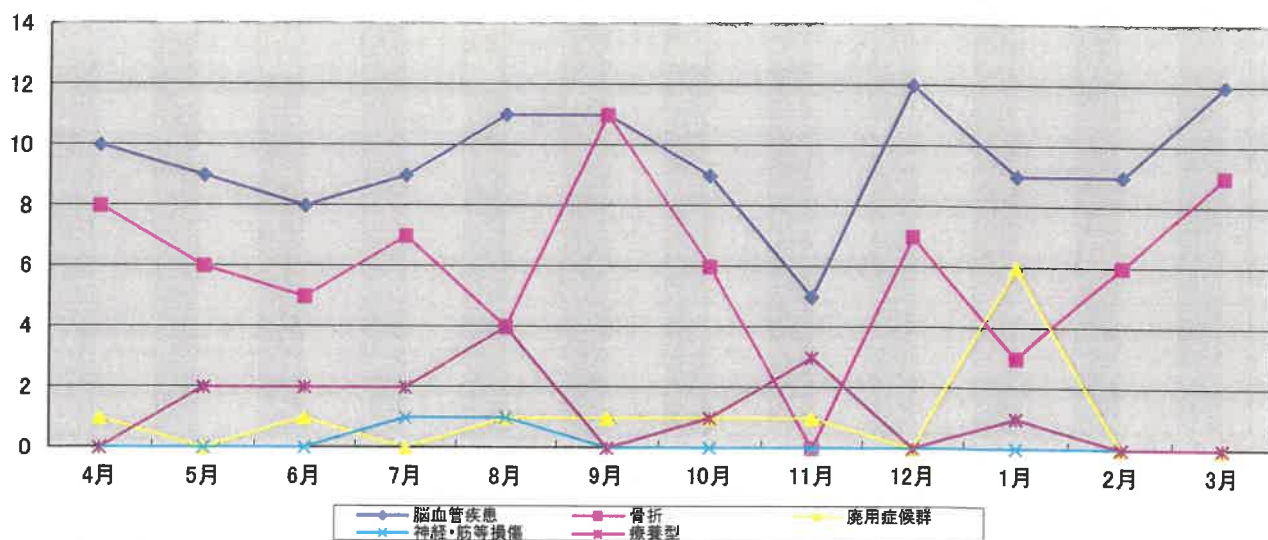


3階病棟



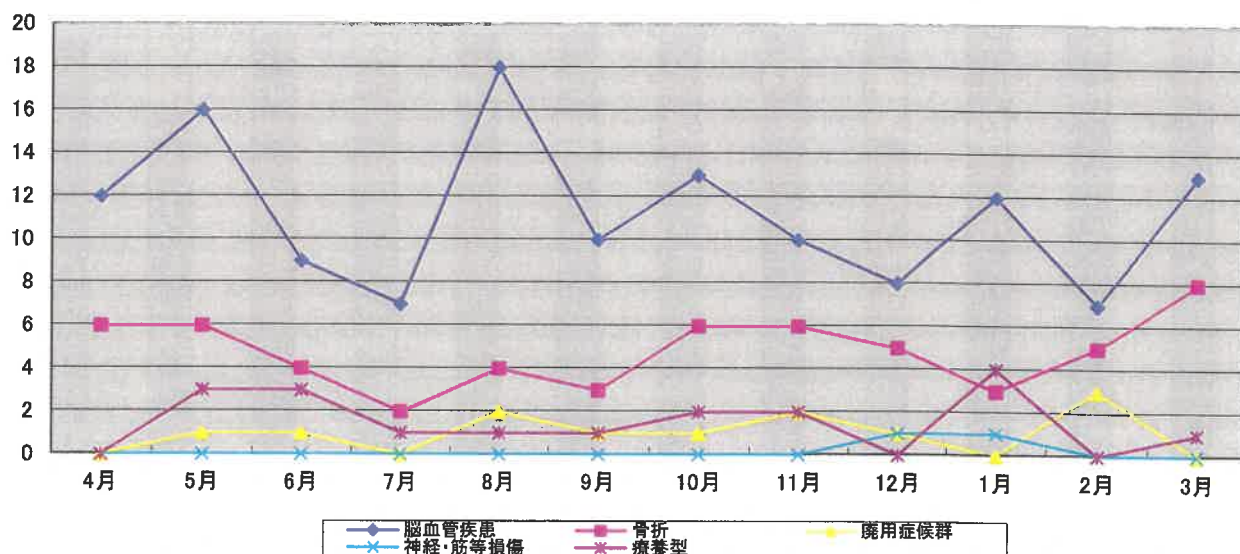
2階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	13	5	5	10	12	12	13	6	8	6	6	13	109
骨折	4	9	7	8	5	5	2	2	10	9	8	5	74
廃用症候群	1	0	0	0	1	3	2	2	1	2	1	2	15
変形性置換術	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
神経・筋等損傷	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
療養型	0	4	2	1	2	0	4	0	0	1	0	0	14
計	18	18	16	20	21	20	22	10	19	18	15	20	217
3階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	14	18	9	4	14	11	12	8	9	7	11	11	128
骨折	3	3	4	5	6	4	3	8	5	9	3	6	59
廃用症候群	0	1	2	2	2	0	2	1	1	0	3	1	15
変形性置換術	1	0	0	0	1	2	2	0	2	0	0	1	9
神経・筋等損傷	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
療養型	0	3	3	1	1	1	4	1	0	4	0	1	19
計	18	25	18	12	24	18	23	19	17	21	17	20	232

2階病棟



3階病棟

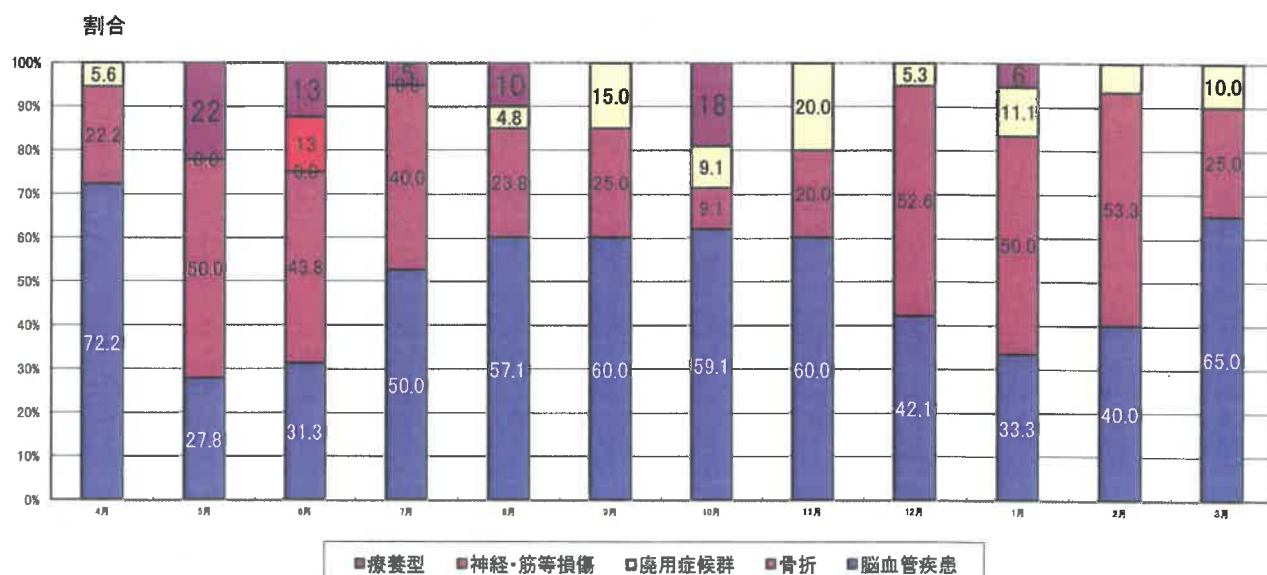
人



2階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	10	9	8	9	11	11	9	5	12	9	9	12	114
骨折	8	6	5	7	4	11	6	0	7	3	6	9	72
廃用症候群	1	0	1	0	1	1	1	1	0	6	0	0	12
変形性置換術	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
神経・筋等損傷	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
療養型	0	2	2	2	4	0	1	3	0	1	0	0	15
計	19	17	16	19	21	24	18	10	19	19	15	21	218
3階病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
脳血管疾患	12	16	9	7	18	10	13	10	8	12	7	13	135
骨折	6	6	4	2	4	3	6	6	5	3	5	8	58
廃用症候群	0	1	1	0	2	1	1	2	1	0	3	0	12
変形性置換術	2	0	0	0	0	2	1	0	2	1	1	0	9
神経・筋等損傷	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
療養型	0	3	3	1	1	1	2	2	0	4	0	1	18
計	20	26	17	10	25	17	23	20	17	21	16	22	234

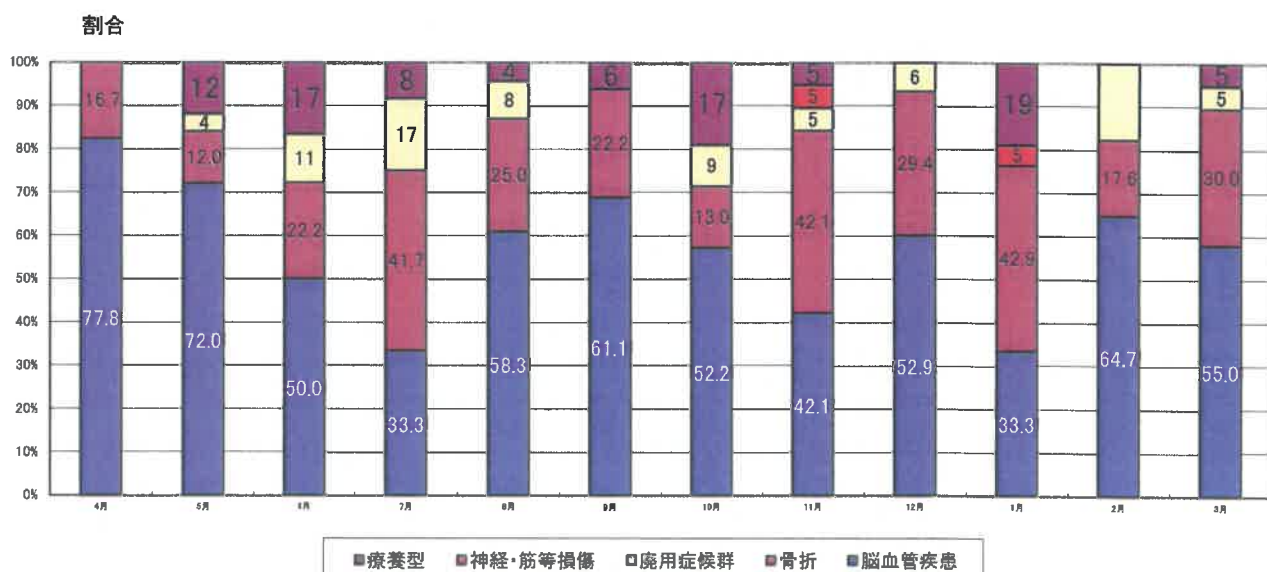
疾患別入院患者割合推移(平成30年)

疾患別入院患者割合推移(2階病棟)



6.7

疾患別入院患者割合推移(3階病棟)

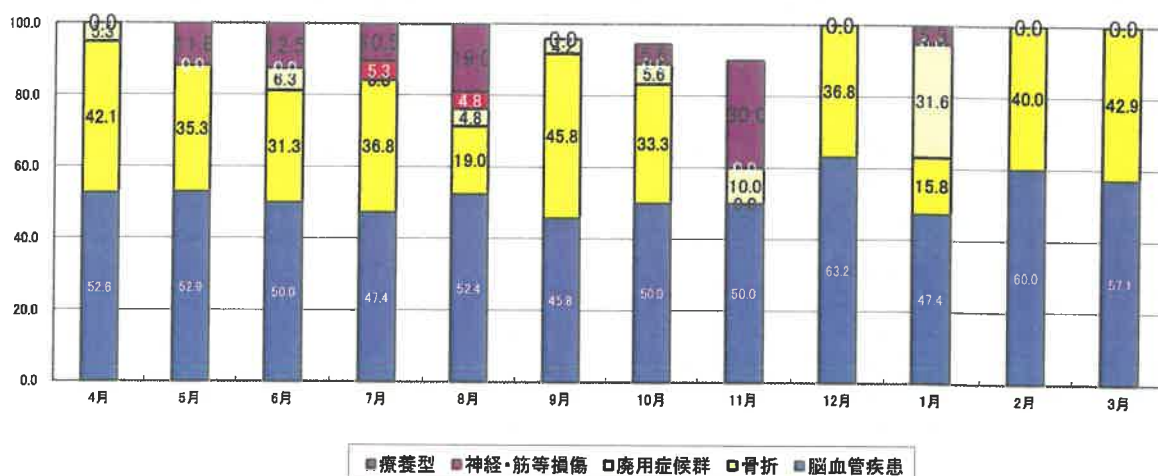


18

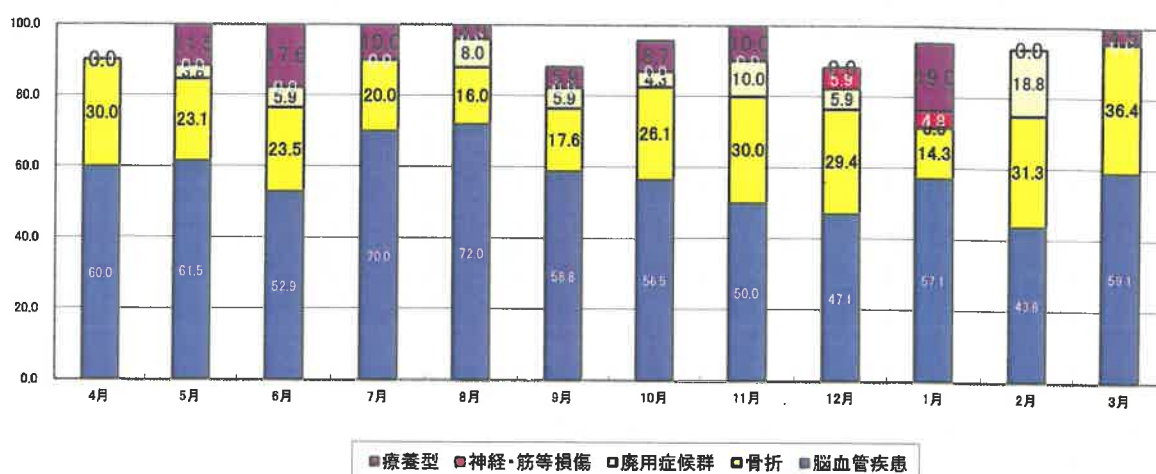
[illegible]

疾患別退院患者割合推移(平成30年)

疾患別退院割合推移表(2階病棟)



疾患別退院割合推移表(3階病棟)

[illegible]

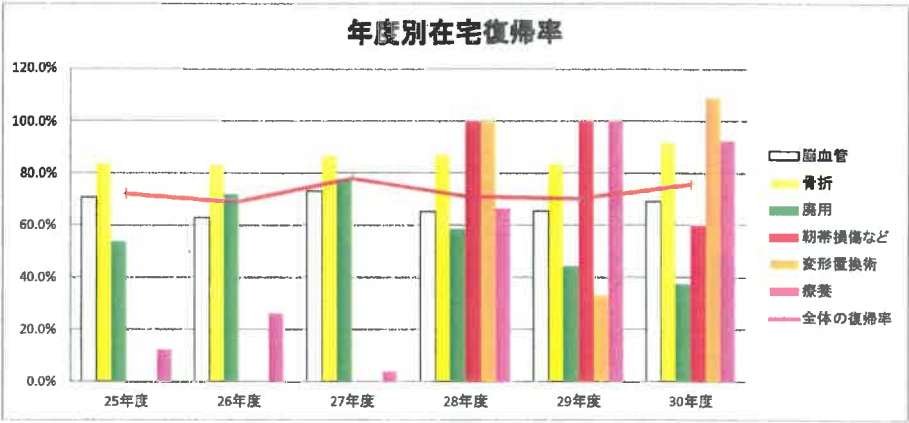
30年度別在宅復帰率及び平均在院日数

令和元年5月17日作成

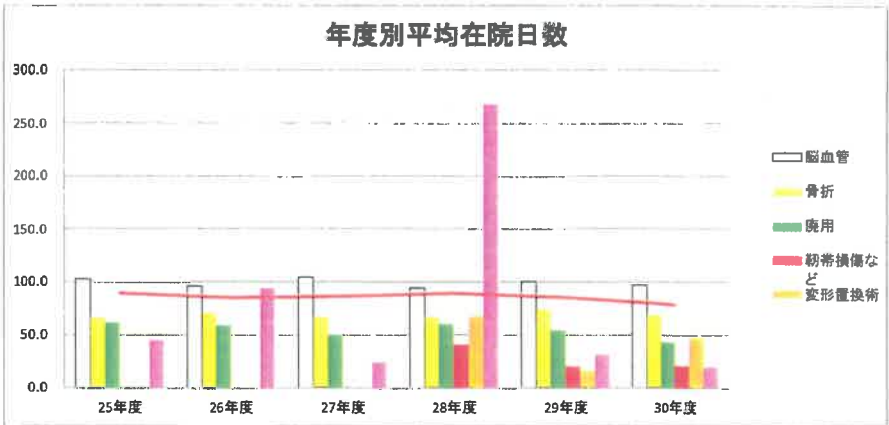
在宅復帰率	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
脳血管	70.5%	62.7%	72.8%	65.0%	65.2%	68.8%
骨折	84.0%	83.6%	87.0%	87.3%	83.9%	92.1%
廃用	53.9%	71.9%	77.8%	58.6%	44.4%	37.5%
靱帯損傷など				100.0%	100.0%	60.0%
変形置換術				100.0%	33.3%	109.1%
療養	12.5%	26.4%	4.2%	66.7%	100.0%	92.6%
全体の復帰率	72.4%	69.3%	78.1%	71.3%	70.3%	76.1%

28年度より詳細に分類

(急性期・死亡退院者も分母に含む為、回復期の在宅復帰率とは異なる。)



平均在院日数	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
脳血管	102.3	95.7	104.0	93.9	99.7	96.5
骨折	66.5	70.9	67.4	67.7	74.5	69.3
廃用	62.4	59.5	50.4	60.9	55.1	43.5
靱帯損傷など				41.5	21.0	21.4
変形置換術				68.0	16.7	48.2
療養	45.6	94.9	24.9	268.9	32.2	20.3
全体	90.1	85.7	87.1	90.0	85.9	79.2



平成30年度 看護部活動報告

※毎月15日の時点集計

※誤薬・感染状況・転倒転落・アクシデント件数は委員会集計分

※アクシデントには点滴・チューブ抜去他等転倒転落は別

2階病棟(回復期Ⅰ病棟)

看護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	日常生活自立度
J	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	J 障害はあるが日常生活はほぼ自立
AⅠ	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	5	AⅠ 介助外出、日中ベッドから離れ自立生活
AⅡ	5	3	3	5	8	5	8	5	3	3	7	7	62	AⅡ 介助外出少、日中寝たり起きたり生活
BⅠ	9	13	12	12	21	21	18	18	16	12	21	19	192	BⅠ 車椅子移乗、日中ベッドから離れて生活
BⅡ	21	23	24	24	17	14	12	13	17	21	14	17	217	BⅡ 車椅子介助移乗。日中もベッド主体生活
CⅠ	4	3	4	1	0	2	3	3	5	5	3	2	35	CⅠ 自分で寝返りは出来るが他は介助
CⅡ	8	3	2	2	0	2	5	7	6	5	2	2	44	CⅡ 自力で寝返りできない全て介助
患者合計	48	46	45	44	46	45	47	46	47	46	48	47	555	
経管栄養	10	5	2	3	0	2	5	7	9	8	6	3	60	
胃ろう造設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
膀胱洗浄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
褥瘡対策	25	22	17	14	14	15	15	20	19	22	20	14	217	
褥瘡患者数	2	1	2	12	0	2	2	4	2	0	1	1	29	
抑制件数	19	17	19	12	13	8	6	6	7	8	11	11	137	
誤薬件数	0	3	13	3	0	5	1	0	2	0	3	0	30	
感染者数(状況)	2	1	1	1	2	2	1	2	3	3	2	4	24	
転倒転落数	10	14	11	3	6	8	10	10	10	5	15	19	121	
持続点滴数	0	0	1	1	1	1	3	4	0	2	1	2	16	
モニター使用	2	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	6	
吸引者数	9	8	5	4	2	1	4	7	6	8	6	4	64	
インシデント	6	7	14	16	12	2	4	11	9	11	16	19	127	
離院	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	6	
アクシデント	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	86	80	86	70	50	46	52	72	67	68	83	77	837	

30年度延べ患者数

	2階	3階	計
J	0	0	0
AⅠ	5	26	31
AⅡ	62	103	165
BⅠ	192	186	378
BⅡ	217	197	414
CⅠ	35	41	76
CⅡ	44	4	48
計	555	557	1112

※11.2%が全介助

※71.2%が一部介助

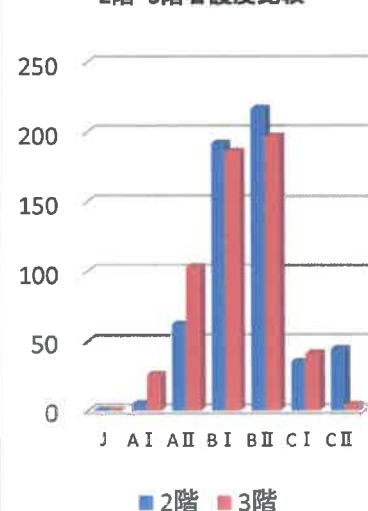
※17.6%が見守りレベル

※ Jレベルの患者さんも退院間近になるとおられるが、15日の集計時には両病棟ともたまたまおられなかった。

3階病棟(回復期Ⅰ病棟)

看護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
J	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AⅠ	0	0	0	2	6	4	4	1	1	4	3	1	26
AⅡ	8	9	13	11	9	6	8	8	8	5	8	10	103
BⅠ	9	17	15	17	15	20	14	15	20	15	12	17	186
BⅡ	24	18	15	11	12	11	16	19	14	19	22	16	197
CⅠ	5	2	3	4	5	4	2	3	4	3	3	3	41
CⅡ	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
患者合計	48	46	46	45	47	45	45	47	47	46	48	47	557
経管栄養	5	1	3	4	5	4	4	5	4	4	6	3	48
胃ろう造設	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	6
膀胱洗浄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
褥瘡対策	19	19	22	17	17	15	4	3	4	8	7	9	144
褥瘡患者数	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	2	2	11
抑制件数	23	17	18	14	17	7	8	6	5	6	7	9	137
誤薬件数	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	4
感染者数(状況)	2	2	3	3	2	0	0	3	2	3	3	2	25
転倒転落数	8	12	12	5	10	6	4	11	13	7	25	11	124
持続点滴数	3	0	2	1	2	1	0	3	1	1	1	3	18
モニター使用	3	0	0	0	1	1	2	1	1	1	1	3	14
吸引者数	5	0	3	2	2	2	2	3	5	4	4	2	34
離院	0	1		1	0	1	1	4	1	0	1	0	10
インシデント(○)	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
インシデント(1～)	8	16	16	13	13	6	5	24	22	13	25	13	174
アクシデント	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	4
クレーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	80	69	80	61	73	45	31	66	60	49	83	59	756

2階・3階看護度比較



※H30年度は抑制患者数を検討会などにより昨年より100件以上減らすことが出来ているが、その分転倒転落の件数が60件近く増えた。多くはレベル1～2のインシデントでしたが、1件は大腿骨頸部骨折にて転院された。

リハビリが進むにつれ転倒転落の危険は増すが、今後も重大事故が起きないように対策・気配りを行って欲しい。

他に1件吸引チューブを嚥切られ誤飲された事故があり、吸引中に嚥まれた為無理に引張ったことが原因。好生館で内視鏡で除去嚥むことが多い患者だったが、ST介助時はあまりなく、吸引の仕方等の指導も必要でした。(看護部長 坂本宏子)

年間行事	
4月	辞令交付(新規入職看護師6名・介護福祉士1名・CW学生2名、新資格取得看護師5名・准看2名) 院内新人研修、院外新人看護職員多施設合同研修会6名参加(看護協会) 医師会看護学校・佐賀女子高衛生看護科入学式 医師会看護学校新築落成記念行事参加 新人歓迎会
5月	佐賀女子高衛生看護科奨学生2名面接 保健師助産師看護師佐賀県知事功労賞受賞(坂本看護部長) 看護必要度評価試験開始(病棟看護師全員) 佐賀リハ体験2018(看護・介護・リハビリ教室) 医師会立看護学校創立50周年行事参加 小柳病院より施設見学(看護、リハビリ、事務) 外来待ち時間調査
6月	佐賀県看護協会総会(12名) 人事考課 小柳病院より10名(リハ6名、看護3名、MSW1名) 九州厚生局監査(6月29日)
7月	臨床実習指導者研修会(6名)
8月	栄の国祭り総踊り参加 結核予防技術者講習会参加(坂本、西寄) 佐賀県医療安全(感染)対策講習会2名受講(坂本部長、樋口副課長) 認知症対応能力向上研修1名受講(永渕参事)3日間 電子カルテ導入打ち合わせ開始
9月	ICFによるカンファレンス導入に向けた研修(回復期リハ病棟協会・鹿児島2日間)坂本・大園・小副川
10月	ECGの基礎院内講習会(日本光電) 看護師卒後研修会参加 新人職員担当者研修2名受講(北川直基、今町真由美)5日間 病院運動会(参加者72名)
11月	医師会看護学校戴帽式 新人ケーススタディ院内発表会 保健福祉事務所監査(11月20日) 人事考課
12月	電子カルテ導入開始 病棟テレビ及び家具入れ替え(大部屋、個室応接セット等) 忘年会
2月	回復期リハビリテーション病棟協会学会参加(示説演題2題発表) 院内研究発表会(2題発表)
3月	医師会看護学校・佐賀女子高衛生看護科卒業式 佐賀県看護協会研究学会(示説演題2題発表) 佐賀桜マラソン参加・応援
院外活動	
看護協会南部地区支部長:坂本宏子 書記:小副川義也 会計:野中由佳 佐賀市在宅医療・介護連携窓口施設活動(坂本)会議・研修会開催 佐賀県地域医療構想調整会議中部構想区域分科会会議出席(坂本) 日本看護協会総会出席・横浜(坂本) 日本在宅看護学会(佐賀市文化会館)示説発表会場司会(坂本)口説発表座長(大園) 6月27日より5回(週1)県総合看護学院2学年へリハビリ看護講義(坂本) 9月9日 救急の日(佐賀市消防署依頼にて看護協会より派遣)健康相談(坂本) 9月1日 老人看護月間健康相談(南部地区看護協会活動参加)佐賀玉屋にて(看1名、PT1名)	
学会研究発表	
H31/2月21日～22日	回復期リハビリテーション病棟協会学会(千葉県)・・・①2階病棟 1題 3名 ②3階病棟 1題 2名
3月10日(土)	佐賀県看護協会研究学会(小城市)・・・①2階病棟 1題 3名 ②3階病棟 1題 3名
実習受け入れ状況	
●佐賀市医師会立看護専門課程実習83名 実習期間 2月6日～6月15日 (1名2日間づつ) ●佐賀女子高衛生看護科実習18名 実習期間 9月10日～10月12日(5週間) ●麻生看護学院実習15名 実習期間 11月27日～12月7日 (1名2日間づつ) ●看護協会再就職支援実習.....2名 実習期間 1月18日、21日(2日間)	
職場体験受け入れ状況	
●清和中学校.....8月21日～22日 2名 ●致遠館中学校.....10月3日～4日 3名	
ボランティア受け入れ状況	
●若者サポート.....毎月第4水曜日(5名～8名)車椅子・台車磨き等	

※パート・学生・月中途採用・退職者時間換算(様式9算出)単位:人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
外来	看	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
	准	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	CW	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
2階病棟	看	25.5	28.1	27.6	25.7	25.5	25.6	24.6	24.7	26.6	27.5	27.7	26.4	
	准	5.6	7.6	7.5	5.5	6	6.3	6.6	7.2	7.5	7.4	7.5	7.4	
	CW	10.8	11.5	11.7	10.7	10.7	9.8	9.7	9.5	9.4	9.4	9.5	9.9	
	計	41.9	47.2	46.8	41.9	42.2	41.7	40.9	41.4	43.5	44.3	44.7	43.7	
3階病棟	看	22.8	25.1	24.7	22.7	22.3	22.5	22.6	23.8	23.6	24.5	24.3	24.6	
	准	6.5	7.3	7.5	6.4	6.8	6.3	6.3	6.3	6.4	6.2	6.2	5.4	
	CW	10	10	10	11	12	11.6	10.8	10.8	10.6	11.7	11.6	10.8	
	計	39.3	42.4	42.2	40.1	41.1	40.4	39.7	40.9	40.6	42.4	42.1	40.8	
管理者	看	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	平均
実働総数	計	86.7	95.1	94.5	87.5	88.8	87.6	86.1	87.8	89.6	92.2	92.3	90	89.9
育休 産休		育:看3 准2 CW1 産:看2 計8名	育:看4准 3 CW1 計8名	育:看4准 3 CW1 計8名	育:看4准 3 CW1 計8名	育:看3准 3 CW1 計7名	育:看3准 1 CW1 計5名	育:看3准 1 CW1 計5名	育:看3 CW1 計4名	育:看2 計2名	育:看2 産: CW01 計3名	育:看 2CW1 計3名	産:看1 育:看 2CW1 計4名	
長期病欠 欠勤		看1	看1	看1	看1	看1	看1	看2cw1	看1cw1	cw1	0	0	0	
採用 パートP		看11准2 CW1CW 学2 計16	異動看1	異動看1	cw1	0	0	0	0	0	0	0	0	合計 看11名准2 名CW2名 学CW2名
退職		0	異動看1	異動看1	0	CW1、 異動准1	0	0	0	異動cw1	0	看1	看1	

●30年度看護部退職率(外来・病棟)	
起算日 : H30年4月1日	・H30年度入職率 ; (4月入職者)
・看護部総職員数(管理・パート・臨時除く):95名	16名 ÷ 95名(年度初人数) × 100 = 16.8 %
(外来4,2F46,3F44)	・中途採用者1年未満退職率 0 ÷ 1 × 100 = 0 %
・H30年4月新規採用者数(新規資格取得者数含) : 16名	・新卒採用者退職率 0名 ÷ 16 × 100 = 0%
・H30年4月新卒採用者数(新規資格取得):13名(内看11准2名)	(内看准新卒退職率 0%)
・H30年度退職者数 ; 3名	・常勤看護要員離職率
・新卒採用者1年以内退職者数 ; 0名	= <u>H30年度総退職者数</u> × 100 = <u>3名</u> × 100 = 3.2 %
・H30年度中途採用者数 ; 1名	常勤看護要員平均職員数 93.5名
・中途採用者1年未満退職者数 ; 0名	
・常勤看護要員平均職員数(常勤休暇含) = (30/4/1看護要員数) + (31/3/31看護要員数) / 2 = (95 + 92) / 2 = 93.5名	
・看護要員実働平均職員数(学生パート常勤換算) = 89.9 名(月平均)	

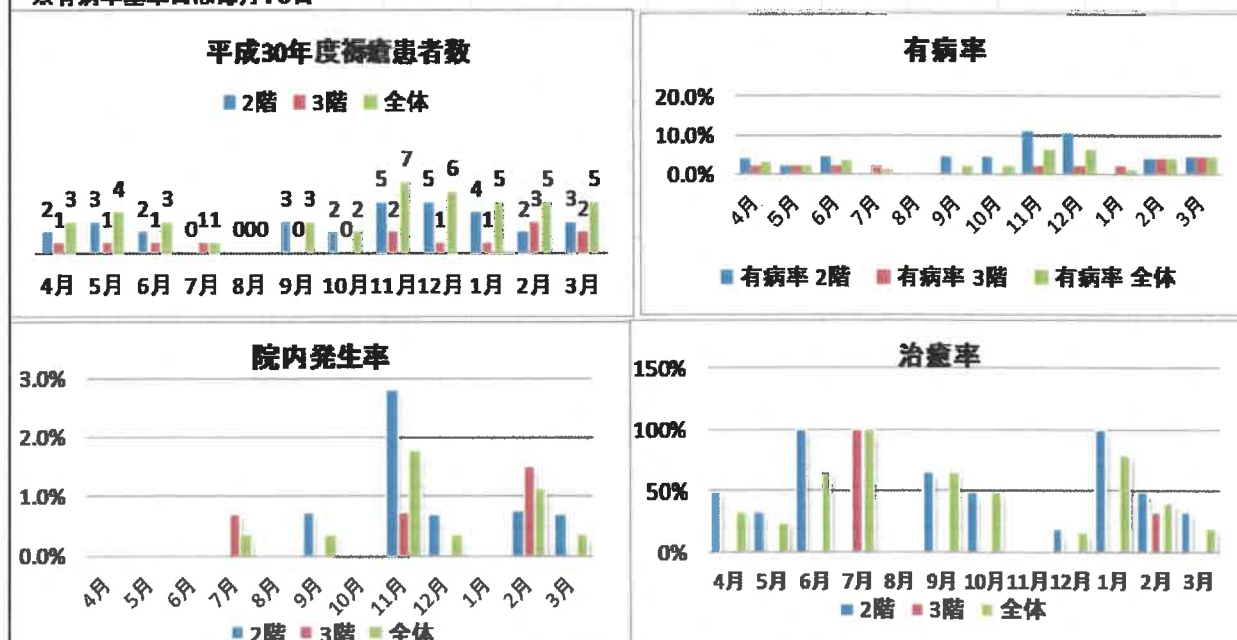
※H30年度は産育休者の補充もあり、新規資格取得者含め新採用者を16名と大幅増員して頂きました。

新人教育体制の強化と教育プログラムの充実もあり、新人含め退職率が大変低い状態になっていると思います。

今年度は重大な医療事故の発生もなく、今後も他職種との協働体制をより充実させるよう取り組んでいきたいです。(看護部長 坂本宏子)

平成30年度褥瘡患者状況							看護部						
H30年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
褥瘡患者 (月)	2階	2	3	2	0	0	3	2	5	5	4	2	3
	3階	1	1	1	1	0	0	0	2	1	1	3	2
	全体	3	4	3	1	0	3	2	7	6	5	5	5
持込み	2階	0	2	0	0	0	2	1	0	1	0	1	0
	3階	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	全体	0	2	0	0	0	2	1	1	1	0	1	1
院内発生	2階	0	0	0	0	0	1	0	4	1	0	1	1
	3階	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0
	全体	0	0	0	1	0	1	0	5	1	0	3	1
治愈	2階	1	1	2	0	0	2	1	0	1	4	1	1
	3階	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	全体	1	1	2	1	0	2	1	0	1	4	2	1
持込み率	2階	1.5%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	1.5%	0.0%	1.5%	0.0%	1.6%	0.0%
	3階	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
	全体	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.7%	0.8%	0.8%	0.0%	0.8%	0.7%
院内発生率	2階	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	2.8%	0.7%	0.0%	0.7%	0.7%
	3階	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%
	全体	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	1.8%	0.3%	0.0%	1.1%	0.3%
治愈率	2階	50%	33%	100%	0%	0%	67%	50%	0%	20%	100%	50%	33%
	3階	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	33%	0%
	全体	33%	25%	67%	100%	#DIV/0!	67%	50%	0%	17%	80%	40%	20%
有病率	2階	4.2%	2.2%	4.4%	0.0%	0.0%	4.4%	4.3%	10.9%	10.6%	0.0%	4.2%	4.3%
	3階	2.1%	2.2%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	2.1%	4.2%	4.3%
	全体	3.1%	2.2%	3.3%	1.1%	0.0%	2.2%	2.2%	6.5%	6.4%	1.1%	4.2%	4.3%

※有病率基準日は毎月15日



※持ち込み率は月間入院時褥瘡保有患者数÷(月新規入院患者+前月月末入院患者数)×100

※院内発生率は月間褥瘡新規発生患者数÷月間延入院患者数×1000

●30年度は11月、12月の褥瘡患者数、院内発生数ともにやや増加していますが、年間発生数はやや減少し、
治愈患者数は7名から16名へ大きく改善しています。今後も院内教育などに力を入れ、対応を行っていきます。

平成30年度 看護部 院外研修参加者一覧

看護部

月 日	研修名「テーマ」	参加者	場所
4/9～18	新人看護職員多施設合同研修会	北島・泉・江口・井上・佐伯・東	佐賀
4/15	BLS	副島康・寺尾夏奈	佐賀
4/25	平成30年度第1回大隈骨近位部骨折地域連携バス合同カンファレンス	小副川・永淵・生田・北村恵	佐賀
4/28	LET'S看護研究	松本綾乃・藤野美咲	佐賀
5/12	ICLS	副島康	佐賀
5/16	感染対策の基礎編	副島康・佐藤桃子・百武はすみ	佐賀
5/26	佐賀市医師会立看護専門学校50周年記念講演 ～地域で命を支える～	坂本宏子・大園直子・樋口千枝子・北村美紀子・大野裕里・北村恵・野中佑弥・佐山清子・田島美穂・榎田知恵・副島康・金子健三・佐藤桃子・ 本根愛美・寺崎紗也香・武下美代子・西村幸子	佐賀
5/29	組織・チーム力を高めるリーダーシップ	北村美紀子・野中佑弥	佐賀
5/30	佐賀市在宅医療・介護連携全体研修会	坂本宏子(他職種15名)	佐賀
6/9	褥瘡セミナー～慢性創傷管理最新2018～	内田礼子・寺尾夏奈・木根愛美	福岡
6/9	JPTECミニコース	副島康	愛知
6/10	口腔ケアセミナー	内田礼子・今町真由美	福岡
6/11,12,13	日本看護協会総会	坂本宏子	東京
6/17	医療倫理・モラル研修会	大園直子	東京
2018/6/22, 23	アジアメディカルショー看護セミナー	22日)川崎星香・幸山早苗 23日)庄藤友香・太田晶紀子	福岡
6/23	看護協会総会	坂本・小副川・永淵・吉竹・佐山・樋口(田中志野)・野中佑弥・富崎・百武	佐賀
6/28	基礎から学ぶフィジカルアセスメント	佐藤桃子	佐賀
7/7	実習指導者研修	今町真由美	佐賀
7/7	院内感染対策特別講演会@長崎2018「イラストで学ぶ病院清掃・環境整備のポイント」	古賀直哉・下村奈保美	長崎
7/7	皮膚・創の状態に合わせた根拠のある褥瘡ケアテクニック	中島美和	福岡
7/7	施設教育担当者・臨床実習指導者合同研修会	川崎・永淵・吉永・今町・鬼石・坂本	佐賀
7/9～9/4	実習指導者研修	北村美紀子	佐賀
7/13	地域医療従事者研修 精神科リエゾンチームの取り組み(佐賀県医療センター・好生館)	永淵・小副川・樋口・大野・田中	佐賀
7/18	心電図Ⅰ～基礎編～	北島・草場・江口・永田沙弓・佐伯綾美・百武はすみ	佐賀
7/21	日本リハビリテーション看護研修会～生活者の視点をもったフィジカルアセスメント～	北村恵・川崎星香	埼玉
7/21	県看護協会施設代表者会議	坂本宏子	佐賀
7/27,28	日本看護学会 在宅看護学術集会	坂本宏子・大園直子・永淵理恵・鬼石理華	佐賀
7/28	抱え上げない介護	大野・古賀勲	佐賀
7/31	摂食嚥下障害のある患者の看護～正しい知識で誤嚥を防ごう～	山中純衣・東美里・富崎奈津子	佐賀
8/2	精神症状アセスメントとケア	金子健三	佐賀
8/2,3	結核予防技術者講習会	坂本宏子・西寄美沙	佐賀
8/5	リハ栄養フォーラム	内田礼子・松林卓弥・古賀勲・永淵	福岡
8/8	広い視野と思考力を育てる問題解決能力向上研修	大園剛史・山口	佐賀
8/8	佐賀県医療安全感染研修会	小副川	佐賀
8/8	フィジカルアセスメント(応用編)	寺崎紗也香	佐賀
8/16	認知症の理解と対応研修(基礎編)	村山・太田	佐賀
8/19	ICLS	小川英	佐賀
8/21,22	災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～	副島康・内田礼子・藤原文代	佐賀
8/23	佐賀県医師会医療安全対策・院内感染防止対策・医療従事者研修会	坂本宏子・樋口千枝子・副島康	佐賀
8/25	脳の解剖整理と疾患・治療の理解	大野	福岡
8/28	18重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修	坂本宏子・小副川・藤也・生田恵美	佐賀協
8/29	心電図Ⅱ～不整脈編～	佐藤桃子・田中佳奈	佐賀
9/1	今時の若者の倫理的思考力を高める教育法	内田礼子・佐山清子	大阪
9/8	高齢者ケア～チームで取り組み転倒予防～	東島・平河	佐賀
9/8	佐賀救急医学会	野中佑弥・百武はすみ・田中佳奈	佐賀
9/10	レクリエーション研修～理論と実践(高齢者編)～	大城・小玉	佐賀
9/15,16	回復期リハ病棟協会 全職種研修会	坂本宏子・小副川・藤也・大園直子	鹿児島
9/16	認知症の理解と対応研修(基礎編)	村山・太田	佐賀
9/20	呼吸不全に対する看護	寺崎紗也香・藤原文代	佐賀
9/20	病院協会主催 中部医療圏研修会	小副川・藤也	佐賀
9/20	佐賀市在宅医療・介護連携研修(豊富分科会)	坂本宏子(山口美紗子他)	佐賀
9/21	第72回 佐賀県病院地域連携セミナー	副島康	佐賀
9/21	地域医療連携懇談会	小副川・藤也・大園直子	佐賀
9/21	WEBセミナー「栄養管理」	内田礼子	WEB
9/26	新任職員フォローアップ研修～仕事を円滑に進めるために～	庄藤	佐賀
9/28	第82期 佐賀健康病院内分科部話会	今町真由美・内田礼子	佐賀
9/28～30	災害研修	副島康	大阪
9/29,30	フィジカルアセスメント集中講座	野中佑弥	福岡
10/5	第18回佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	永淵理恵・大野裕里	佐賀
10/10	看護・介護者のためのエンゼルケア	坂本宏子	福岡
10/11	診療報酬改定セミナー	坂本宏子	佐賀
10/13	佐賀県看護研究学会	坂本宏子・寺崎幸子・永淵理恵・佐山清子・樋口千枝子・中島美咲・野中佑弥・副島康・寺尾夏奈	佐賀
10/16	新人看護職員多施設合同研修会②	東島綾美・平河亜衣・百武はすみ・永田沙弓	佐賀
10/10	チームで取り組む認知症ケア	寺崎紗也香	佐賀協
10/11	看護研究発表のための効果的なプレゼンテーション	田中佳奈	佐賀
10/13	第35回佐賀地区看護師年後研修会	坂本・大野・佐山・村岡知・松林あすか・金子健三・佐藤桃子・北村恵	佐賀
10/16	急性期のフィジカルアセスメント	寺崎紗也香・佐藤桃子	佐賀協
10/7・15・26	平成30年度佐賀県看護職員認知症対応能力向上研修	永淵理恵	佐賀協
10/16	介護現場での記録(介護過程)と報告	小玉知恵子	佐賀
10/18	脳卒中セミナー	北村恵	佐賀
10/19	新人看護職員多施設合同研修会	東美里	佐賀協
10/25	摂食嚥下ケア	寺崎紗也香	佐賀
10/26	佐賀県航空機事故対策総合訓練	副島康	佐賀
11/2	看護協会支部役員研修	坂本宏子	鹿児島
11/7	看護職者が輝いて働くために	佐藤こずえ	佐賀
11/8	退院支援～退院後の安心できる生活のために～	藤原文代・佐藤こずえ	佐賀協
11/9	地域リハビリテーション会連研修会	坂本宏子	佐賀リハ
11/10	佐賀県看護協会南部地区支部研修会	坂本・小副川・副島康・古賀花奈	佐賀協
11/11	平成30年度 女・男フォーラム	今町真由美	佐賀
11/13	脳卒中患者の治療と看護～病態から診る症状とその看護～	大野・北島・草場・江口	佐賀協
11/15,16	災害支援ナースの育成	副島康	佐賀
11/20	佐賀県回復期リハ連絡協議会	樋口・北川・小副川	佐賀
12/8,9	ICLS	副島康	佐賀
12/9,10,11	平成30年度 新人看護職員研修・教育担当者研修	今町真由美・北川直基	佐賀
	ダスキン	飯盛・金子	福岡
1/26	在宅医療研修会～ACP	坂本宏子・永淵理恵	佐賀
2/3	メディカルラリー	寺尾夏奈・副島康	佐賀
2/9	BLS	東美里	福岡
2/12	佐賀リウマチケア研究会	大園直子	佐賀
2/13	セクシャルハラスメント対策について	坂本部長・大園直子・小副川・藤也・永淵理恵	佐賀
2/17	ICLS	寺尾夏奈・副島康	佐賀
2/21・22	回復期リハビリテーション病棟協会第33回研究大会in筑前・千葉	佐山清子・中島美咲・村岡知里・野中佑弥・寺尾夏奈・ 副島康・坂本宏子	千葉
2/23	訪問看護研修	永淵	佐賀協
2/25	佐賀県医療センター・好生館地域医療従事者研修～NST研修会～	村岡知里・北園・平河・古賀勲・佐藤	佐賀
2/26	衣料と介護の情報共有の円滑化	坂本宏子	医師会
2/26	働き方改革説明会	坂本宏子	医師会
2/27	佐賀市在宅医療・介護連携西部グループ会	坂本宏子(他職種)	
3/10	佐賀県看護研究学会	金子健三・田中佳奈・内田礼子・大園直子・坂本宏子	佐賀

回復期リハビリテーション病棟協会 第34回 研究大会 in 千葉 2019/2/21～22 千葉県舞浜市で開催

《2階病棟》

佐山清子、磯田知里、中島美咲、永淵理恵 坂本宏子

演題：睡眠障害のある患者への看護～日光浴のあたえる影響～

【目的】当院は脳血管障害・高齢における認知症といった疾患をかかえている患者が多く、昼夜逆転や不規則な睡眠パターンを示す睡眠障害の方が少なくない。睡眠障害は心身の不調を引き起こしリハビリテーションへの参加意欲や活動性の低下に影響していることも日常的に経験され、なかなか対応が困難な状況である。

睡眠覚醒リズムが障害された一つの要因が概日リズムの乱れにあるのではと考え、日光浴に着目し、その効果を検討した。今回は睡眠障害の中の、入眠障害、中途覚醒、熟睡障害、早朝覚醒を対象にした。

【研究方法】50代～90代男女の昼夜逆転・中途覚醒・せん妄等の睡眠障害のある患者5名を対象に7日間毎朝AM7:30より朝日を浴びながらラジオ体操や嚥下体操を行い、朝食時は窓際の席を考慮し30分間食事を摂ってもらった(参考文献2より時間決定)。日光浴の条件として、照度1000ルクス以上を確保した。観察表を作成し、日光浴実施前と後の7日間を夜間21時から7時まで2時間毎に入眠状態の確認を行った。

【結果】症例1は、日光浴実施後は、徐々にトイレの回数が4～5回程度、スタッフコールは10回以下に減少し23時頃より入眠されるようになり、「眠れたよ」と熟睡感が得られた様子の言動が聞かれるようになった。症例2は、7日間のうち1日のみ早朝覚醒がみられましたが、独言や大声は少なくなり睡眠薬を内服せずに比較的良眠することが出来た。症例3は、中途覚醒が時折あるものの5時間程度入眠できる状況がみられるようになってきた。しかし時々強い不穏状態になられることはあった。症例4は、徐々に不穏行動が少なくなり、夜間トイレ以外は入眠されるようになり抗精神薬を減量するきっかけになった。症例5は、徐々に興奮が収まり中途覚醒なく入眠できる時間を増やすことができた。夜間睡眠時間について介入前後を比較すると、日光浴の効果により、睡眠時間が増えた患者4名、大きく変化がなかった患者が1名でした。しかし、朝日を浴びながらラジオ体操や嚥下体操を他者と同時に実施することで、体内時計を刺激し、概日リズムが整い、日中の覚醒、夜間の睡眠時間の延長、睡眠の質向上に繋がった。

《3階病棟》

寺尾夏奈、副島廉、野中佑弥、坂本宏子

演題：回復期リハビリテーション病院における急変対応への不安軽減に向けての取り組み

【目的】回復期リハビリテーション病院(以下回リハ)入院患者においては、近年の医療情勢に伴い、急性期病棟からの転院・転棟時期の早期化や対象疾患の多様化、原因疾患や併存症、既往症の再発・増悪さらには新たな余病発症などの急性転化が増加傾向にある。当院でも平成26年度頃から入院中の急変患者数が増加傾向にある。しかしながら、現状として、看護職員の患者急変対応の経験は少なく、対応に不安があるという声が増えており、実践的教育の必要性を感じた。

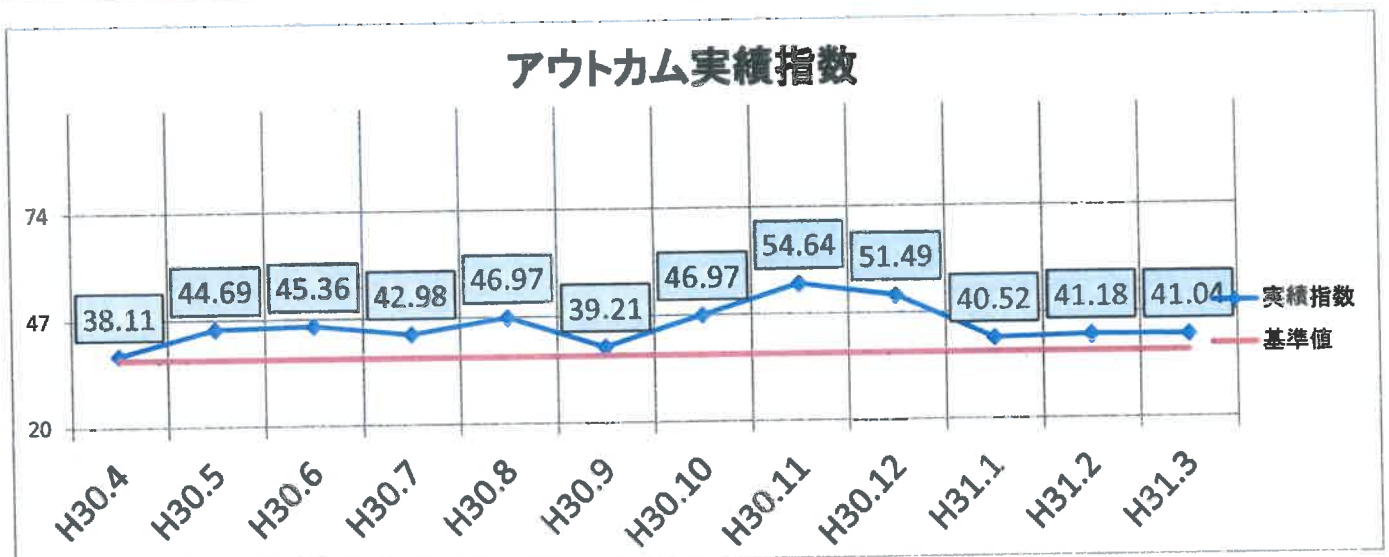
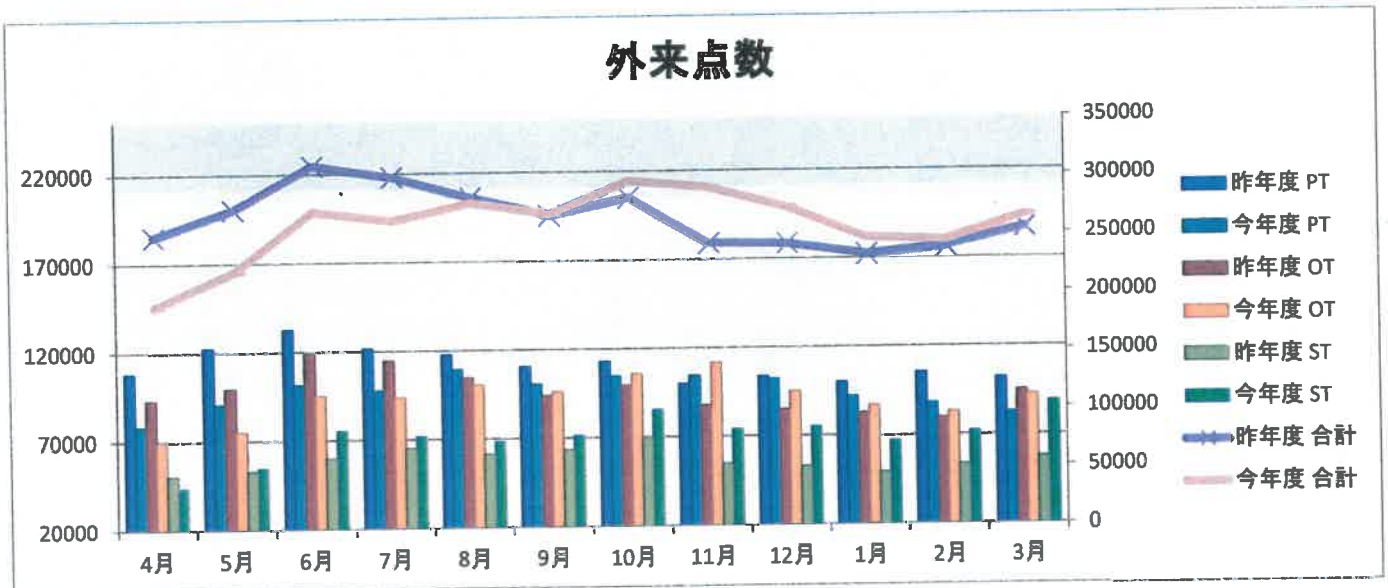
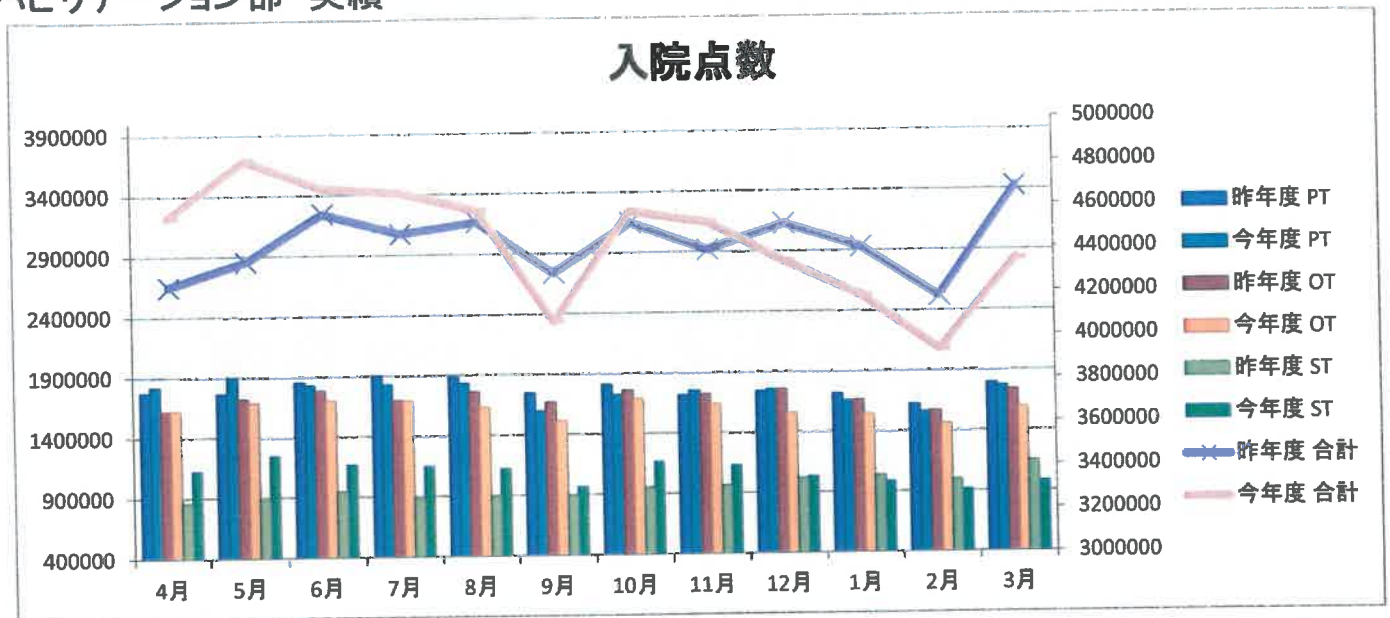
【研究方法】病棟に勤務する看護師・准看護師41名に、患者急変に対する座学およびシミュレーション勉強会を2回ずつ実施し、前後のアンケート調査により不安の変化を比較した。

【結果】事前アンケートの結果、実際の急変対応の経験が少ないため、手技への不安や何をしたらいいかわからない職員が多かった。当院での従来の勉強会は座学のみであったが、今回からシミュレーション勉強会を導入したことにより、勉強会後のアンケートでは、参加した職員全員が「不安が解消できた」と回答した。回リハでの年間急変患者数は少なく、経験ができていないのが実情であるが、発生した時の為に訓練が必要である。スタンダードな知識を理論的に理解する「理論的知識」と、実際に繰り返しやってみることでコツやノウハウを理解する「実践的知識」において、看護実践ではその両方が大切である。アンケートの結果から、今回の勉強会により手技や対応への不安が軽減した。今後もシミュレーション勉強会の継続が必要である。

平成 30 年 リハビリ部活動報告

リハビリテーション部活動報告

1. リハビリテーション部 実績



スタッフ状況

	備考	スタッフ人数		
4月	PT1名(笠原)・OT1名(那須)入職・小林ST復帰・牧原PT退職	PT28.5	OT25	ST16
5月	今里あPT・無津呂ST・山根ST復帰・猪口PT産休 通所齋藤PT病休	PT26.5	OT25	ST16
6月	房本病休	PT26.5	OT25	ST15
7月	通所齋藤PT退職・房本ST病休	PT26.5	OT25	ST15
8月	飯塚PT通所へ異動・房本ST病休・北島PT病職	PT25	OT25	ST15
9月	房本ST病休・北島PT病職	PT25	OT25	ST15
10月	高嶋PT・藤崎PT復帰・今里あPT病休・北島PT病職	PT26	OT25	ST16
11月	今里あPT病休・藤木ST産休・北島PT病職	PT26	OT26	ST15
12月	佐野ST産休・北島PT夢館総務へ	PT26	OT26	ST14
1月		PT26	OT26	ST14
2月	今里あPT病休・訪問今里篤PT病休・通所平原OT産休	PT25	OT25	ST14
3月	訪問今里篤PT病休・鳥取PT訪問へ異動・江口PT病棟へ異動・産休へ 本村OT・満丸OT退職	PT25	OT25	ST14

2. 概況・所見

前年度と比較し実績は入院が減、外来がやや増となっている。アウトカム実績指数は、38～45前後を推移している。今年度よりアウトカム実績指数が27より37と高くなったがクリアできている。在院日数が短縮した印象あり、これがアウトカムに影響をあたえていると考えられる。人員は、PTが退職や病休者が多くあり減少。OTは入院では減も、外来は増傾向あり。STも同様に産休者が戻ってきて前期は増も、後期は産休と入院の運動器疾患が増えた時期がありやや減。STもOT同様に外来は増加みられている。全体的に在院日数の影響がでている結果となっている。

また疾患別では、脳血管では高次脳機能障害が残存される方、運動器では高齢者の骨折が多くあり、アウトカム実績指数に負の効果

3. 活動報告

1) 院外

脳卒中連携パス会議

日時	場所	発表者	参加者
7月25日	佐賀大学		坂井・松石OT・など
11月28日	好生館		
3月27日	佐賀大学		坂井・江頭ひなど

大腿骨骨折連携パス会議

日時	場所	発表者	参加者
4月25日	好生館	運営報告・ 情報提供内容についての意見	坂井・泉などPT1・OT2
8月8日	好生館	運営報告・ディスカッション	坂井・吉竹などPT2・OT2
12月19日	好生館	運営報告・ディスカッション 当院施設・実績紹介	坂井 坂井・吉竹などPT5・OT2

回復期リハ病棟会議

日時	場所	発表者	参加者
7月27日	佐賀記念病院	各施設の運営状況 リハビリテーション総合実施計画書の運用	坂井・竹下など
11月20日	ひらまつ病院	研究発表会 佐古英樹OT発表	坂井・竹下など多数参加
1月19日	ひらまつ病院	各施設の運営状況 働き方改革	竹下・坂井など

就職説明会

学校名	参加
国際医療福祉大学PT(9/10)	坂井・吉竹
麻生リハビリテーション大学校合同(9/14)	吉竹・本村
柳川リハビリテーション学院(9/27)	坂井・本村
久留米リハビリテーション学院(9/28)	坂井・竹下
国際医療福祉大学OT(10/1)	坂井・本村
西九州大学(10/4)	坂井・竹下
武雄看護リハ学院(10/5)	坂井・吉竹
緑生館(10/14)	坂井・本村

介護認定審査会

平成30年

4月12日	中部広域連合	坂井沙織
4月26日	中部広域連合	坂井沙織
5月24日	中部広域連合	坂井沙織
6月7日	中部広域連合	坂井沙織
6月21日	中部広域連合	坂井沙織
7月19日	中部広域連合	坂井沙織
8月30日	中部広域連合	坂井沙織
9月13日	中部広域連合	坂井沙織
9月27日	中部広域連合	坂井沙織
10月25日	中部広域連合	坂井沙織
11月22日	中部広域連合	坂井沙織
12月6日	中部広域連合	坂井沙織
1月17日	中部広域連合	坂井沙織
1月31日	中部広域連合	坂井沙織
2月28日	中部広域連合	坂井沙織
3月14日	中部広域連合	坂井沙織

計16回

平成31年

中部広域リハセンター連絡協議会

8月29日	佐賀市医師会看護学校	坂井・吉竹・高原
3月13日	佐賀市医師会看護学校	坂井・吉竹

勉強会

11月9日	夢館通所リハビリ室	抱え上げない介護	塚原大和
2月20日	夢館通所リハビリ室	補装具について	淵上岳陽

<発表>

1) 院外

PT・OT・ST参照

2) 院内

目標管理発表会

5月22日	食堂	各担当者
-------	----	------

リハ部学会

8月29日	食堂	PT	近藤沙都美
		OT	伊東晋
		OT	満丸龍太
		OT	本村祐介

院内研修発表会

2月13日	通所リハビリ	OT	佐古英樹
-------	--------	----	------

佐賀リハ体験2018

5月19日	リハ室
-------	-----

勉強会

外部講師勉強会

日時	内容	講師名
8月22日	福祉用具・住宅改修導入効果の見える化	北島栄二
1月24日	シーティングに関して	山田麻和

おしゃべりステーション

日時	場所	内容	スタッフ	患者+入院・(家族)
4月11日	県立博物館	周辺散策	4名	6名
5月17日	旧食堂	入院患者との交流	3名	5名
6月21日	旧食堂	入院患者との交流	2名	5名
7月19日	旧食堂	ロボットリハ・自主訓練	3名	5名

10月19日 1階エントランス	座談会	1名	2名
11月15日 食堂	今後の会について	2名	5名
1月22日 旧食堂	近況報告・今後の会について	2名	5名

伝友会

5月19日 リハビリ室	座談会	13名(患者8名・家族5名)
8月29日 旧食堂	創作活動 座談会	14名(患者7名・家族7名)
12月13日 旧食堂・リハ室	集団言語訓練・失語症について	15名(患者8名・家族7名)
2月28日 旧食堂	語想起 創作 歌唱訓練	14名(患者9名・家族5名)

職場体験・見学

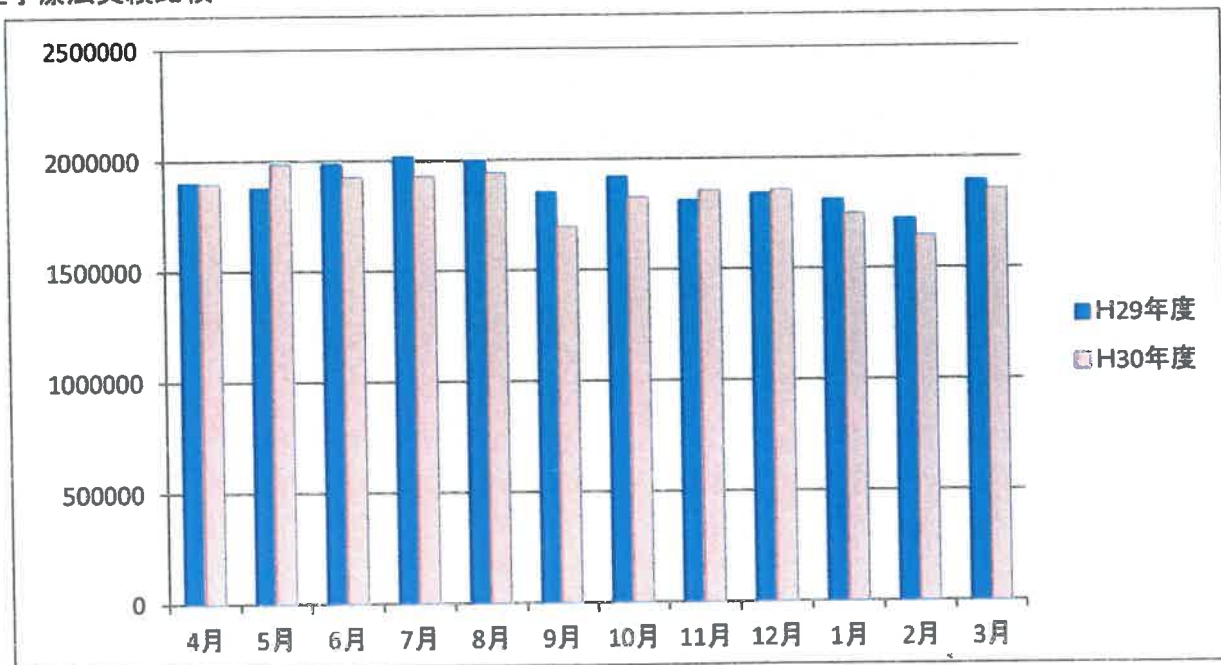
日時	学校名
8/21・22	清和中学校
10/3・4	佐賀県立致園館中学校
10月25日	佐賀県立佐賀商業高等学校

平成30年度 理学療法課年報

1.平成30年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1819365	78437	1897802
5月	1893492	90875	1984367
6月	1825784	101398	1927182
7月	1830153	98054	1928207
8月	1833556	109489	1943045
9月	1596096	100876	1696972
10月	1723983	104584	1828567
11月	1752812	104419	1857231
12月	1756237	102367	1858604
1月	1656299	92274	1748573
2月	1561169	88320	1649489
3月	1773851	82786	1856637
総計	21022797	1153879	22176676

2.理学療法実績比較



3.平成29年度 活動報告

1)年間行事

平成29年	4月1日	入社式 部署移動 辞令交付式 一部人事異動等) 笠原 悠亮(新人入職) 鳥取由紀子:(訪問→3階病棟) 齋藤亘(2階病棟→通所)
	5月26日～	猪口由季 育休
	5月28日～	今里あゆみ 育休復帰
	7月1日	日本リハビリテーション医学会(福岡国際会議場・参加西)
	8月10日	PTOTST研修会(福岡国際会議場・参加横尾)
	9月1日～	飯塚渉(2階病棟→通所)
	10月4日～	高島美春 育休復帰
	10月15日～	藤崎圭織 育休復帰
	8月22日	外部講師勉強会(講師:北島栄二先生)
	1月1日～	北島美紀(3階病棟→総務)

2)勤務配置

2階病棟専従	前田浩彰	西紘期	石田雅大	野中勇希
2階病棟専属	坂井沙織 池末明裕 高島美春	中溝健太郎(病棟責任者・訪問兼務) 飯塚渉(通所兼務) 牧原京子(H30.4退職)	熊倉飛鳥 笠原悠亮	今里あゆみ
2階病棟 外来兼務	江頭修司	池田典子	坂本一生	
3階病棟専従	横尾匠	枝吉直喜	近藤沙都美	園田貴嘉
3階病棟専属	吉竹陽介 鳥取由紀子(訪問兼務)	貝通丸淳 江頭ひろみ	藤木良平(病棟責任者) 藤崎圭織	光野敬彦
3階病棟 外来兼務	島内一磨 大田尾修造		北島美紀 猪口由季	
理学療法 助手	竹嶋喜代香			

3)学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

学会発表

学会名	九州理学療法士作業・療法士合同学会2018in沖縄
演題名	両側外転神経麻痺患者に対し迷路性眼球反射促進法を施行した一症例
発表者	前田浩彰
期日	平成30年10月13日

発表会名	第16回日本神経理学療法学会
演題名	進行性疾患の疑いがある脳卒中片麻痺患者のT-Support装用による歩行への介入効果
発表者	前田浩彰
期日	平成30年11月10日

発表会名	佐賀リハビリテーション研究会
演題名	反張膝を呈した症例に対する一考察 -GAIT JUDGE SYSTEMを活用して-
発表者	藤木良平
期日	平成30年11月17日

学会名	佐賀県理学療法士学会
演題名	脳卒中により片麻痺を呈した症例の長距離歩行機能獲得に向けた取り組み
発表者	西沙都美
期日	平成31年2月17日

症例発表

発表会名	佐賀県理学療法士会神経理学療法研修会
演題名	反張膝を呈した症例に対する一考察 -GAIT JUDGE SYSTEMを活用して-
発表者	藤木良平
期日	平成30年9月2日
発表会名	佐賀県理学療法士会中部広域部 症例検討会
演題名	脳卒中により片麻痺を呈した症例の長距離歩行機能獲得に向けた取り組み
発表者	西沙都美
期日	平成30年9月12日

院内勉強会

PT文献抄読会	2回/月
実習指導意見交換会	2回

4) 資格取得

資格名	認定理学療法士(脳卒中)
取得日	平成30年5月
取得者名	大田尾修造

5) 実習生受け入れ

実習期間	学校名	受け入れ人数	指導者名
5月7日 ~ 7月7日	福岡国際医療福祉学院	臨床実習1名	前田浩彰
5月7日 ~ 7月7日	熊本総合リハ学院	臨床実習1名	飯塚渉
5月7日 ~ 7月13日	緑生館	臨床実習1名	坂本一生
6月11日 ~ 7月28日	西九州大学	臨床実習1名	熊倉飛鳥
7月16日 ~ 9月15日	久留米リハ学院	臨床実習1名	大田尾修造
7月2日 ~ 9月8日	麻生リハ学院	臨床実習1名	横尾匠
7月23日 ~ 9月22日	柳川リハ学院	臨床実習1名	光野敬彦
8月10日	柳川リハ学院	見学実習4名	江頭修、鳥取、他2名
10月1日 ~ 12月10日	緑生館	評価学演習2名	園田貴嘉、野中勇希
1月7日 ~ 2月2日	西九州大学	評価実習1名	熊倉飛鳥
1月28日 ~ 2月20日	福岡国際医療福祉学院	評価実習1名	枝吉直喜
1月28日 ~ 2月20日	柳川リハ学院	評価実習1名	池末明裕
2月4日 ~ 2月16日	西九州大学	検査測定実習1名	石田雅大
2月4日 ~ 2月9日	西九州大学	見学実習1名	江頭修司
3月4日 ~ 3月22日	緑生館	評価実習1名	西紘期

6) コメント

30年度理学療法課は、早期退院に結びつく訓練・連携の実施、知識・技術の習得を目標に進めてきた。早期退院への意識は各々持って訓練に取り組んでいたようだが、病棟スタッフとの連携に関しては十分に行えていない面があったように感じている。特に電子カルテが導入されてからはナースステーションにリハスタッフが出入りする機会が減ったこともあり、意識して病棟スタッフへ声掛けを行わないと情報交換やディスカッションが不十分となっていたようである。病棟と合同の勉強会も行っており、その際のアンケートで連携の必要性を殆どの者が感じていることから、今後も継続して合同の勉強会などを行い促していくことで連携は今まで以上に取られていくようになると考える。

知識・技術の習得に関しては、各々院外の勉強会に参加し、係内で伝達講習や技術交流会も行うなど積極的に取り組んでいたようである。しかし今年度課で症例検討会を行わなかったことや、係内で技術を高めようと取り組んだため、理学療法課としての知識・技術の共通認識が薄れたように感じる。令和元年度は症例検討会の再開や課の勉強会を行うことで統一を図っていく。

29年度学会発表は2演題のみであったが30年度は4演題と増えたことは30年度課として研究に力を入れてきた結果と考える。しかし30年度は研究のグループを作り取り組むよう促したものの、グループで研究した発表は無かった。令和元年度は、グループで取り組んだ発表が複数できるようにしていく。

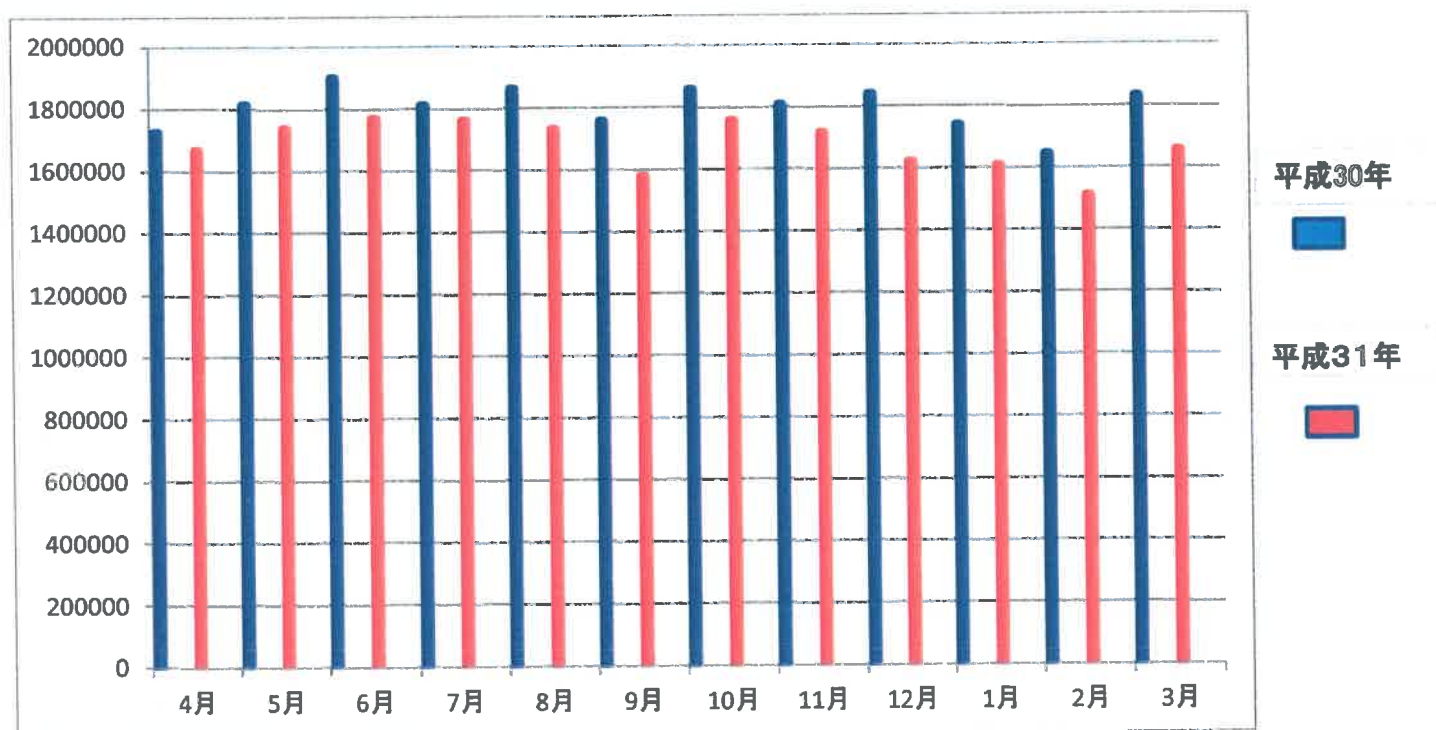
リハビリ部では個人目標を立て取り組んでいるが、昨年度より達成率が高く理学療法課は約7割が達成していた。組織に貢献できる目標を立てている者が多く、今後も達成を重ねていくことでさらに良い組織へと変わるよう取り組んでいく。

平成30年度 作業療法部門年報

1.平成30年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1601555	69441	1670996
5月	1662922	75306	1738228
6月	1675223	95456	1770679
7月	1669018	93977	1762995
8月	1633759	100689	1734448
9月	1485707	96307	1582014
10月	1652988	105969	1758957
11月	1606622	111671	1718293
12月	1529792	93483	1623275
1月	1524509	86110	1610619
2月	1431898	81402	1513300
3月	1566271	91440	1657711
総計	19040264	1101251	20141515

2.作業療法実績比較



3.平成30年度 活動報告

1)年間行事

平成30年

4月2日
4月20日
5月6日
5月12日
5月19日
5月23日
6月3日
6月6日
6月16日
6月23日
6月24日
6月28日～7月1日
6月29日
8月5日
8月8日
8月22日
8月29日
8月29日
8月31日
9月7日～9日
10月3日、4日
10月21日、11月11日
10月21日
10月28日
11月3日
11月9日
11月17日
11月20日
11月28日
12月2日
12月6日、7日
12月14日
12月16日
12月19日
12月21日
12月28日
1月4日
1月19日
1月24日
1月27日
2月13日
2月20日
2月21、22日
3月2、3日
3月2日
3月20日
3月24日
3月27日

入社式 部署移動 辞令交付式
新人歓迎会(リハビリ部)
北村PT結婚式
吉田幸OT、城野OT結婚式
佐賀リハ体験2018
目標管理発表会
山中OT、平河NS結婚式
互助会総会
佐賀リハビリ研究会
現職者研修
第19回 佐賀県作業療法学会
日本リハビリテーション医学会 満吉OT参加
九州労働局監査
栄の国祭り
大腿骨パス会議
外部講師勉強会(福岡国際大学 北島先生)
リハ部学会 本村・満丸・伊東発表
中部広域リハセンター連絡協議会
理事長会長就任祝賀会
第52回 日本作業療法学会 本村・満丸 発表
リハビリテーションケア合同学会 伊東OT発表
地域包括ケア推進リーダー研修会
諸井会計ソフトボール・ミニバレー大会
OTフェスタ 金子・竹下・泉・満吉・本村
リハ部旅行
佐賀中部地域リハビリテーション広域リハセンター研修会
国際医療福祉大学 バイザー会議 武藤OT出席
佐賀県回復期病棟 研修会
脳パス会議
西九州大学 バイザー会議 松石OT出席
日本高次脳機能障害学会 吉田幸OT参加
リハ部忘年会
現職者共通研修会及びMTDLP事例検討会
大腿骨パス会議
病院忘年会
仕事納め
仕事始め
久留米リハビリテーション学院 バイザー会議
外部講師勉強会(長崎北病院 山田先生)
日本安全運転・医療研究会 猪口OT参加
院内研究発表会 佐古英OT発表
佐賀中部地域リハビリテーション広域リハセンター研修会
回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会 佐古英OT発表
シーティングカンファレンス 佐古英OT、猪口OT 発表
電気の祭典 吉田修OT、山中OT 参加
リハ部送別会
桜マラソン
脳パス会議

平成31年

2) 勤務配置

2階病棟専属	竹下宏史 井手弥里	佐古英樹 那須由布子	松石健一郎 畑瀬弥生(平成30年1月16日～産休)	西村剛	吉田華菜梨	山中勇人	伊東晋
2階病棟外来兼務	猪口達也 吉田修	高田聡美	飯田桂子(平成30年3月3日～産休)				
3階病棟専属	本村祐介 佐古志穂	崎野真文	川口大貴	泉拓也	吉田幸平	武藤廣徳	富安純華
3階病棟外来兼務	満丸龍太	満吉裕子	内田めぐみ	高田恵理香			
OT助手	津村みゆき						

3) 実習生受け入れ

5月7日	～	7月13日	緑生館	臨床実習1名	SV: 満吉CV: 崎野
7月16日	～	9月15日	久留米リハ	臨床実習1名	SV: 西村CV: 山中
6月11日	～	7月28日	西九州大学	臨床実習1名	SV: 松石CV: 猪口
8月6日	～	9月28日	国際医療福祉大学	臨床実習2名	SV: 佐古英CV: 伊東 SV: 満丸CV: 武藤
1月7日	～	2月2日	西九州大学	評価実習1名	CV: 吉田華
2月4日	～	2月9日	西九州大学	見学実習1名	SV: 富安
2月4日	～	2月16日	西九州大学	見学実習1名	SV: 高田聡
2月18日	～	2月22日	緑生館	見学実習1名	SV: 井手
3月4日	～	3月22日	緑生館	評価実習1名	CV: 佐古志

4) 学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

平成30年9月7日～9日	第52回日本作業療法学会	本村祐介発表
平成30年9月7日～9日	第52回日本作業療法学会	満丸龍太発表
平成30年10月3, 4日	リハビリテーションケア合同学会	伊東晋発表
平成31年2月21, 22日	回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会	佐古英樹発表

学会発表

学会名	第52回日本作業療法学会in名古屋
演題名	上肢用ロボット型運動訓練装置(ReoGo-J)と課題指向型訓練を実施して麻痺手の使用頻度が増加した一例
発表者	本村祐介
期日	平成30年9月8日
学会名	第52回日本作業療法学会in名古屋
演題名	回復期リハビリテーション病棟に入院した患者に対して生活行為向上マネジメントを使用し調理が再開できた一症例
発表者	満丸龍太
期日	平成30年9月8日
学会名	リハビリテーションケア合同学会in米子
演題名	ADL確認表の改訂-多職種間での情報共有化を目指して
発表者	伊東晋
期日	平成30年10月3日
学会名	回復期リハビリテーション病棟協会 第33回研究大会in千葉
演題名	セラピスト・福祉用具事業所共同での福祉用具研修会の取り組みについて
発表者	佐古英樹
期日	平成31年2月21日

院内勉強会

OT内文献抄読会	1回/月
病棟合同ADL勉強会	1回/2ヶ月
在宅ディスカッション	1回/月

5) 院外活動

佐賀県作業療法士学会運営委員

6)コメント

今年度のリハ部の目標が「生活を捉える」ということで、作業療法課としては昨年と同様に目標を「在宅へのソフトランディング～2年目～」として昨年度の反省を踏まえて下位目標を設定した。新たに変更した項目としては、①文献抄読会②ADL(排泄の分析)を追加した。現在OT協会内でエビデンスに基づく作業療法の提供が求められている。そのこともあり、作業療法課内でも各スタッフの知識・技術の向上のために上記の①、②を下位目標に挙げて取り組みを行った。その他、在宅ディスカッション・退院後のフォローアップは引き続き行い、安定した在宅復帰へ繋げていけるよう在宅部門のスタッフとのディスカッションの場を設けていった。

今年度より日本作業療法士協会の定義も改定され、作業療法に求められることについて明確となった。各個人が興味のある内容について様々な文献を用いて調べまとめることで、各個人の知識向上と伝達することの難しさなどを知ることができたと思う。ADLの分析では、今まで各個人の知識や技術により評価する内容や視点などのばらつきがあったため、統一した書式を作成することで各個人のばらつきを無くし新人教育指導の一つとしても活用できるように取り組んできた。昨年実施していた福祉用具研修会は、諸事情もあり今年度は実施できなかった。

研究では全国レベルの学会に4題発表しました。内容としては事例検討を2題、院内の取り組みを2題発表し全国での発表を通して各個人のスキルアップにつながった。来年度は県士会学会を2題・全国学会を2題発表予定しており今後も作業療法課のレベルアップにつながるよう取り組んでいきたい。

実績に関しては、今年度も充実加算を算定することができました。実績指数の37という数値が今後も継続できるように早期在宅復帰と効果のある作業療法が提供できるようにリハビリ部全体で取り組んでいきたい。

最後に、来年度も引き続き在宅生活を見据えた関わり、病棟や生活期のスタッフと協力したアプローチが実施できるよう専門性を高め、作業療法士一丸となり取り組んでいける体制を働きかけていきたいとします。

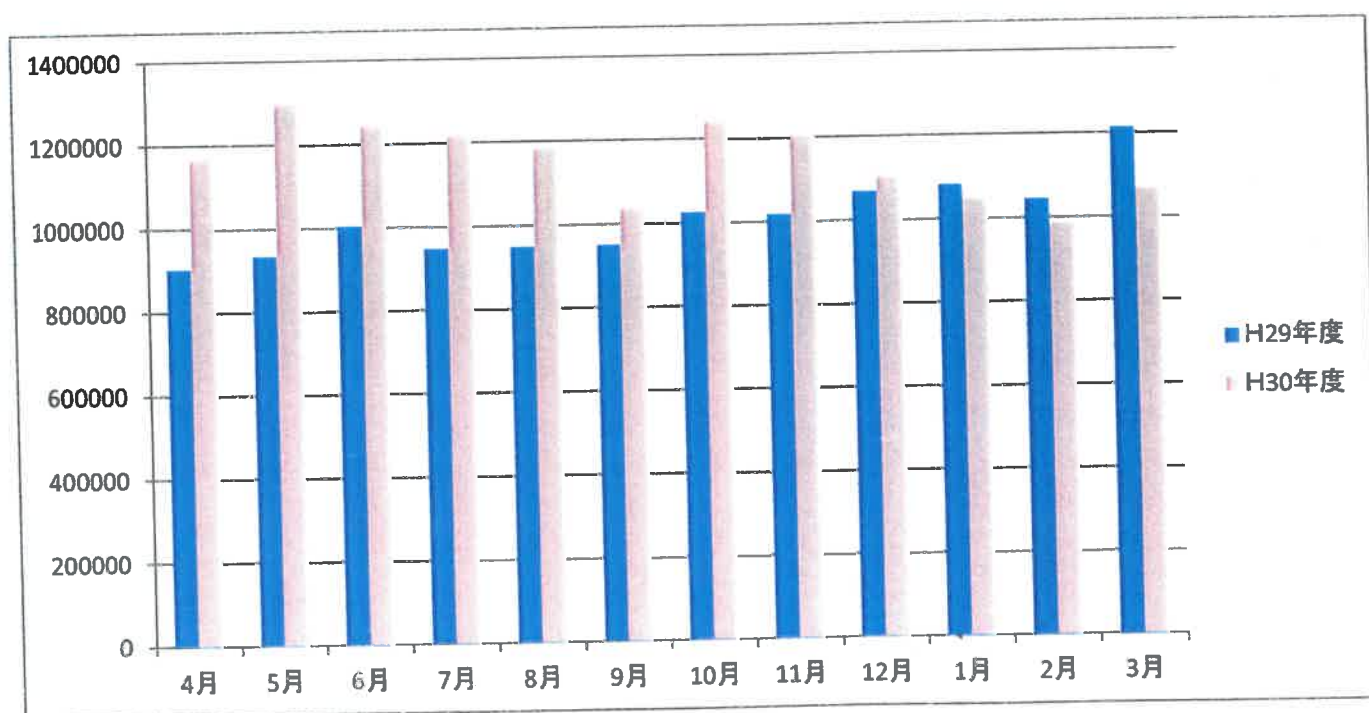
作業療法課長 本村祐介

平成30年度 リハビリ部 言語聴覚療法課 年報

1 平成30年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1124190	43655	1167845
5月	1245867	54877	1300744
6月	1170610	75587	1246197
7月	1147905	72118	1220023
8月	1114675	68554	1183229
9月	966055	71455	1037510
10月	1157555	85622	1243177
11月	1132597	74126	1206723
12月	1029935	75245	1105180
1月	983006	67055	1050061
2月	913780	72277	986057
3月	980704	89235	1069939
総計	12966879	849806	13816685

2.言語聴覚療法実績比較



3.平成30年度 活動報告

1)年間行事

平成30年

4月2日

入社式 部署移動 辞令交付式(一部人事異動)

前田洋文 第1係→第2係長へ

5月1日

山根美和子 育児休暇から復帰(第2係)

5月1日

無津呂香織 育児休暇から復帰(第2係)

8月23日、28日

第1回 摂食嚥下委員会 勉強会

11月15日

藤木朋香 産前後休暇へ

12月5日

佐野宏奈 産前後休暇へ

12月11日

第2回 摂食嚥下委員会 勉強会

平成31年

2月6日

野中里奈 産前後休暇へ

2)勤務配置

2階病棟	高原由紀子(外来兼務)	野中里奈(2F責任者)	加藤美穂(時短)
	富永裕子(時短)(外来兼務)	藤木朋香(時短)	房本研二(パート)
	高嶋駿	西村杏子	佐野宏奈 森園麻美(パート)
3階病棟	前田洋文(3F責任者)	松石亜季子(主査)	高島雄平(外来・訪問兼務)
	小林友(時短)	原口福美(外来兼務)	福地詠子
	山根美和子(時短)	濱口晴香	庄野麻規子(時短) 無津呂香織(時短)

3)実習生受け入れ

5月21日	～	6月16日	麻生リハビリテーション大学校	臨床実習1名	SV:松石
7月17日	～	9月7日	長崎リハビリテーション学院	臨床実習1名	SV:前田
1月7日	～	1月19日	国際医療福祉大学	臨床実習1名	SV:富永

4)学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

6月30日～7月1日	第55回日本リハビリテーション医学会	濱口晴香 参加
8月10日	第45回PTOTST研修会	山根美和子 参加

学会発表

学会名	佐賀リハビリテーション研究会
演題名	「失語症者の社会支援に向けた取り組みと課題」
発表者	原口福美
期日	平成30年6月16日

学会名	International Aphasia Rehabilitation Conference
演題名	Adaptation and validation of the Code-Muller Protocols for Japanese
発表者	松石亜季子
期日	平成30年9月3日～8日

学会名	第8回 日本言語聴覚士協会九州地区学術集会佐賀大会
演題名	「回復期病棟における嚥下障害患者の全経口率データを導入した取り組み」
発表者	高嶋駿
期日	平成31年1月19日～20日

学会名	第32回 回復期リハビリテーション病院協会 研究大会
演題名	「全経口率に着目して在宅復帰に繋げる取り組み～第1報～」
発表者	濱口晴香
期日	平成31年2月21日～22日

学会名	第32回 回復期リハビリテーション病院協会 研究大会
演題名	「全経口率に着目して在宅復帰に繋げる取り組み～第2報～」
発表者	高嶋駿
期日	平成31年2月21日～22日

院外研修会・勉強会発表

学会名	佐賀県言語聴覚士会 中部地区勉強会
演題名	「回復期リハ病棟における全経口率向上に繋げる取り組み」
発表者	高嶋駿

期日	平成30年10月26日
学会名	生活リハビリテーションネットワーク
演題名	「回復期リハSTが生活を捉えるために」
発表者	高原由紀子
期日	平成31年1月22日

院内勉強会

ST勉強会	1回/月
ST各係文献抄読会	1回/月
ST症例検討会	1回/月
暮らしのグループワーク	1回以上/月
ST各係でのディスカッション	1回以上/月

5) 院外活動

佐賀県言語聴覚士会事業に協力した。
 佐賀県リハビリテーション3団体協議会の事業に参加・協力した。
 地域ケア会議に参加・協力した。

6) VF/VE

4/10 石丸末博	4/17 樋渡保博	4/18 古賀恵美子	5/9 吉次登志巳(訪問)
5/25 石丸末博	6/8 石丸末博、藤崎勲	6/22 石丸末博、江田良孝	
6/26 豆田春子	7/6 中野弘	7/24 中村敬二	8/1 古川大三(外来)
8/1 福岡弘道	8/8 江島タカ子	9/19 中村敬二	9/21 野口マサ子
9/28 秋田恵	10/10 福田隆	10/17 田島幹司	10/24 一之瀬ナツエ
11/2 秋吉喜美子	11/14 福田隆	11/27 加藤富也	12/5 東島恭彦
12/7 有馬シヅ	12/11 高柳勇輝	12/14 市川晴基	12/18 大野幸男
12/19 佐々木譲	1/18 大野幸男	1/22 北島政次	2/15 市川春基
3/12 古川巖	3/20 最所裕子	3/29 北島龍蔵	

7) コメント

今年度は産休者等なくST全員が揃う時期があった。したがって、みんなで意識や知識を高めあいたいと考えた。ST課目標は、引き続き「専門的知識・技術を習得する」「暮らしを視る力をつけ、実践する」とした。そのために、「経管栄養から経口摂取への移行率50%」「VF35件実施」と具体的な目標を立て、各係で嚥下障害患者の状況把握と予後予測を意識してリハビリを提供するよう助言・指導を行った。また、自宅での生活を見る視点を養う目的で「暮らしのグループワーク1回/月」「家屋調査60件同行」とし、「暮らし」に注目し視野拡大を目指した。

まず、各係ディスカッションを行ったことで、係長や専属STが全患者を確認・把握することにつながり、各STの弱い分野が見えてきた。そして、実際事例を通してディスカッションを行うことで、先輩の考え方に触れ、且つ後輩へ具体的な助言する機会が増え評価・訓練立案の質が高まった。

また、暮らしを見る視点はST全体として広がったと感じている。実際、プリント課題＋語想起といった同時課題を実施することが多かった中、洗濯物をたたむ＋語想起での同時課題など今後の生活を見越したプログラム立案があった。しかし、生活(能力)へ偏り、本来の機能面の強化が不十分である事例が生じ、経験ごとの指導が必要であると感じ、下半期は軌道修正を行った。

また、昨年度から今年度にかけて取り組んできたことを学会発表させていただけたことは自信につながったと思われる。

ST課内でかかりの役割を明確にすることで、各々が考え計画的に遂行する姿勢がみられていたことは、今後に活かしていけると実感した。来年度も明確な目標を立て、各STがしっかり役割を認識し実践することでST全体をさらに盛り上げていきたいと考えている。

文責 言語聴覚療法課長 高原由紀子

Adaptation and validation of the Code - Müller Protocols for Japanese: a preliminary report

Akiko Matsuishi¹⁾, Mariko Yoshino²⁾

1) speech-language therapist, Saga Rehabilitation Hospital

2) Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba

Background:

The 'Code-Müller Protocols' (CMP) were introduced by Code and Müller in 1983 to compare perceptions of psychosocial adjustment to aphasia from the separate perspectives of patients, relatives and speech-language therapists as a basis for counseling (Müller and Code, 1983). In later studies, the items of the CMP were also used to examine perceptions of their importance as possible therapy targets in rehabilitation of people with communication disorders.

Aims:

The aims of this study are to develop a Japanese version of CMP (CMP-J), and to examine its reliability and validity in Japanese persons with aphasia (PWAs), their relatives and speech-language therapists.

Methods and Procedures:

This study was approved by the ethics committee of University of Tsukuba. To develop the CMP-J, we first obtained permission from the lead author of the CMP, prof. Chris Code (title of the time). Then, we translated the CMP from English to Japanese. Japanese translation was then translated back into English by a native English speaker. We sent the back translation to prof. Code and obtained the approval. For the second phase of this study, we administered CMP-J to 40 PWAs (33 males and 7 females; mean age: 65 years; mean time post onset of stroke: 32.7 months), 22 relatives (12 wives, 4 husbands, 4 children, 2 brothers) and the corresponding speech-language therapists. To confirm the test-retest reliability, we asked PWAs and their relatives to complete CMP-J a second time one or two weeks later. Internal consistency was assessed by Cronbach's α , and test-retest reliability was assessed by the intraclass correlation coefficient (ICC). To determine the criterion validity, we asked PWAs to complete Japanese version of Self-rating Depression Scale (SDS-J) (Fukuda and Kobayashi,

1983) and calculated the correlation between the CMP-J total score and the SDS-J score using Spearman's rank correlation coefficient.

Outcome and Results:

The internal consistency (Cronbach's α) of the CMP-J was high (0.922). The test-retest reliability, based on the total of 55 samples, was enough high (ICC=0.872). Spearman's rank correlation coefficient between the CMP-J and SDS-J was acceptable (-0.569; $p<.05$).

Conclusions:

The Japanese version of CMP demonstrated an acceptable reliability and validity in Japanese stroke patients with aphasia and their relatives. The CMP-J would provide a simple measurement of perceptions and expectations concerning psychosocial adjustment to aphasia and allow a comparison of incongruence between PWAs, their relatives and therapists. Collection of additional data is underway to examine internal consistency of each group, so that the validation of CMP-J would be stronger. It will enable us to apply CMP-J to clinical practice in Japan.

References

- Code, C., Müller, D. J. (1992) *The Code-Müller Protocols: assessing perceptions of psychosocial adjustment to aphasia and related disorders*. London, Whurr Publishers.
- Fukuda, K., and Kobayashi, S. (1983) *Japanese version of W. W. K. Zung's Self-rating Depression Scale*. Tokyo: Sankyobo. (in Japanese)
- Müller, D. J., Code, C. (1983) Interpersonal perceptions of psychosocial adjustment to aphasia. In C. Code and D. J. Müller, (eds), *Aphasia Therapy* (First edition). London: Edward Arnold.

演題

発表形式	一般演題		
発表分野	成人領域		
	摂食嚥下		
演題名	「回復期病棟における嚥下障害患者の全経口率データを導入した取り組み」		
発表者 E-mail	st.syun66@gmail.com		
発表者氏名・所属	高嶋駿 ¹⁾ 1)医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚士		
共同演者 氏名・所属	高原由紀子 ¹⁾ 松石亜季子 ¹⁾ 濱口晴香 ¹⁾ 吉原正博 ²⁾ 紫藤泰二 ²⁾ 1)医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院 リハビリテーション部 言語聴覚士 2)医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院 医局 医師		
抄録	【はじめに】言語聴覚士(以下 ST)が在宅復帰率向上に向けてチームに貢献できる分野の一つとして、「食事」がある。当院回復期リハビリテーション病棟言語聴覚療法課では、「全経口率 80%達成」を目標に、嚥下障害患者の栄養確保手段を確認するツールとして「全経口率データ」を考案し、導入している。今回、これを使用する中での ST の意識変化について、考察を加え報告する。 【全経口率データについて】各嚥下障害患者の栄養確保手段を確認するために、必要摂取量が全て経口より確保出来ている患者を「全経口」として“○”、それ以外を「非全経口」として“×”を記載する一覧表を病棟ごとに用意し、担当 ST が毎日○×記載を行った。これをもとに病棟ごとの全経口者数を毎日割出し、1 ヶ月の平均をパーセンテージで表したものを「全経口率」とした。これを毎月グラフ化し、月ごとの変化も可視化できるようにしたものを「全経口率データ」とした。 【全経口率データ導入による効果】同年度末に回復期病棟 ST17 名を対象に、全経口率データについて「導入しての変化」「今後の改善案」に関するアンケートを実施した。その結果、全経口率データの導入前後の意識変化については、17 人中 15 人が「変化があった」を選択し、自由記載では肯定的な回答が多くみられた。指摘改善案として「○・×二択のために経過が分かりづらい」、「非全経口者の経過に絞った方がいいのでは」等の回答があった。 【考察と課題】全経口率データの導入は、当院 ST が経口摂取への意識向上を図る上で有効であったと考える。全患者の毎日の変化が一覧表にて確認出来るため、担当以外の患者にも意識が向き ST 同士でディスカッションを行う機会が増加したものと思われる。今後は、個々の ST が嚥下障害患者の明確なプランニングを行い、必要に応じて評価・訓練の再検討が可能となるよう全経口率データを改訂し、将来的に在宅復帰へ寄与できるツールにできればと考える。		
倫理的配慮	無	利益相反	無

「全経口率に着目して在宅復帰に繋げる取り組み～第2報～」

医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院

リハビリテーション部

高嶋駿 濱口晴香 松石亜季子 高原由紀子 吉原正博 紫藤泰二 吉原麻里 富安夏子

【はじめに】当院言語聴覚療法課では、昨年度在宅復帰に寄与することを目的に、嚥下障害患者の全経口率 80% を目標とし、これを達成するためのツールとして「全経口率データ」を導入した。結果、全経口率は目標にやや届かなかったものの、データを利用した言語聴覚士(以下 ST)の全経口への意識は変化がみられ、データ使用に関して肯定的な意見が多数認められる結果となった。今回、昨年度の指摘改善点を修正し使用した中での適用について再検討したので報告する。

【対象】平成 30 年 4 月～平成 31 年 1 月までに当院入院の嚥下障害の診断を受けた患者

【方法】全経口率データの記載方法について、前年度までは「全経口」、「非全経口」の 2 択(○、×)で記載をしていたため、直接的嚥下訓練などで、一部経口摂取を開始している患者の把握が不十分であった。そこで「非経口」「一部経口」「全経口」と 3 つの選択肢を設け、各患者の毎日の栄養確保手段を確認し、担当 ST が記載を行う事とした。また非経口者に、より早期に経口摂取の開始を促すために、「非経口から全経口への移行率(以下、移行率)50%以上」を新たな ST 目標の一つとして設定した。この移行率は全経口率データに毎月掲載すると共に、ST 会議でも全経口率と併せて報告し、周知を図った。

【結果と考察】近年、回復期リハビリテーション病棟入院時に経管栄養を要する脳卒中患者のうち、退院時には約半数が 3 食経口摂取となる、という報告がみられている(高山ら 2018)。そこで、今年度は当院での全経口率とその内の在宅復帰者の割合と共に、移行率も提示し、高山らの報告と比較検討したいと考える。また今年度も、回復期病棟所属の ST17 名を対象にアンケートを行う予定である。発表当日は、以上の結果に若干の考察を加え、今後の展望と併せて報告する予定である。

全経口率に着目して在宅復帰に繋げる取り組み～第1報～

医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院

リハビリテーション部 濱口晴香 高原由紀子 松石亜季子 高嶋駿

診療部 吉原正博 紫藤泰二 吉原麻里 富安夏子

【はじめに】 当院にて前年度嚥下障害の診断を受けた患者の内、退院時に全て経口から栄養確保している人数の割合（以下全経口率）を調査すると、73%であった。これを退院先毎に分析すると、介護老人保健施設・療養型病院等への退院者は59%、自宅及び自宅扱い施設退院者（以下在宅復帰者）が95%であり、在宅復帰者のほとんどが全経口であった。このことから、全経口であることは在宅へ復帰するための一要素と成り得ると考えられる。そこで、STとして在宅復帰へ寄与するために、当院嚥下障害患者の全経口率80%達成を目標に掲げた。同時にこれを達成するためのツールを導入し、適用について検討を行うこととした。

【対象】 平成29年4月～平成30年3月当院入院の嚥下障害の診断を受けた患者174名

【方法】 全経口率を管理するツールとして「全経口率データ」を作成した。全経口患者を○、それ以外を×とし、各STが担当患者の食事面に関して毎日○×記号で記入。月毎に全経口率を算出し、ST全体へ結果を周知した。全経口率データはグラフ化し提示することで、月毎の変化も可視化できるようにした。また回復期病棟所属のST17名対象にアンケートを実施。1年間全経口率データを使用したことでの変化や改善点、経口摂取への個人内の意識変化についての項目を設けた。

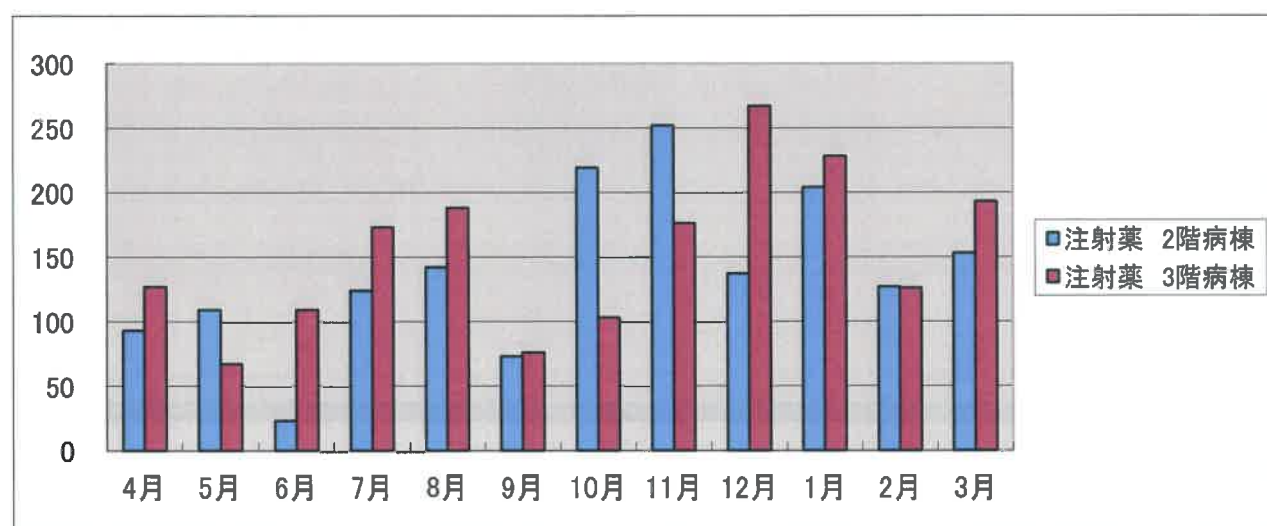
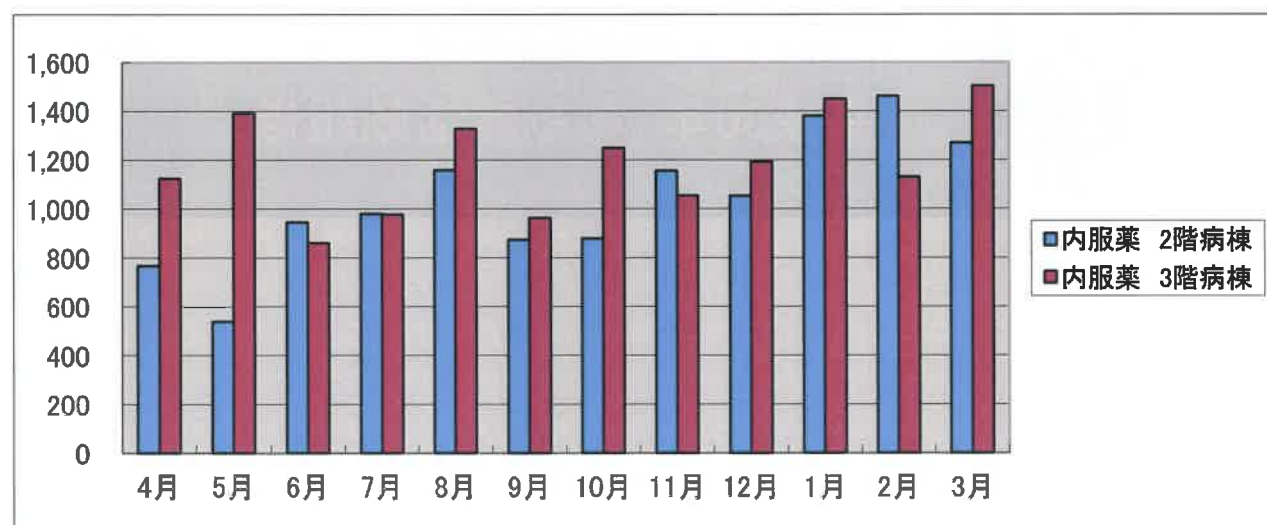
【結果】 全経口率は78%、そのうち在宅復帰者の割合は98%であった。STへのアンケートでは肯定的な意見が多く挙げられ、17名中15名は意識変化があったとの回答が得られた。またST間での患者の現状・予後予測等の経過報告や話し合いの機会は、以前よりも増加が見られた。

【考察】 全経口率データは、STが全経口率を管理するための至便なツールであると思われる。今後は対象者の選定基準や記載方法の改善を行う等のバージョンアップを図り、STとして在宅復帰へ寄与するためのツールになるよう、更に改訂したいと考える。

平成30年 薬剤課活動報告

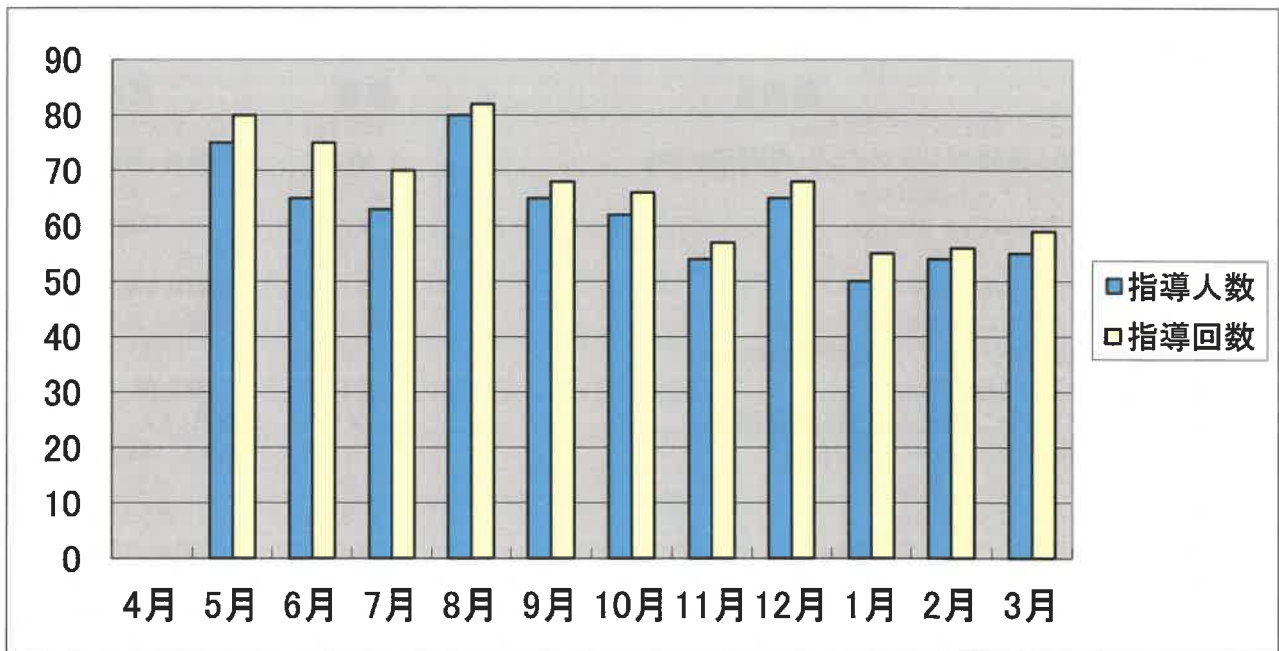
平成30年度 調剤数

月	内服		内服薬合計	注射薬		注射剤合計	内服薬 外来
	2階病棟	3階病棟		2階病棟	3階病棟		
4月	767	1,124	1,891	93	127	220	55
5月	538	1,390	1,928	109	67	176	48
6月	945	860	1,805	23	109	132	68
7月	980	977	1,957	124	173	297	69
8月	1,158	1,327	2,485	142	188	330	61
9月	873	962	1,835	73	76	149	63
10月	878	1,249	2,127	219	103	322	75
11月	1,155	1,055	2,210	252	176	428	63
12月	1,053	1,192	2,245	137	267	404	62
1月	1,380	1,449	2,829	204	228	432	63
2月	1,462	1,130	2,592	127	126	253	50
3月	1,270	1,503	2,773	153	193	346	54
合計	12,459	14,218	26,677	1,656	1,833	3,489	731

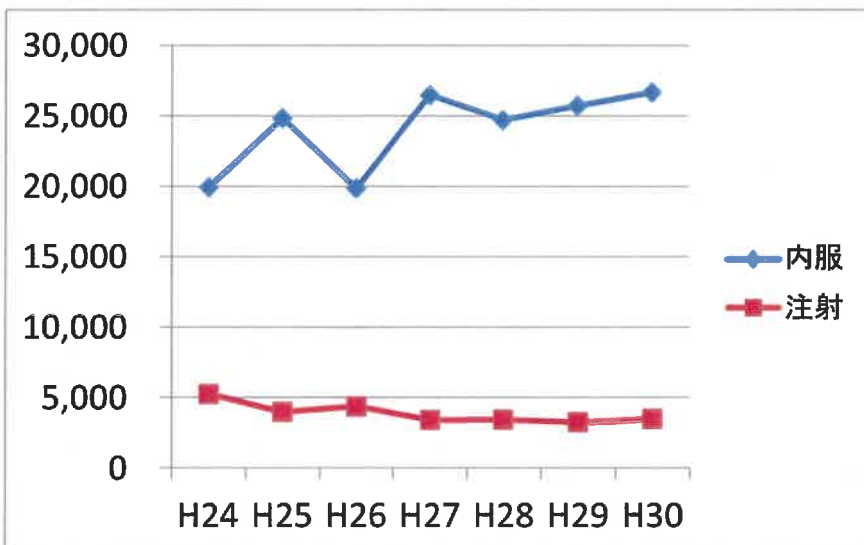


平成30年度 服薬指導実施状況

月	指導人数	指導回数
4月		
5月	75	80
6月	65	75
7月	63	70
8月	80	82
9月	65	68
10月	62	66
11月	54	57
12月	65	68
1月	50	55
2月	54	56
3月	55	59
合計	688	736



年度毎調剤数の推移



	内服	注射
H24	19,933	5,256
H25	24,838	3,975
H26	19,862	4,371
H27	26,481	3,404
H28	24,703	3,433
H29	25,723	3,251
H30	26,677	3,489

★後発品へ採用変更

		薬剤名	薬価	薬効
2018	4月10日	ロピニロール徐放錠2mg (先)レキップCR錠2mg	¥100.1 ¥239.7	パーキンソン病治療薬
	5月10日	ダイフェン配合錠 (先)バクタ配合錠	¥19.3 ¥67.9	抗菌薬(ST合剤)
	6月4日	ツロブテロールテープ 2mg (先)ホクナリンテープ 2mg	¥40.7 ¥66.6	気管支拡張薬 気管支喘息治療薬
	7月5日	カルボシステイン錠500mg (先)ムコダイン錠500mg	¥6.8 ¥13.6	去痰剤
	7月31日	シロスタゾール錠100mg (先)プレタールOD錠100mg	¥27.6 ¥82.0	抗血小板剤
	9月19日	ドルモロール配合点眼液配合点眼液 (先)コソプト配合点眼液	¥1,423.0 ¥2,846.0	緑内障
		ラタノプロスト点眼液 0.005% (先)カリーユニ点眼液 0.005%	¥897.5 ¥1,514.3	緑内障

※赤字:臨時採用

●後発品採用率 20.2% (H31.1現在)

★新規採用薬

		薬剤名	薬価	薬効
2018	5月7日	ニュープロパッチ 13.5mg	¥817.9	パーキンソン病治療薬
	5月12日	(後)硫酸ゲンタマイシン点眼液0.3%	¥88.0	結膜炎・角膜炎etc...
	6月5日	ノウリアスト錠20mg	¥782.0	パーキンソン病治療薬
	6月12日	ダラシンCap 150mg	¥23.4	抗菌薬
	6月28日	ニュープロパッチ 18mg	¥978.0	パーキンソン病治療薬
	7月4日	プロノン錠100mg	¥41.3	頻脈性不整脈治療薬
	7月20日	フルメロン点眼液 0.02%	¥184.5	結膜炎・角膜炎etc...
	7月31日	(後)チクロピジン塩酸塩100mg	¥5.8	抗血小板剤
	10月22日	セロケン錠20mg	¥12.6	狭心症、高血圧
	11月17日	アミカシン硫酸塩注射液200mg	¥115	抗菌薬(アミノグリコシド系)
	12月12日	(後)アテノロール錠25mg	¥5.8	高血圧、頻脈性不整脈
	12月17日	シナール配合錠	¥6.1	ビタミンC
		フラビタン錠5mg	¥5.6	ビタミンB2
	12月20日	タモキシフェン錠20mg	¥56.8	乳がん治療薬
	12月27日	リュープリン注射用キット3.75mg	¥34,730.0	抗がん剤
2019	1月21日	ドパストン静注25mg	¥144.0	パーキンソン病治療薬
	3月6日	ビムパット錠50mg	¥215.2	抗てんかん薬
	3月14日	メドロール錠2mg	¥8.8	副腎皮質ステロイド
		ブレディニン錠50mg	¥222.0	代謝拮抗薬(プリン拮抗薬)
	3月25日	(後)ニトラゼンCr 2%	¥192.0	抗真菌
	3月26日	デノタスチュアブル配合錠	¥18.7	低Ca血症の治療薬および予防

●新規採用21剤(うち後発品4剤)

※赤字:臨時採用

★新規購入物品

		商品名	価格	備考
2018	4月5日	写真付/服薬指導CD-ROM 2018年3月版	¥23,760	} 看護課購入希望品
	8月13日	人工呼吸器回路用アダプター(トラキT型アダプター)	¥385	
		蛇管(ブルーミスト)105cm (20本入)	¥5,500	
		スピゴットコネクター (20個入)	¥4,000	
2019	1月11日	今日の治療薬2019 (10冊)	¥44,710	看護課購入希望品
	2月8日	ウルゴチュール(10枚入)	¥3,333	

総括: 本年は後発医薬品の採用率を20%まで伸ばした。
電子カルテ導入など薬局業務の大きな転換期となったが
これを活かしよりチーム医療に貢献できる様改善に努める。

平成30年 栄養課活動報告

H30年度 栄養課活動報告

本年度の活動内容

食事サービスの提供

2F・3F 回復期リハ病棟	個別対応の治療食提供 行事食21回 入院時食事療養費(Ⅰ)1食640円 特別食加算1食76円 ○腎臓病食に準じて取り扱うことが出来る心臓疾患等の減塩食については 食塩相当量が1日6.0g未満 栄養管理加算→入院基本料として包括となった(入院基本料が11点引き上げられた) H22年6月7日より食事開始(おやつ付) H25年10月1日よりオープンし、食事提供開始 * 食器、トレイ類も新規購入(強化磁器、ノンスリップトレイ)
デイサービス吉原 夢館	} 誕生日会食、行事食、イベントメニュー提供
ドリームハウス吉原 グループホーム吉原 通所リハ	

◎毎月特産メニュー食品を使用

- ・ NST活動—NST回診(毎週PM2:00～)・NST・褥瘡合同委員会(年6回開催)
※2F:木曜日 3F:火曜日
- ・ 食中毒警報(ノロウイルス・O-157対策)
- ・ 梅雨時期の衛生管理強化
食中毒のポスターを掲示し、患者様方にも意識付けを行う
- ・ 8/5 リハ栄養フォーラム 2018 in福岡 JR九州ホールにて 管理栄養士 久保 出席
- ・ 8/24 農産物産地見学会 佐賀市内農産物園場にて(三瀬) 管理栄養士 久保 出席
- ・ 11/23 日本健康・栄養システム学会 第16回九州地方inSAGA アバンセホールにて 管理栄養士 久保・高松 出席
- ・ 2/9 第115回市民糖尿病教室 佐賀市医師会立 看護専門学校にて 管理栄養士 久保 出席
- ・ 2/25 栄養サポートチーム(NST)研修会 佐賀県医療センター好生館2F 多目的ホールにて 久保・秋葉・高松 出席
- ・ 嗜好調査 3月9日予定(病棟)、3月10日予定(夢館・デイサービス吉原)

※ 新規購入・ 7/13 マグカップ 50ヶ 日清医療食品より
8/3 エアコン取り付け(栄養士室、休憩室)
1/31 温蔵庫購入

修理…… 8/28 休憩室、エレベーター横一壁の補修工事
11/19 厨房内床洗浄、清掃、ワックスがけ

実習生受け入れ

11/5～11/10	西九州短期大学	給食管理実習	(2名)	指導担当者: RD 久保
3/4～3/15	西九州大学	臨床栄養実習	(3名)	指導担当者: RD 久保

実績

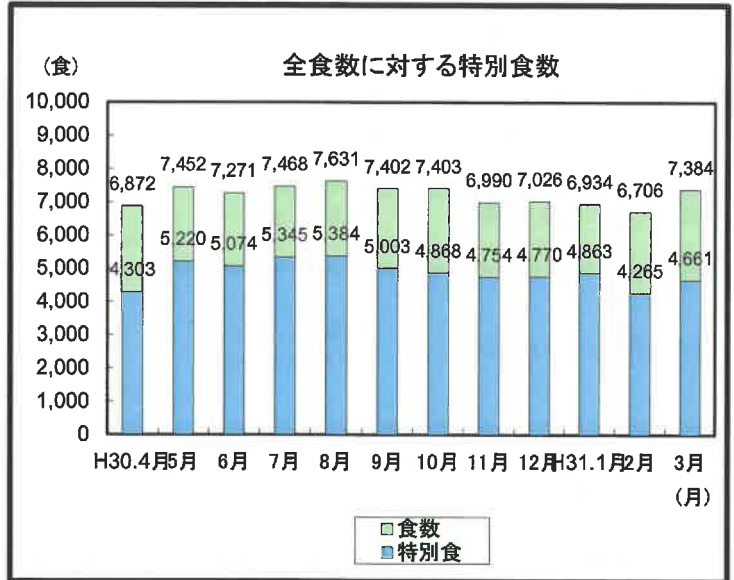
H30. 4月～ H31. 3月まで	デイサービス吉原食数	4,210
	ドリームハウス吉原食数	20,574
	グループホーム吉原食数	9,532
	通所リハ食数	14,042
	栄養指導件数	320
	栄養管理情報提供書	59

平成30年度 年報 栄養課活動報告

1. 実績

特別食の割合

月	食数	特別食	特別食加算の割合
H30.4月	6,872	4,303	63%
5月	7,452	5,220	70%
6月	7,271	5,074	70%
7月	7,468	5,345	72%
8月	7,631	5,384	71%
9月	7,402	5,003	68%
10月	7,403	4,868	66%
11月	6,990	4,754	68%
12月	7,026	4,770	68%
H31.1月	6,934	4,863	70%
2月	6,706	4,265	64%
3月	7,384	4,661	63%
合計	86,539	58,510	68%



食数合計 86,539 食
 特別食合計 58,510 食
 特別食平均割合 68 %

栄養指導件数

年／月	個別指導		集団指導		病棟訪問 時	件数
	入院	外来	入院	外来		
H30.4月	25	2	11	0	0	38
5月	22	0	16	0	0	38
6月	15	1	10	0	1	27
7月	12	0	14	1	1	28
8月	25	0	6	3	2	36
9月	20	0	12	0	5	37
10月	21	0	3	0	1	25
11月	10	0	8	0	2	20
12月	11	0	0	0	0	11
H31.1月	9	0	4	0	0	13
2月	12	0	10	0	0	22
3月	15	0	8	0	1	24
合計						319

情報提供書

年／月	件数
H30.4月	7
5月	6
6月	5
7月	6
8月	6
9月	6
10月	4
11月	2
12月	1
H31.1月	6
2月	7
3月	3
合計	59

各事業所の食数 H29.4月～ H30.3月まで	デイサービス吉原食数	4,210
	ドリームハウス吉原食数	20,574
	グループホーム吉原食数	9,532
	通所リハ食数	14,042

2. 概要・所見

4月から新たに「リハビリテーション実施計画書」の中に栄養状態の評価欄が増えました。食事サービスの提供等は委託会社と協力の下、栄養管理や個別対応の食事提供ができたと思います。また、電子カルテも導入された為、効率よく業務を行い、来年度も他職種との連携を強化しながら、食事療法・栄養管理・指導件数の充実を目指して行いたいと思います。

研修一覧表

平成30年度

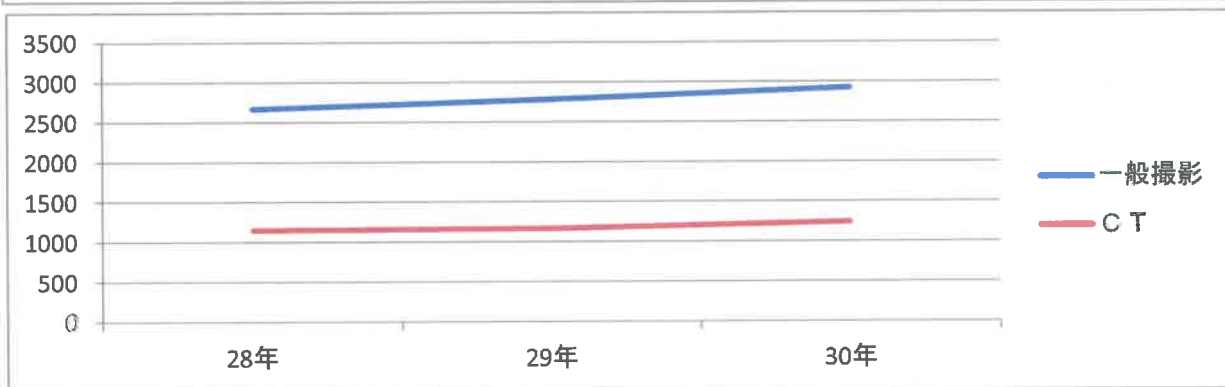
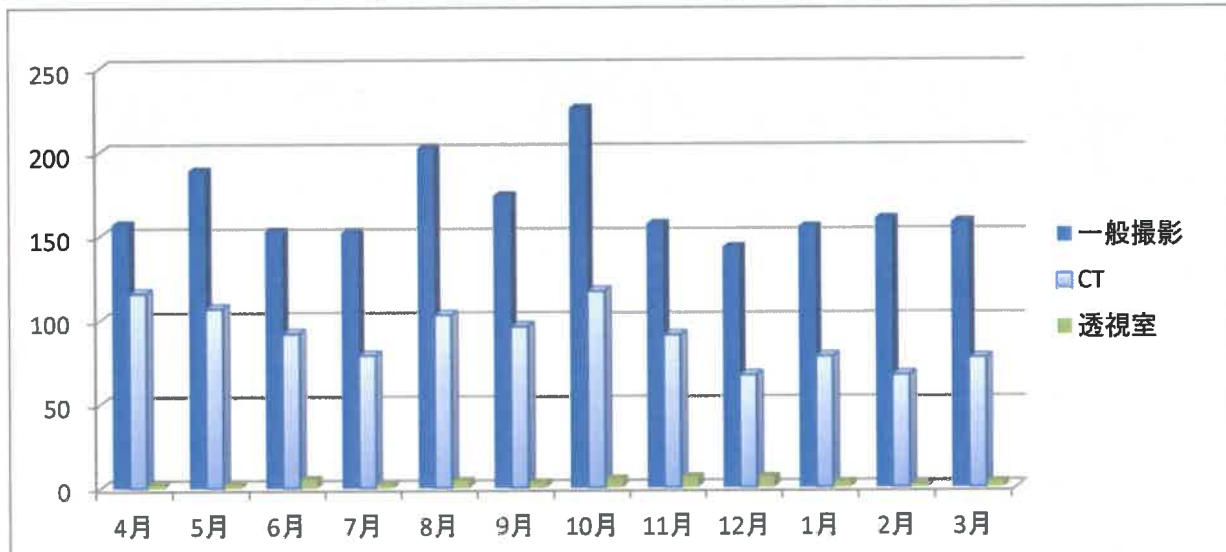
栄養課 No1

研修会名	研修場所	日時	研修内容	参加者
佐賀糖尿病療養指導士会 H30年度総会・研修会	佐賀大学医学部 臨床大講堂	5/20 9:30～12:30	総会 「佐賀県における糖尿病重症化予防」 「糖尿病性腎症重症化予防への取り組み」	久保
公益社団法人 佐賀県栄養士会 H30年度通常総会・研修会	佐賀メディカルセンター4F 城内記念ホール	6/10 10:00～15:40	総会 特別講演「管理栄養士・栄養士の未来を考える」 日本栄養士連盟 佐賀県支部総会	久保
リハ栄養フォーラム 2018	JR博多シティ 9F JR九州ホール	8/5 12:30～16:30	「リハ栄養入門～介入対象者とリハ栄養ケアプロセス」 ・STから始めるリハ栄養～亜急性期～在宅まで～ ・拒食を呈した脳卒中患者のリハ栄養 ～看護師の気づきと関わり～ ・あなたも始めようリハ栄養～指示待ち族からの脱退	久保
院内勉強会	リハビリ室	11/1 17:45～18:15	「ICFとカンファのあり方」について	久保
.	.	11/6 17:45～18:15	.	秋葉 高松
日本健康・栄養システム学会 第16回 九州地方会inSAGA	アバンセホール	11/23 9:00～17:00	「医療ICTを用いた出雲在宅チーム医療」 「有田焼創業400年」 シンポジウム・基調講演「栄養管理の地域連携」	久保 高松
佐賀市民糖尿病教室	佐賀市医師会立 看護専門学校	2/9 9:30～15:00	「今日からできる 食生活の改善 弁当を用いて一担当班の栄養指導」	久保
医療者が知っておくべき 入院患者のサルコペニアと リハビリテーション栄養	佐賀県医療センター 好生館 2F 多目的ホール	2/25 18:30～19:30	「医療者が知っておくべき入院患者の サルコペニアとリハビリテーション栄養」	久保 秋葉 高松
院内勉強会	通所リハビリ室	3/13 17:45～	「褥瘡について」	久保 秋葉 高松
佐賀市薬剤師会研修会	薬剤師会館	3/13 19:30～21:00	「輸液療法の基礎・腎機能低下時に 気をつけたい水・電解質異常」	高松

平成30年 放射線課活動報告

平成30年 撮影件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般撮影	242	314	268	200	273	224	312	278	164	185	210	253	2923
CT	139	114	94	82	105	101	127	95	92	95	92	105	1241
嚥下造影	2	2	5	2	3	3	3	4	6	3	1	3	37
透視	0	0	0	0	1	0	2	2	0	0	0	0	5
診療日数	23	23	25	23	26	24	26	23	24	25	23	24	24.1
一日平均(一般撮影)	10.5	13.7	10.7	8.7	10.5	9.3	12.0	12.1	6.8	7.4	9.1	10.5	10.1
一日平均(CT)	6.0	5.0	3.8	3.6	4.0	4.2	4.9	4.1	3.8	3.8	4.0	4.4	4.3



入院患者の検査が増え、1人当たりの検査内容が多いため外来の待ち時間に影響してきている。
 全体件数は増加し、入院撮影件数は毎年増加しているが、外来撮影件数は減少している。
 今後円滑に、幅広い検査ができるよう努めていきたい。

平成30年 医療相談課MSW活動報告

医療相談課年報 平成30年度

1.実績

相談内容別件数

	2階病棟	3階病棟	外来	合計
インテーク	209	217	0	426
心理・社会的援助	1139	917	54	2110
退院援助	1314	1948	0	3262
社会復帰援助	3	2	2	7
受診援助	56	24	8	88
経済援助	2	2	12	16
計	2723	3110	76	5909

関係機関との連携

	訪問	事業所より来院	施設見学	外部での会議	退院前カンファレンス
件数	8	33	3	2	2階:44 3階:22

施設見学

施設名	有料老人ホーム:うち(家) ひだまり久保田館 てまり
-----	----------------------------

2.概況・所見

診療報酬の改定があり、回復期リハビリテーション入院料1の算定には実績指数37以上が必要となり、FIM得点の向上と在院日数の短縮化によるリハビリの評価が求められるようになった。当部署としては在院日数の短縮化に意識をした退院支援を行った結果、例年よりも在院日数を短縮することができた。在宅復帰率についてはこれまでよりも高い数値で推移できた。しかし病床の稼働率という点においては難しさも感じており、部署内での情報共有をしながらより計画的な退院調整を行う必要があると感じた。

電子カルテが導入されたことで、記録業務の効率化も進んだ。記録の質を高めるためにしっかりとしたアセスメントができることが今後の課題でもある。

今後は在宅復帰の中でも、自宅への退院者数を増やせるように、また患者・家族の満足度が向上できるような支援を行ってきたい。

3.連携実績

地域連携

居宅介護支援事業所	有島病院(白石町) ありんこ 杏の樹 うえむら 永寿会相談センター(大川市) 江口病院介護支援事業部 エバーグリーン 小城市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 居宅介護支援事業所おそえがわ かすみ草 かほるケアサービス かんざき清流苑 きはら きらめき新郷 きりん ケアサポートみずがえ ケアセンターきぼう ケアパートナー佐賀 ケアビレッジ夢咲 ケアプランサービス 大川荘(大川市) ケアマネジメントケアポート晴寿 ケアマネジメントサービスSola ケアマネジメントふじ 桂寿苑 けやき荘 神野診療所ケアマネジメントサービス 江北町社会福祉協議会(江北町) こすもす苑 こもれび 佐賀県看護協会介護支援事業所 佐賀市社会福祉協議会居宅介護支援南部事業所 佐賀中部病院附属居宅介護支援センター さくら シオンの園 シルバーケア佐賀 春庵 しょうぶ苑 徐福の里 翠見 すこやか スマイル セントケア そいよかね白石(白石町) つぼみ荘 ながせ なごみ なゆたの森ケアマネジメントサービス 南鷗荘 なんてん 橋野医院居宅介護支援事業所 花みずき 百武整形外科病院居宅介護支援事業所 ひらまつ病院居宅介護支援事業所 福壽園 ふくふく ほうむ 南佐賀 メイプルハウス リンクス レインボー川副 レストピア ロザリオの園 わかば
地域包括支援センター	佐賀 城南 昭栄 城東 城西 城北 金泉 鍋島 諸富・蓮池 大和 富士 川副 東与賀 久保田 小城南 神埼 神埼南 吉野ヶ里 五島市 大川市地域包括支援センター 上峰町地域包括支援センター 白石町 対馬地域包括支援センター

施設	介護老人福祉施設:あしはらの園 ケアポート晴寿 こすもす苑 春庵 シルバーケア吉野ヶ里 扇寿荘 つばみ荘 福壽園 ロザリオの園 介護老人保健施設:うぶすな エバーグリーン きりん ケアハイツやすらぎ(多久市) 佐賀中部病院附属介護老人保健施設 しょうぶ苑 徐福の里 シルバーケア佐賀 清涼荘(白石町) 徳富医院 白壽園 ふれあいの里道海(大川市) みどりの園 南大沢ホロス由木(東京) メイプルハウス ライフエイド レストピア 有料老人ホーム:アイケアレジデンス佐賀 あいさぽ 明日香 いこいの里 家(うち) かわそえ 紀水苑 きらめき新郷 グッドライフ グランダ甲子園(西宮市) ケアポート晴寿 さつき苑 シニアハウスよろず シニアライフ佐賀2号館 シルバーホーム幸 SINみらい Sola ながせ てまり 花みずき ハーモニーライフきぼう神埼香番館 ひだまり ひだまり久保田館 まどい 円花 愛咲 みんなの家 弥生 優雅縁 よからいふ 寄人 りんごの樹 ルピナス グループホーム:あさひ ケアホームどんぐり ケアホームひょうたん島 さくら さつき苑西与賀 シニアライフ本庄 ニチイケアセンター鍋島 福寿荘 ふろふき やどりぎ 夢咲 サービス付き高齢者向け住宅:杏の樹 聖英 ドリームハウス吉原 小規模多機能:お多福 シオンの園片田江 シニアライフ佐賀2号館 てまり ももえん ケアハウス:るんぴに園 宅老所:なごみの家よかとこ ほうむ大詫間 デイサービス:アクティブ晴寿 白百合 好日苑 ツクイ 吉原 通所リハビリ:蛍水荘 しょうぶ苑 すこやか 百武整形外科病院デイケア 吉原 障害者施設:別府リハビリテーションセンター
医療機関	今村病院(鳥栖市) うえむら病院 江口病院 枝國医院 NHO佐賀病院 大分大学医学部附属病院(由布市) 小城市民病院 おそえがわ脳神経内科 織田病院(鹿島市) 小野病院 唐津赤十字病院(唐津市) 九州中央病院(福岡市) 久留米大学医療センター(久留米市) 啓心会病院(鳥栖市) 小柳記念病院 コールメディカルセンター佐賀 済生会唐津病院(唐津市) 済生会福岡総合病院(福岡市) 佐賀記念病院 佐賀県医療センター好生館 佐賀大学医学部附属病院 佐賀中部病院 さとうクリニック 志田内科 志田病院(鹿島市) 島田病院 正島脳神経外科病院 白石共立病院(白石町) 新古賀病院(久留米市) 副島病院 高木病院(大川市) 東京品川病院(東京都品川区) 徳富医院 富永病院(大阪市) 長崎県対馬病院(対馬市) 永田整形外科病院(大牟田市) なゆたの森病院 南里泌尿器科 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区) 野口クリニック 橋本病院 早津江病院 肥前精神医療センター 百武整形外科病院 福岡病院 福岡輝栄会病院(福岡市) 福岡市民病院(福岡市) 福岡脳神経外科病院 福田病院(大川市) ふじおか病院 藤川病院 富士大和温泉病院 森永整形外科病院 諸隈病院 矢ヶ部医院
行政	後期高齢者医療広域連合 佐賀市福祉事務所生活福祉課 佐賀県運転免許センター 佐賀中部広域連合 対馬市役所 ハローワーク佐賀 福岡市役所介護保険課
その他	訪問看護ステーション:えのか 佐賀県看護協会訪問看護ステーション 薬局:コース薬局 その他:七田司法書士事務所

4.活動報告

①院外活動：・佐賀市在宅医療・介護連携会議への出席(山口)

・講師：佐賀大学大学院医学系研究科「慢性看護方法論Ⅰ」（森田）

② 実習受入・・・6月19日 西九州大学健康福祉学部社会福祉学科より見学研修 8名

③研修参加状況一覧

地域連携パス合同カンファレンス

4月25日	第1回 大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	山口・森田 長岡・伊藤 前田
7月25日	第30回 脳卒中・地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	森田・長岡 前田・日高
8月8日	第2回 大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	山口・長岡 日高
11月28日	第31回 脳卒中・地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	長岡・伊藤 日高
12月19日	第3回 大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	山口・森田 伊藤・前田 日高
3月27日	第32回 脳卒中・地域連携パス合同カンファレンス	佐賀大学 医学部附属病院	伊藤

公費

2018/9/1 5～16	第9回日本医療ソーシャルワーク学会 鹿児島大会	鹿児島県民交流センター	前田
------------------	-------------------------	-------------	----

公費外

4月24日	第1回障がいと自動車運転に関する医療研究会	佐賀大学医学部附属病院	森田・長岡 伊藤・前田
5月28日	血栓症病診連携の会	ホテルニューオータニ佐賀	長岡・前田 日高
5月30日	第1回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会	佐賀市医師会立看護専門学校	山口・森田 長岡・伊藤 前田・日高
7月8日	佐賀県医療ソーシャルワーカー協会 基礎研修①	NHO佐賀病院	山口・森田 長岡・前田 日高
8月7日	第2回障がいと自動車運転に関する医療研究会	佐賀大学医学部附属病院	森田・長岡 伊藤・前田 日高
9月2日	佐賀県医療ソーシャルワーカー協会 基礎研修②	NHO佐賀病院	森田・伊藤 前田・日高
2018/9/1 5～16	第9回日本医療ソーシャルワーク学会 鹿児島大会	鹿児島県民交流センター	長岡

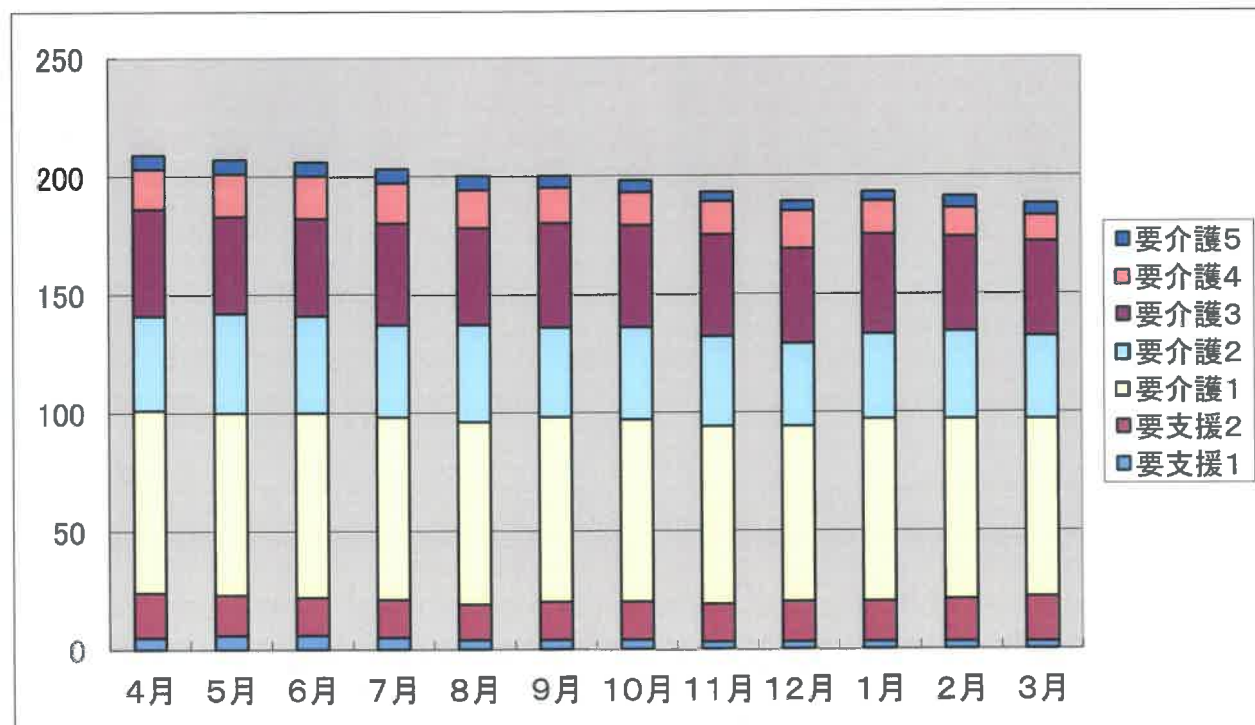
9月19日	佐賀市医療・介護連携グループ別連携会議・研修会 西部グループ 諸富エリア	佐賀市産業振興会館	山口・森田 長岡
9月20日	佐賀県病院協会・中部医療圏講演会	ホテルニューオータニ佐賀	山口
10月24日	佐賀市医療・介護連携グループ別連携会議・研修会 西部グループ 城南エリア	佐賀リハビリテーション病院	森田・長岡
11月10日	佐賀県看護協会南部地区研修会	佐賀県看護協会	伊藤・前田 日高
11月20日	佐賀県回復期リハ病棟連絡協議会研修会	ひらまつ病院	森田・長岡 日高
2018/11/ 23～24	第55回九州医療ソーシャルワーカー研修会おきなわ大会	沖縄産業支援センター	森田
11月28日	佐賀市医療・介護連携グループ別連携会議・研修会 西部グループ 城西エリア	佐賀リハビリテーション 病院	山口・森田 前田
12/15～ 12/16	一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会主催 第116回 全職種研修会	ホテルマイステイズ新大 阪カンファレンスセン ター	日高
12月23日	佐賀県医療ソーシャルワーカー協会中堅者研修	NHO佐賀病院	森田・長岡
1月26日	佐賀市在宅医療・介護連携推進事業 市民公開講座	佐賀市医師会立看護専 門学校	日高
1月31日	第5回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会	佐賀市医師会立看護専 門学校	山口・日高
2月3日	佐賀県医療ソーシャルワーカー協会 基礎研修③	NHO佐賀病院	森田・前田 日高
2月8日	好生館シンポジウム	佐賀メディカルセン ター	山口・長岡 日高
2月25日	第2回佐賀県在宅医療・介護連携サポート体制強化事業研修会	ガーデンテラス佐賀	長岡
2月25日	佐賀市医療・介護連携グループ別連携会議・研修会 東部グループ	佐賀市医師会立看護専 門学校	山口
2月17日	佐賀市医療・介護連携グループ別連携会議・研修会 西部グループ	花菜ぐし食堂	山口・森田 長岡
3月10日	九州福祉心理士会公開研修会 佐賀県医療ソーシャルワーカー協会講習会	西九州大学健康支援センター	森田・前田 日高
3/16～17	福岡・佐賀・長崎合同教育研修会2019	長崎県総合福祉センター	森田・日高
3月18日	第3回佐賀県地域医療連携室セミナー	佐賀大学医学部附属病院	長岡
3月20日	成章ネットワーク	神野公民館	山口

平成30年 居宅介護支援事業所南佐賀活動報告

平成30年度 居宅介護支援事業所南佐賀 年間報告書 ①

I. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	5	6	6	5	4	4	4	3	3	3	3	3	49
要支援2	19	17	16	16	15	16	16	16	17	17	18	19	202
要介護1	77	77	78	77	77	78	77	75	74	77	76	75	918
要介護2	40	42	41	39	41	38	39	38	35	36	37	35	461
要介護3	45	41	41	43	41	44	43	43	40	42	40	40	503
要介護4	17	18	18	17	16	15	14	14	16	14	12	11	182
要介護5	6	6	6	6	6	5	5	4	4	4	5	5	66
合計	197	195.5	195	192.5	190.5	190	188	183.5	179	183	180.5	177	2255.5
居宅介護	I												
	II	185	184	184	182	181	180	178	174	169	173	170	2130
	III												
初回加算	2	0	2	0	0	0	0	2	0	2	1	0	9
退院加算	5	2	2	5	4	3	3	0	2	6	1	2	35
医療連携	I	4	6	6	4	7	4	10	5	4	7	8	69
	II												
小規模多連携													



日付	研修会名	開催場所	出席者
H30.4.17	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南地区） テーマ：引きこもり高齢者へのアプローチ	北川副公民館	原
H30.5.15	佐賀市医療・介護連携グループエリア別連携会議	川副支所 3階会議室	森・原
H30.5.15	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南地区） テーマ：ひきこもり高齢者へのアプローチ②	北川副公民館	三戸谷・渡邊・原
H30.5.24	平成30年度 第1回城西地域ネットワーク会議	本庄公民館	古澤
H30.5.25	平成30年度中部広域介護支援専門員協議会 テーマ：制度・報酬改正によって求められるもの	アバンセ ホール	森・原
H30.5.30	佐賀市在宅医療・介護連携グループ全体研修会 ①医療機関の今後の対応～診療報酬改定を受けて～ ②介護報酬改定後の取り組みについて	佐賀市医師会立 看護専門学校	深川
H30.6.19	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南地区） テーマ：ひきこもり高齢者へのアプローチ②	北川副公民館	三戸谷・古澤
H30.6.27	佐賀県医療センター好生館 「第55回緩和ケア症例検討会」	佐賀県医療 センター好生館	古澤・渡邊
H30.7.13	平成30年度 第2回 佐賀市医療・介護連携 グループ全体研修	佐賀市医師会立 看護専門学校	深川・森
H30.7.17	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南地区） 個別事例検討	北川副公民館	三戸谷
H30.7.19	平成30年度 第1回佐賀市南部ブロック研修会 医療介護連携について	アバンセホール	山崎
H30.7.21	第10回 佐賀県介護支援専門員協議会	鹿島生涯学習 センター	森・古澤・渡邊
H30.8.22	第56回緩和ケア症例検討会	佐賀県医療 センター好生館	渡邊・松隈・松本
H30.9.19	平成30年度佐賀市医療・介護連携佐賀市西部 医療介護ネットワーク 諸富エリア分科会	佐賀市産業振興 会館	深川・古澤
H30.9.21	平成30年度 第2回城西地域ネットワーク会議	本庄公民館	松本・原
H30.9.29	認知症ポジティブ、ミニ山口塾	佐賀県在宅 生活サポート センター	山崎
H30.10.4	平成30年度佐賀中部広域介護支援専門員協議会	ケアポート晴寿	原・松隈・松本
H30.10.10	第57回緩和ケア症例検討会	佐賀県医療 センター好生館	渡邊・松隈・松本
H30.10.16	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南地区） 個別事例検討（自立支援型）	北川副公民館	松隈・松本
H30.10.18	平成30年度第4回佐賀市医療・介護連携 グループ全体研修会	佐賀市医師会立 看護専門学校	松隈・松本・原

H30.10.18	佐賀中部広域介護支援専門員協議会研修会 神埼ブロック テーマ：「ケアマネの為のストレスをためない 付き合い方」	千代田支所	山崎・松本
H30.10.24	平成30年度佐賀市医療・介護連携佐賀市西部 医療介護ネットワーク 城南エリア分科会	佐賀リハビリ テーション病院	古澤・渡邊・ 山崎・松隈・ 松本
H30.11.2	ケアマネジメント研修会 記録の意義、重要性と対人援助スキルアップ	マリトピア	原
H30.11.15	平成30年度介護予防支援事業従事者研修会	佐賀県庁	山崎・松本 渡邊・松隈
H30.11.16	佐賀市南部ブロック研修会 共生型サービスについて	アバンセ	原
H30.11.20	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南） 個別事例検討会（自律支援型）	北川副公民館	古澤・三戸谷・ 山崎・松隈・ 松本
H30.11.28	佐賀中部広域介護支援専門員協議会研修会 治療方針と生活を結ぶケアマネジメントの手法	佐賀市南川副 公民館	原・三戸谷・ 山崎・渡邊
H30.12.18	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南） 個別事例検討会（自律支援型）	北川副公民館	古澤・三戸谷
H31.1.21	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南） 地域活動について	北川副公民館	古澤・松隈・ 松本
H31.1.26	市民公開講座 ACPについて	佐賀市医師会立 看護専門学校	渡邊・松本
H31.1.31	平成30年度第5回佐賀市医療・介護連携グループ 全体研修	佐賀市医師会立 看護専門学校	古澤
H31.2.14	おたっしゅ本舗地域ケア会議（城南） 地域活動について	北川副公民館	原
H31.2.20	介護支援専門員研修会 利用者・家族と信頼関係を築くためには	佐賀市川副支所	松本
H31.2.21	城北校区多職種研修会 自立支援型地域ケア会議	ケアポート晴寿	渡邊・松本
H31.2.25	佐賀県在宅医療・介護サポート体勢強化事業 研修会	マリトピア	原
H31.3.7	地域連携口腔ケア研修会 がん患者の在宅療養時の口腔ケアの重要性	佐賀県医療 センター好生館	渡邊・松本

平成30年 ケアサポートみずがえ活動報告

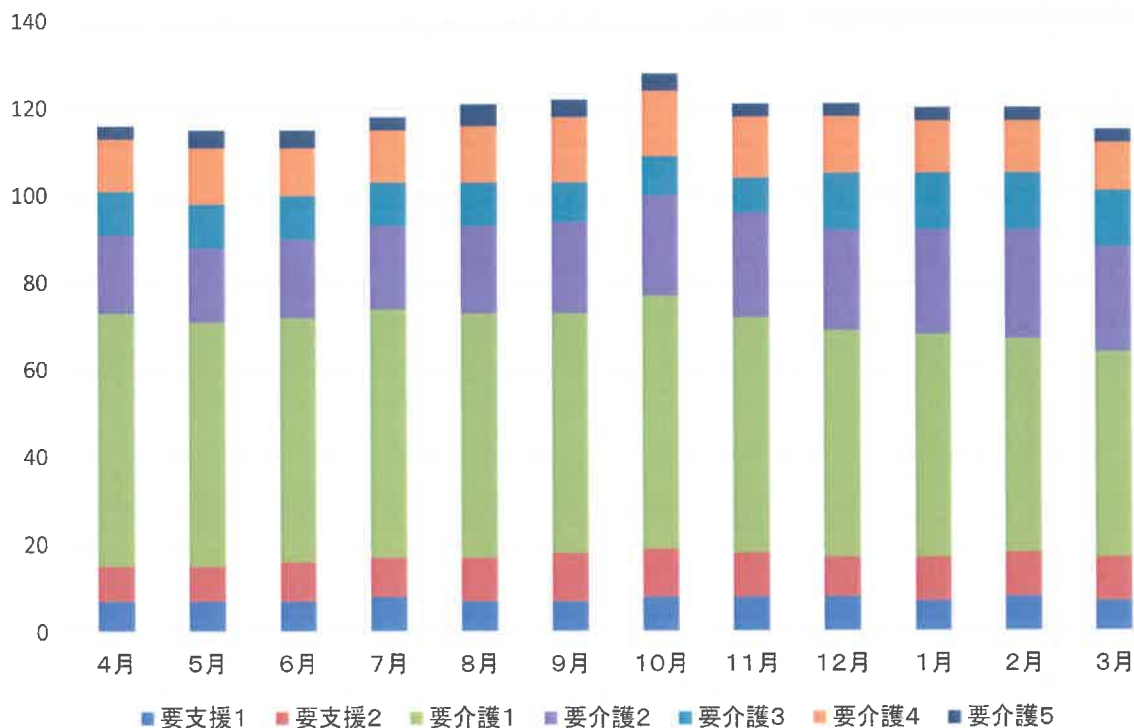
平成30年度

居宅介護支援事業所ケアサポートみずがえ 年間報告書 ①

I. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	7	7	7	8	7	7	8	8	8	7	8	7	89
要支援2	8	8	9	9	10	11	11	10	9	10	10	10	115
要介護1	58	56	56	57	56	55	58	54	52	51	49	47	649
要介護2	18	17	18	19	20	21	23	24	23	24	25	24	256
要介護3	10	10	10	10	10	9	9	8	13	13	13	13	128
要介護4	12	13	11	12	13	15	15	14	13	12	12	11	153
要介護5	3	4	4	3	5	4	4	3	3	3	3	3	42
合計	116	115	115	118	121	122	128	121	121	120	120	115	1432
居宅介護	I												
	II						109	103	104	103	102	98	619
	III												
初回加算	2	1	1	0	2	0	3	0	0	0	0	0	9
退院加算	2	4	1	1	3	2	6	1	3	3	2	0	28
医療連携	I	4	4	1	2	5	3	1	1	0	2	3	26
	II												

月間利用者数推移(平成30年度)



平成30年度 居宅介護支援事業所ケアサポートみずがえ 年間報告書 ②

Ⅱ 学会・研修会参加状況

日付	研修会名	開催場所	出席者
H30.5.13	おたっしゃ本舗鍋島公開講座.	開成公民館	藤本
H30.5.15	城南地域ケア会議《事例検討会》	北川副公民館	西川・古川
H30.5.24	城西ネットワーク会議	本庄公民館	古川
H30.5.30	佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会	医師会看護専門学校	相良
H30.6.16	第1回佐賀県難病医療介護従事者研修会	佐賀県在宅生活サポートセンター	藤本
H30.6.19	城南地域ケア会議《事例検討会》	北川副公民館	藤本・西川・相良
H30.6.20	おたっしゃ本舗鍋島研修会「薬の常識あれこれ」	開成公民館	相良
H30.6.25	平成30年度介護サービス事業者等に関する 集団指導	ドゥイング三ヶ月	藤本・西川
H30.6.27	緩和ケア症例検討会	好生館	藤本
H30.7.19	南部ブロック研修会第1回医療・介護の 連携について	アバンセ	藤本
H30.7.21	佐賀県介護支援専門員協議会研究大会	鹿島市 エイブル	藤本・古川・相良
H30.7.27	佐賀病院地域連携セミナー	NHO佐賀病院	相良
H30.8.9	ローテクコミュニケーションエイドの実践講座	佐賀メディカルセンター	藤本・古川
H30.8.21	佐賀市南部ブロック医療・介護連携グループ 研修会	佐賀市川副支所	藤本
H30.8.22	緩和ケア症例検討会	好生館	藤本
H30.8.23	在宅医療多職種連携推進研修会	佐賀県歯科医師会館	相良
H30.8.27	佐賀市医療介護連携グループ全体研修会	佐賀リハビリテーション 病院	藤本・西川 古川・相良
H30.9.21	城西地域ネットワーク研修会	本庄公民館	古川
H30.10.4	第2回度佐賀中部広域介護支援専門員 協議会北部ブロック研修会	ケアポート 晴寿	藤本・相良・古川
H30.10.18	神埼ブロック研修会	神埼市役所千代田支所	藤本
H30.11.2	ケアマネジメント研修会 「記録の意義・重要性と対人スキルアップ」	マリトピア	藤本・西川・古川
H30.11.28	中部広域介護支援専門員協議会研修会	マリトピア	藤本・古川・相良
H31.1.10	在宅における高齢者虐待防止と家族支援の 為のスキルアップ研修会	佐賀市産業振興会館	西川
H31.1.15	第3回中部広域介護支援専門員協議会研修 北部ブロック研修会	アバンセ	藤本

H31.1.26	佐賀市在宅医療・介護連携推進事業 第2回市民公開講座	佐賀市看護専門学校	藤本・相良
H31.2.13	職場におけるセクハラ対策セミナー	アバンセ	西川
H31.2.13	緩和ケア症例検討会	好生館	古川
H31.2.20	ネットワーク鍋島連携会議(研修)	鍋島公民館	相良
H31.3.19	神埼ブロック研修会	神崎市役所千代田支所	藤本
H30.6.28～ 31.2.6	佐賀県スーパーバイザー養成講座 第1～10回	マリトピア	藤本
H30.9.11～ 10.4	介護支援専門員更新研修専門課程Ⅱ	マリトピア	藤本
H31.2.13 ～14	主任介護支援専門員フォローアップ研修会	マリトピア	藤本

《 概況 》

職員配置（4名）

主任介護支援専門員	藤本直美	看護師	福祉住環境コーディネーター2級
	西川朋子	介護福祉士	福祉住環境コーディネーター2級
介護支援専門員	古川陽子	介護福祉士	福祉住環境コーディネーター2級
	相良朋子	管理栄養士	福祉住環境コーディネーター2級

※古川陽子：平成31年3月11日より産休に入り実働3名体制となる。

※西川朋子：平成31年3月末で移動。グループホーム勤務

《 所見 》

I. ①9月末で特定事業所集中減算対象の事業所がなくなり、これを機会に10月より特定事業所加算2を申請。加算が認めら増益となる。(4000円×要介護者人数分)／月。

②介護支援専門員実務者研修の受け入れ：平成30年度1名

II. 事業所全体のケアマネ力・スキルアップを目指しています。

① 他事業所間との事例検討会（つぼみ荘・紀水苑・ケアサポートみずがえ）

② 南佐賀合同勉強会

③ 水ヶ江通り情報交換会・研修会（百武整形外科居宅・シオンの園・ケアサポートみずがえ）

※将来的には全員が主任介護支援専門員を目指したいと希望しています。

平成 30 年 訪問看護よろこび

平成30年度 看護ステーション よろこび 年間報告書

1.実績

〈利用者登録数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	39	36	33	35	34	33	36	29	32	32	31	34
国・社保険	12	12	12	11	13	12	11	14	15	13	12	14
後期高齢保険	7	9	9	12	12	12	12	12	12	7	8	8
合計	58	57	54	58	59	57	59	55	59	52	51	56

〈訪問件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	229	225	189	184	164	167	181	148	143	133	134	160
国・社保険	80	83	88	89	121	99	103	120	143	93	87	113
後期高齢保険	61	93	75	122	161	104	110	105	108	45	83	67
合計	370	401	352	395	446	370	394	373	394	271	304	340

〈利用者介護度〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	2	2	2	0	0	0	0	0	1	1	1
要支援2	6	5	4	4	5	7	8	7	6	5	5	5
要介護1	13	12	12	13	12	11	10	11	12	12	13	12
要介護2	8	8	7	8	9	7	8	7	9	7	6	6
要介護3	9	7	7	7	7	6	6	6	7	6	6	8
要介護4	6	6	7	8	9	9	10	10	10	8	6	8
要介護5	6	9	8	8	9	8	8	6	6	4	5	5
合計	49	49	47	50	51	48	50	47	50	43	42	45

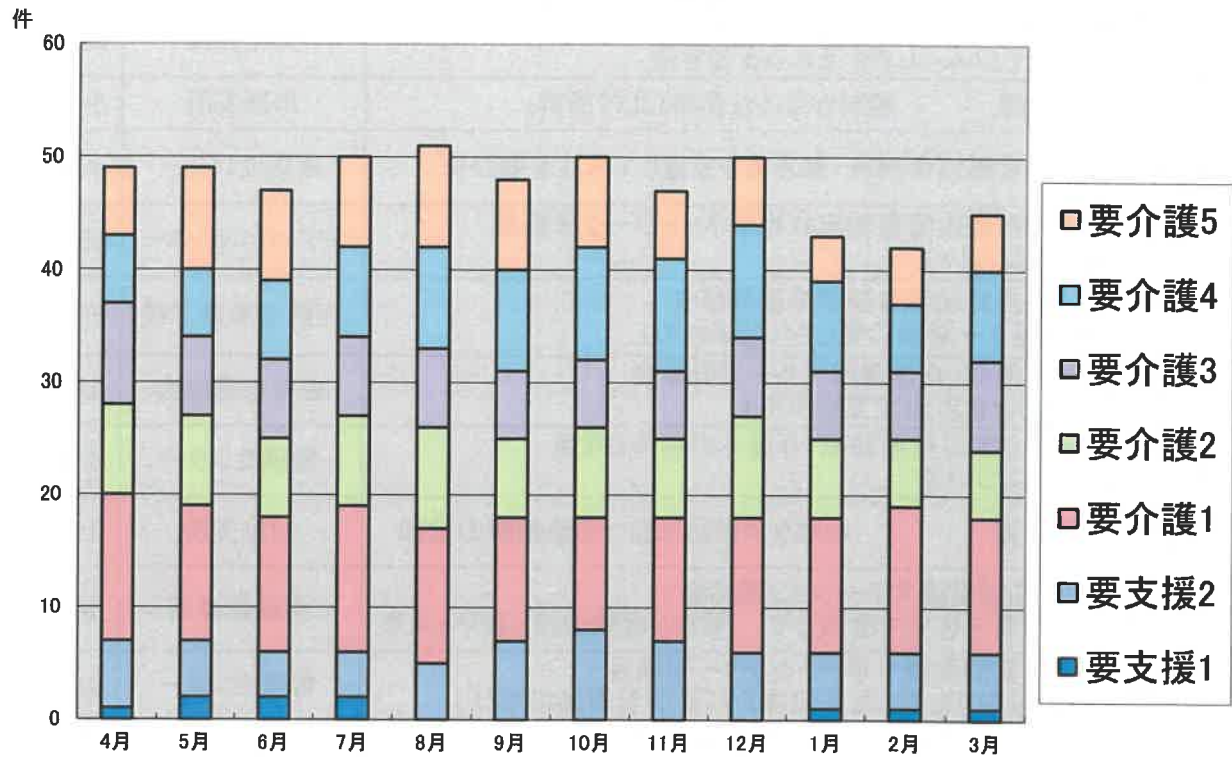
〈介護保険 単位別訪問件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防訪看 I 2(448単位)	23	19	14	6	10	14	12	7	6	8	9	9
訪看 I 2(467単位)	121	130	110	99	92	81	75	69	69	61	68	73
予防訪看 I 3(787単位)	7	8	12	13	10	7	10	11	10	10	11	19
訪看 I 3(816単位)	49	51	36	35	34	41	62	34	36	33	30	42
訪看 I 3複12(1218単位)	10	3	4	1	1	4	1	2	0	2	1	0
訪看 I 3複22(1133単位)	6	5	4	6	7	7	5	7	7	3	3	4
訪看 I 4(1118単位)		2	0	1	1	5	3	1	3	0	0	0
訪看 I 4複21(1520単位)	1	0	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0
訪看 I 4複22(1435単位)	7	7	5	8	1	4	7	7	6	8	8	9
予防訪看 I 5(572単位)	1				4	4	5	4	4	4	4	4
訪看 I 4夜(1398単位)						0	1		1	0	0	0
訪看 I 2夜(584単位)						0		1				
サービス提供体制加算 (6単位)	225	225	189	169	160	167	181	144	143	129	134	160

※複12⇒看護師2名・複22⇒看護師1名＋補助者1名 の訪問

※同⇒同一建物(ドリームハウス吉原居住者)

利用者介護度



3.活動内容 会議・研究会等

H30年度 訪問看護ステーションよろこび 研修会参加状況(院内研修除く)

	日時	研修の名称	研修会場	参加氏名
H 3 0 年	5月15日	連携会議 在宅医療と看取りについて	川副支所	小柳
	5月21日	在宅看護論Ⅲ 実習臨床指導者会議 H30年度在宅看護論Ⅲ実習について	県総合看護学院	中島
	5月25日	市東部医療介護ネットワーク H30年度第1回グループ2連携会議	医師会看護学校	中島
	6月27日	第55回緩和ケア症例検討会 人生の最終段階における医療の意志決定プロセスにおけるガイドラインについて	好生館	松岡
	6月29日	2050年在宅介護のゆくえ 地域医療構想を把握し質の高い医療提供体制に向け在宅医療や訪問看護の役割を理解する	看護センター	野中
	7月2日	好生館特別セミナー 医療における感染症対策	好生館	中島
	7月7日	第22回実習指導者合同研修会 コミュニケーションを通して学びを深める	医師会看護学校	中島
	7月13日	医療・介護連携グループ全体研修会 介護・服薬指導・介護に必要な泌尿器領域の基礎知識	医師会看護学校	中島 松岡
	7月13日	訪問看護ステーション連絡協議会 地域包括ケアシステムにおける訪問看護について	メディカルセンター	野中

H 3 0 年	7月21日	H30年度施設代表者会議 H30年度の看護協会事業について その他	看護センター	野中
	7月27日 ～28日	第49回日本看護学会 在宅看護学術集会 地域でその人らしさを支える在宅看護	文化会館	野中
	8月21日	連携会議 歯科からみた食事(北村歯科)	川副支所	小柳
	9月6日	佐賀県看護協会研修 働き方を見直して人生を豊かに	看護センター	小柳
	9月19日	平成30年度佐賀県物忘れ相談ネットワーク研修会 認知症について	メディカルセンター	松岡
	10月13日	第35回佐賀地区看護師卒後研修会 「命の重さ～周囲の優しさに包まれて」	医師会看護学校	野中
	10月18日	佐賀市医療・介護連携グループ研修会 「看取りと意志決定支援ACP」	佐賀市医師会	山本
	10月27日	医師から学ぶ在宅訪問・介護への期待と希望 看取りについて	看護センター	松岡
	11月20日	連携会議 地域ケア会議における薬剤師の役割	川副支所	小柳
	12月14日	第2回訪問看護ステーション連絡会 ALS患者を在宅で看取って。 看取り経験の振り返りと共有	中部保健所	中島
H 3 1 年	12月15日	佐賀県訪問看護サポートセンター研修会 「在宅看取りを通した多職種及び訪問看護師の学び」	看護センター	山本 小柳
	1月17日	グリーンクリニック勉強会 栄養管理パート2 経管栄養の種類・皮下注射・点滴について	アバンセ	野中 松岡
	1月19日	第7回訪問看護サポートセンター研修会 これからの訪問看護について	看護センター	野中
	1月25日	第74回佐賀病院地域医療連携セミナー医療従事者のための 「知って講座」当院における褥瘡予防対策	NHO佐賀	山本
	1月26日	第2回市民公開講座 人生の最終段階について話し合いを始める	医師会看護学校	野中 中島
	1月28日	佐賀市北部医療介護ネットワーク会議 終活(あんしんノート)について他	大和支所	山本
	1月31日	第5回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会 かわそえネットワークについて	医師会看護学校	松岡
	2月13日	職場におけるセクハラ対策セミナー 職場におけるセクハラ現状と対策について	アバンセ	野中
	2月19日	連携会議 早津江病院から見た地域包括ケアシステム	川副支所	小柳
	2月23日	第8回訪問看護サポートセンター研修会 利用者とその家族の エンドオブライフケア	看護センター	野中
	2月25日	平成30年度第3回佐賀市東部医療介護ネットワーク連携会 議 人生の最後段階における医療・ケアの決定プロセスに関する ガイドライン	佐賀市医師会	小柳 松岡
	2月28日	グリーンクリニック第13回勉強会 看取りについて	アバンセ	中島
	3月9日	第3回なゆたの森病院 緩和ケア研修会 家族ケア	なゆたの森病院	松岡
	3月16日	訪問看護サポートセンター研修会 現代若者気質と看護背景	看護センター	野中
	3月19日	緩和ケア 最期まで生きることを支えるケア	佐賀医大HP	中島
	3月26日	グリーンクリニック勉強会 訪問診療と総合診療	アバンセ	野中

〈看護実習受け入れ実績〉

医師会立看護学校	計6名	H30/4/9～4/13 2名 H30/4/23～4/27 1名
		H31/2/12～2/15 2名 H31/3/11～3/15 2名
佐賀女子高等学校看護専攻科	計2名	H30/5/21～5/25 2名
佐賀県立総合看護学院	計2名	H30/7/23～7/27 2名
訪問看護養成講習会	計2名	H30/11/12～11/15 2名

2. 概況・所見

年間利用者の登録は平均56名

年間の売り上げは39,640,512円 前年度約200万円の増額。その要因としては利用者の増加と介護保険制度の改正で新たに看護補助者複数加算が付くようになった事や若干ではあるが他のサービス単位もアップしたためだと思われる。

在宅看取り7名(自宅:4名、施設:3名)施設での看取りも今後は多くなってくると思われるので施設職員と情報共有し看取りのケアについても共通理解し蜜に連携を行っていく。

8年ぶりに実地指導が入り看護記録書、計画書、報告書の整理、見直しができよい機会であったと共にアセスメントの重要性を実感した。また運営規定、契約書の不備の指摘があり改善を行った。

H30年5月～	看護師弓純子(非常勤)病欠中
H30年6月1日	看護師佐藤こずえ(常勤) 訪問看護より病棟へ移動
H30年6月1日	看護師松岡舞(常勤) 病棟より訪問看護へ移動
H31年2月27日	中部広域より介護保険に関する実地指導

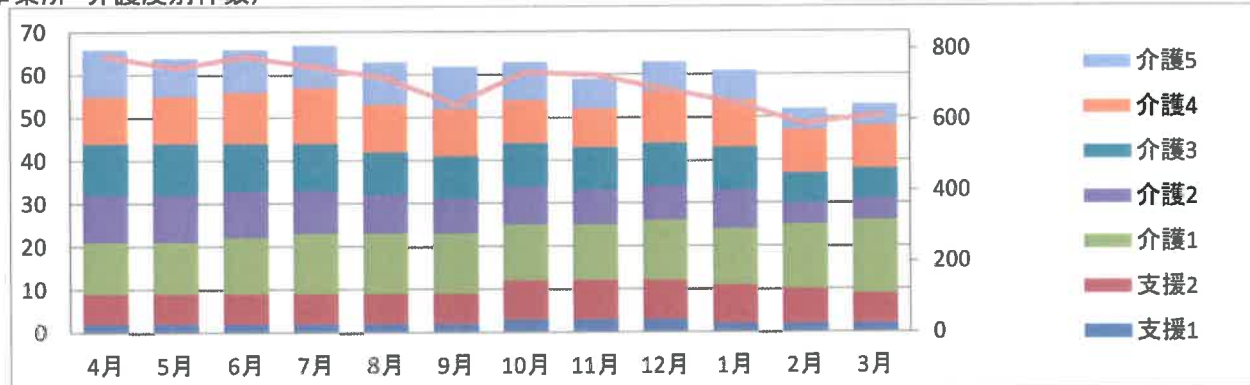
平成 30 年 訪問リハビリテーション吉原

1. 実績

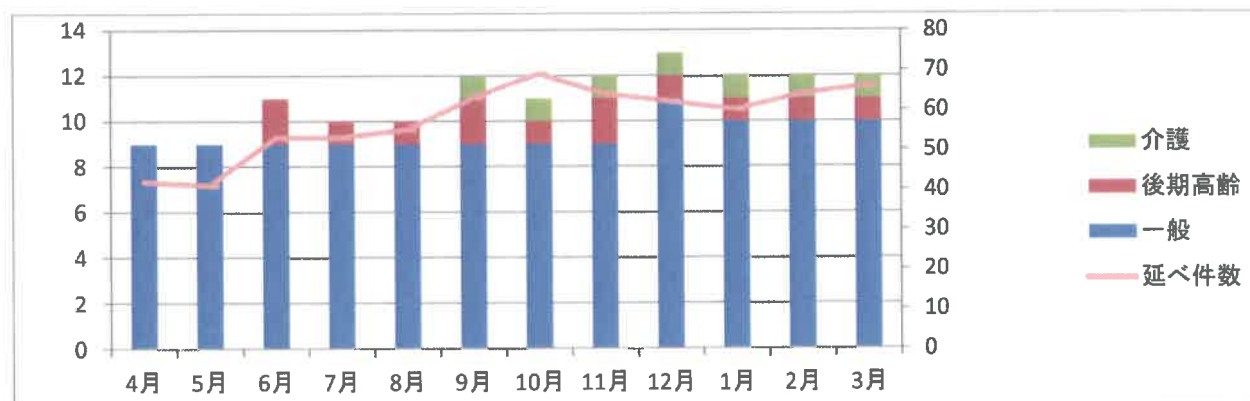
＜利用者延べ件数＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
事業所	支援1	16	18	16	18	18	16	20	22	19	16	9	16	701.6 (前年度 741.0)
	支援2	80	78	79	76	72	82	102	100	104	103	87	86	
	体制強化加算	96	96	95	94	90	98	122	122	123	119	105	102	
	短期集中	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	0	0	
	リハマネ加算	9	9	9	9	9	9	12	12	12	11	11	9	
	診療未実施減算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	要介護1	136	152	166	165	155	164	188	176	163	147	183	212	
	要介護2	122	115	112	103	112	87	108	98	89	94	64	63	
	要介護3	138	115	121	110	109	80	102	109	90	88	80	71	
	要介護4	140	140	138	154	107	109	117	120	128	115	97	95	
	要介護5	149	127	147	125	146	107	98	102	94	87	59	69	
	体制強化加算	685	649	684	657	629	547	613	605	564	531	483	510	
	リハマネ加算1	57	55	56	58	58	53	51	47	51	50	42	44	
	短期集中	21	8	20	12	38	29	17	18	22	22	6	8	
	診療未実施減算	133	142	116	110	93	67	54	62	46	46	28	19	
	小計	781	745	779	751	719	645	735	727	687	650	588	612	
	利用者件数	66	64	66	67	63	62	63	59	63	61	53	53	
医療	病院													71.8 (前年度68.4)
	一般	15	13	11	19	19	19	13	13	12	11	12	12	
	後期高齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般	40	41	45	46	45	48	57	46	50	49	52	54	
	後期高齢	0	0	8	7	2	7	2	10	4	3	4	4	
	介護	2	0	0	0	8	8	10	8	8	8	8	8	
	小計	57	54	64	72	74	82	82	77	74	71	76	78	
	利用者件数	11	9	11	13	14	15	13	14	15	13	13	13	
合 計		838	799	843	823	793	727	817	804	761	721	664	690	

＜事業所 介護度別件数＞



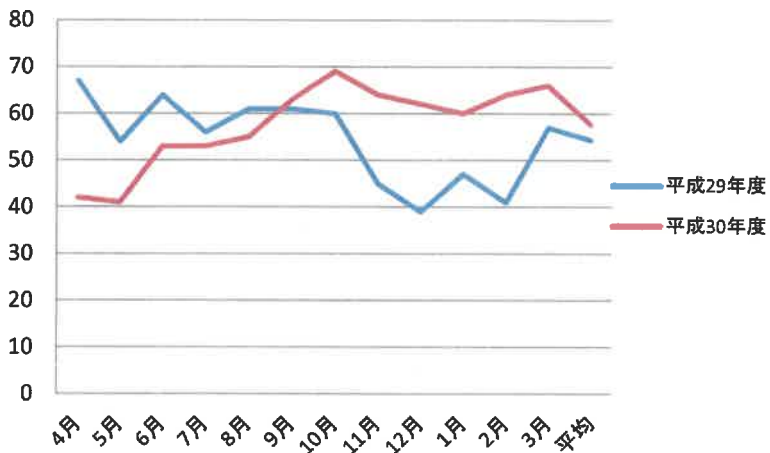
＜よろこび 保険別件数＞



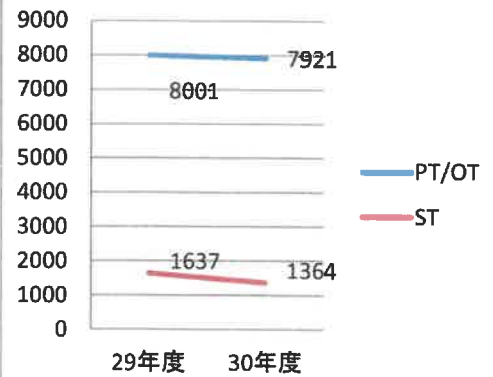
事業所延件数



よろこび延件数



PT/OT、ST延件数変化



売上



2. 概況・所見

平成30年度の総売り上げは33,434,150円(平成29年度総売り上げは34,608,690円)で前年度に比べると1,174,540円売り上げ減となりました。今年度は介護報酬の改訂があり、基本報酬の減算、計画的診療未実施減算が加わったこと、10月以降、特に1、2月に入院などのため終了者が多かったことが原因だと考えます。取り組みとしては、医師との連携の強化を図れるように書類の見直しや、前年度に引き続き季節ごとの行事も可能な限りスケジュール調整を行い、利用者・家族共に満足してもらえるように取り組みました。

令和元年度も、事業所内での症例検討会を継続し、他事業所との連携を図り、スタッフ全員で利用者へ満足 of サービス提供できるよう努めていきます。

3. 活動内容 会議・研究会等

＜活動内容＞

30年 4月 1日 吉村OT 訪問リハビリ所属

31年 3月 1日 鳥取PT 訪問リハビリ所属

＜研修会＞

日 程		研 修 会 名 称	場 所	参 加 者
30 年	4月	21 シーティングセミナー	在宅サポートセンター	吉村
	5月	18 中部広域部 地域生活研修会	アバンセ	吉村,中島, 今里
		30 平成30年度第一回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会	佐賀市医師会立看護専門学校	江口
	6月	16,17 日本訪問リハビリテーション協会 学術大会in北九州	北九州国際会議場	吉村,石田, 今里
		26 平成30年度介護サービス事業者に係る集団指導	ドウイング三日月	江口,中島
	7月	13 第16回佐賀県訪問リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	石田,中島
	8月	5 リハ栄養フォーラム2018in福岡	JR九州ホール	石田
	9月	10 佐賀県生活リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	今里
		19 佐賀県もの忘れ相談ネットワーク研修会	佐賀メディカルセンター	中島
		20 佐賀県生活リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	石田
	11月	12 ALS患者の事例報告	佐賀中部病院	吉村,石田, 中島
		14 緩和ケア+リハビリテーション	リハステーション-spito-スピット 光の森	吉村
		18 佐賀県言語聴覚士研修会	好生館	石田
	12月	15,16 H30年度在宅リハビリテーション従事者研修会	桜十時福岡病院	石田
	31 年	1月 13 佐賀県訪問リハ・介護支援専門員共同研修会	西九州大学健康支援センター	吉村,石田
		17 栄養管理part2	アバンセ	石田
		21 ターミナルカンファ	佐賀大学付属病院	中島
		22 回復期リハSTが生活を捉えるために“暮らしのグループ	中部病院	吉村,石田
	2月	2,3 脳卒中片麻痺患者の日常生活活動評価と治療介入	誠愛リハビリテーション病院	吉村
		8 好生館シンポジウム	佐賀メディカルセンター	江口,中島, 藤木
		9 H30年度訪問リハ・介護支援専門員共同研修会	りふれ(唐津)	石田
		23 佐賀県訪問リハ・介護支援専門員共同研修会	佐賀駅北館	吉村,石田
		25 H30年度第2回佐賀県在宅医療・介護連携サポート体制強化事業研修会	マリトピア	中島
		26 ポジショニングについて	シルバーランド天祐	藤木
	3月	7 地域連携口腔ケア研修会	好生館	石田
		11 佐賀県生活リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	石田
		20 緩和ケア研修会	佐賀大学付属病院	藤木・吉村

2018 Sagareha Hospital Annual

平成30年 通所リハビリテーション吉原活動

平成 30 年度 通所リハビリテーション吉原年間報告書

I. 実績

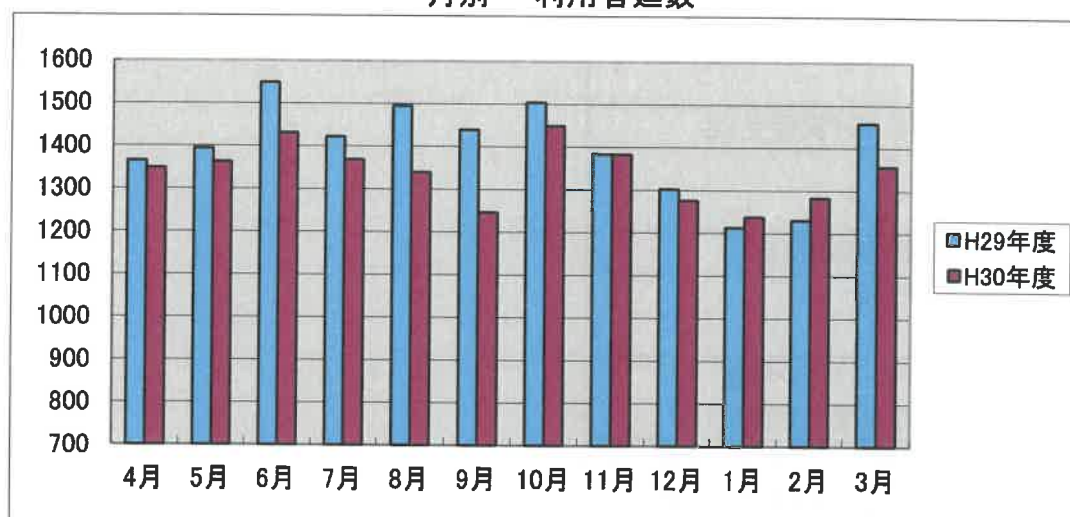
【利用者延べ人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1		53	62	62	49	49	50	62	74	61	56	57	55	690
要支援2		172	157	169	148	138	127	152	154	130	142	137	143	1769
日割り														0
要介護1	1～2	65	65	64	68	78	66	69	52	47	42	43	46	705
	2～3	18	23	27	28	26	24	23	23	24	23	25	28	292
	3～4	21	19	25	24	26	24	27	22	18	20	24	28	278
	4～5	29	34	26	39	40	30	37	43	40	47	51	52	468
	5～6	38	35	24	32	18	17	21	19	23	19	20	19	285
	6～7	384	394	433	420	417	392	462	413	372	392	395	438	4912
	7～8	6	10	4	4	5	3	8	8	6	8	8	8	78
要介護2	1～2	0	9	13	10	14	8	18	19	11	4	17	15	138
	2～3	5	8	9	7	6	9	7	7	7	8	8	8	89
	3～4	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	5
	4～5	13	15	22	26	23	20	28	31	28	21	30	26	283
	5～6	38	45	36	63	50	45	48	48	51	43	34	42	543
	6～7	209	214	240	199	213	200	230	228	205	193	215	216	2562
	7～8	5	5	4	4	3	2	5	3	4	4	4	4	47
要介護3	1～2	0	0	0	0	0	0	3	3	3	3	4	5	21
	2～3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	3～4	0	0	1	0	2	1	1	1	2	1	1	0	10
	4～5	24	20	25	32	37	20	38	35	36	26	27	33	353
	5～6	17	18	16	9	5	3	1	2	9	3	0	2	85
	6～7	185	169	163	131	128	154	160	153	151	145	149	155	1843
	7～8	4	4	4	4	3	0	0	0	0	0	0	4	23
要介護4	1～2	8	3	5	4	2	3	3	4	4	3	0	0	39
	2～3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	3～4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	4～5	4	4	5	4	7	3	5	2	5	5	6	6	56
	5～6	0	0	0	4	1	2	1	1	3	1	0	1	14
	6～7	46	45	54	55	49	38	34	34	30	24	21	17	447
	7～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	1～2	4	5	4	4	0	4	5	4	3	4	7	5	49
	2～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4～5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5～6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日平均人数		56	56	55	55	54	50	56	58	55	53	55	54	657
利用延べ人数		1349	1363	1431	1369	1340	1246	1449	1383	1276	1238	1283	1356	16083
リハマネⅠ		230	197	194	194	188	188	200	195	190	189	191	187	2299
リハマネⅡ		530	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
短期集中加算		110	75	45	53	49	57	70	105	71	59	57	61	742
入浴		50	585	589	608	599	589	523	619	578	514	522	548	6841
運動器向上		225	47	45	46	43	40	41	46	46	43	45	47	534
口腔機能	介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
向上	予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理学体制加算		30	77	82	86	86	98	81	98	82	68	56	71	956
体制強化	支1 72	17	17	17	15	14	15	17	18	17	17	19	18	201
	支2 144	30	28	29	28	26	26	29	28	26	28	28	27	333
	介護 18	1124	1144	1205	1172	1157	1069	1235	1155	1085	1041	1089	1158	13634
リハ体制		1023	1031	1082	1052	1027	955	1107	1043	985	953	985	1051	12294
食事数		450	1179	1181	1243	1191	1166	1086	1235	1208	1141	1100	1127	14055
介護		1124	1144	1205	1172	1157	1069	1235	1155	1085	1040	1089	1158	13633
予防		47	45	46	42	40	41	46	46	43	45	47	44	532
処遇		48519	48247	50490	48335	47104	44737	51171	48397	45553	44427	46012	47713	570705

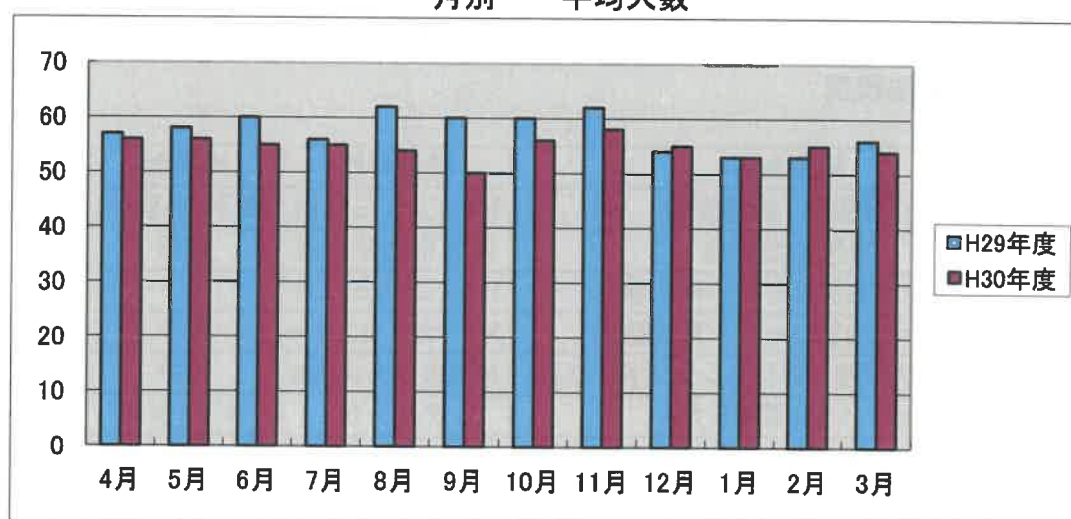
平成 30年度 通所リハビリテーション吉原 年間報告書 ②

Ⅱ. 実績グラフ

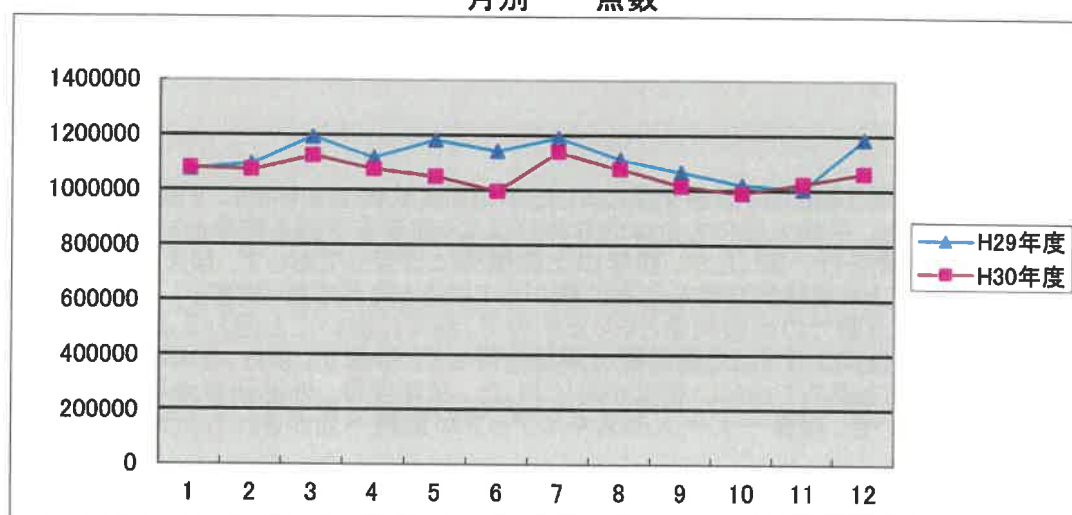
月別 利用者延数



月別 平均人数



月別 点数



年間利用者延べ人数: 16083 人

年間利用者延べ人数平均 1340 人

Ⅲ. 行事等／実習受け入れ

6月11日～ 16日まで	通所運動会
9月4日	国際福祉大学 OT実習生1名
9月10日～ 15日まで	通所敬老会
10月4日	致遠館中学職場体験3名
12月10日～ 15日まで	通所クリスマス会
1月28日～ 2月2日まで	柳川リハビリテーション学院 地域生活支援演習 実習生1名
3月20日	医療福祉専門学校 緑生館よOT実習生1名
3月23日	医療福祉専門学校 緑生館よPT実習生1名

Ⅳ. 学会・研修会等参加状況

日付	研修会名	開催場所	出席者
6月26日	介護保険 集団指導	ドゥイング三日月	木下・小副川
6月30日	看護協会総会	佐賀市文化会館	野田
10月21日	地域ケア会議リーダー育成研修	ドゥイング三日月	木下
11月11日	地域ケア会議リーダー育成研修	メディカルセンター	木下
12月1日	認知症予防推進プログラムシンポジウム	神崎市中央公民館	坂井
2月13日	セクハラ対策セミナー	アバンセ	木下・永田

コメント

介護報酬の改定により出来る限りの対策を講じましたが、保険点数は全体的に下回っている状況です。利用延べ数、平均人数にも全体的な伸びはなく前年を下回る結果となっています。外部への営業活動を行いました、前年以上の獲得には至っておらず、加えて抹消者、入院者が多く出たことも全体的な落ち込みに繋がっていると考えております。

今年度は、改定後の保険点数での比較対象となりますので、全てにおいて上回れるように外部への営業活動、効率性向上するよう送迎便の調整を行っていきます。また、30年度は職員の研修会等への参加も極めて少ない状況がありました。次年度は、外部研修会等への積極的な参加を促していき、職員一人一人のスキルアップが業務へ活かされるように取り組んでいきます。

2018 Sagareha Hospital Annual

平成30年 デイサービス吉原活動報告

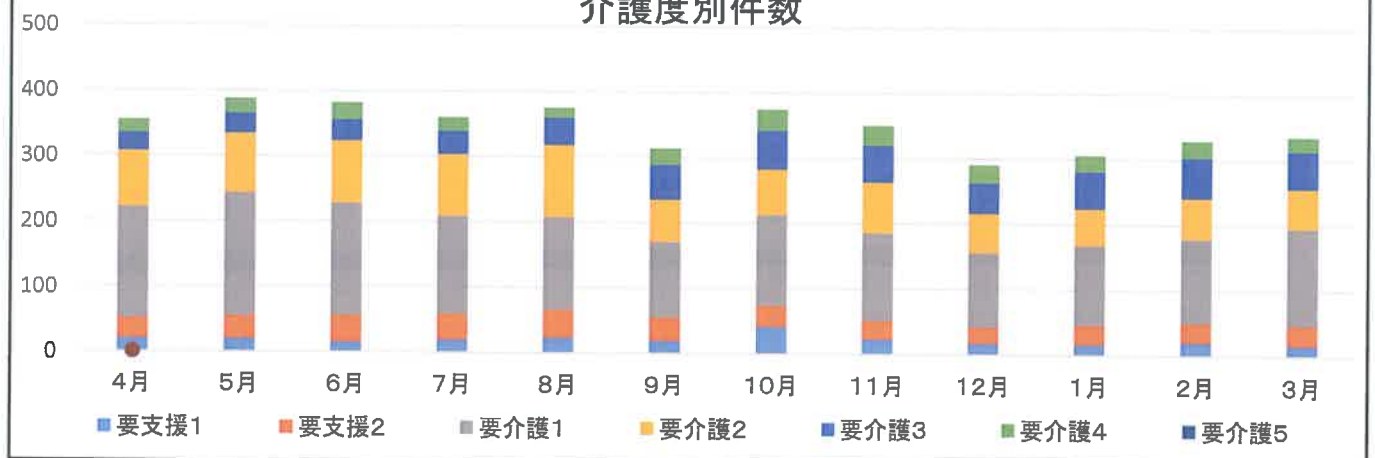
平成30年度 デイサービス吉原活動報告

I. 実績

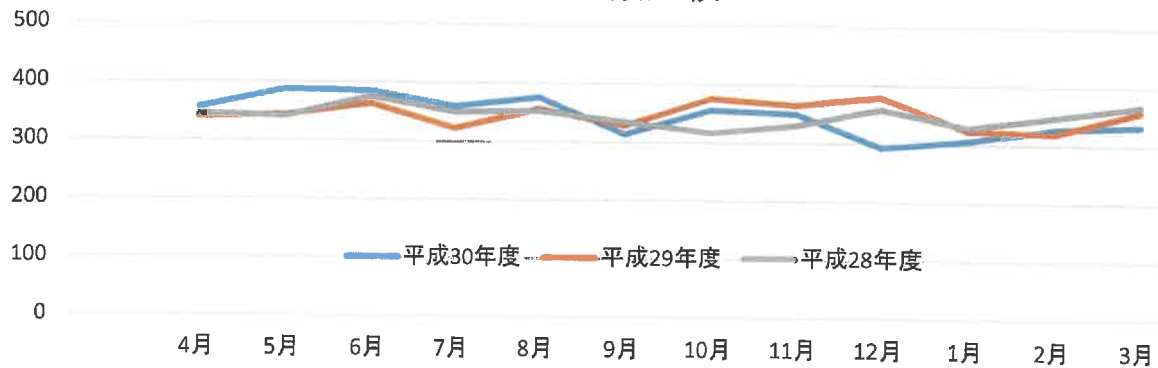
【利用者延べ人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	総合	20	20	15	19	23	19	16	23	17	16	20	16	224
	日割							25						25
要支援2	総合	32	35	41	40	43	36	33	29	25	30	30	31	405
	日割													0
要介護1	7～8	28	25	31	17	18	4	5	7	8	10	11	13	177
	6～7	42	51	56	45	51	45	53	51	39	51	56	69	609
	5～6	98	102	80	84	71	64	77	74	57	60	59	66	892
	4～5	1	9	4		1		2		4		2		23
	3～4		1		3		2	1	1	5				13
要介護2	7～8	20	19	25	29	40	19	22	27	25	26	27	26	305
	6～7	54	57	59	56	59	35	38	40	21	21	21	21	482
	5～6	12	14	12	10	12	9	10	11	11	9	8	7	125
	4～5		1				1			2		6	6	16
	3～4						1			2	1	1	1	6
要介護3	7～8	8	8	8	8	8	12	24	28	17	29	33	33	216
	6～7	4	2	2	4	7	23	15	13	15	16	16	15	132
	5～6	15	21	23	24	26	18	20	14	14	11	13	10	209
	4～5	1				1		1	2		1			6
	3～4						1			1				2
要介護4	7～8	4	4	4	4	3	8	10	10	12	10	10	8	87
	6～7	9	13	19	14	12	17	22	20	14	15	16	14	185
	5～6	7	6	3	3					2				21
	4～5													0
	3～4													0
要介護5	7～8													0
	6～7													0
	5～6													0
	4～5													0
	3～4													0
暫定														0
体験		2								1				3
利用延べ人数		357	388	382	360	375	314	374	350	292	306	329	336	4,163
平均利用人数		17.9	20.4	17.4	18.0	17.0	15.7	17.8	17.5	13.9	16.1	16.5	16.0	17.0
入浴介助加算		258	281	281	276	283	236	270	268	225	235	257	259	3,129
運動器機能向上加算		10	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10	127
個別機能訓練加算(I)		303		326	301	309	258	298	298	249	259	278	289	3,168
口腔機能向上加算		8	12	16	16	14	18	18	18	18	16	16	18	188
体制強化	要支援1	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	要支援2	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	67
	介護	303	333	326	301	309	259	300	298	249	260	278	289	3,505
日常生活費		355	388	382	360	375	314	353	350	293	307	328	333	4,138
食事数		353	381	374	356	375	309	343	343	286	299	320	325	4,064

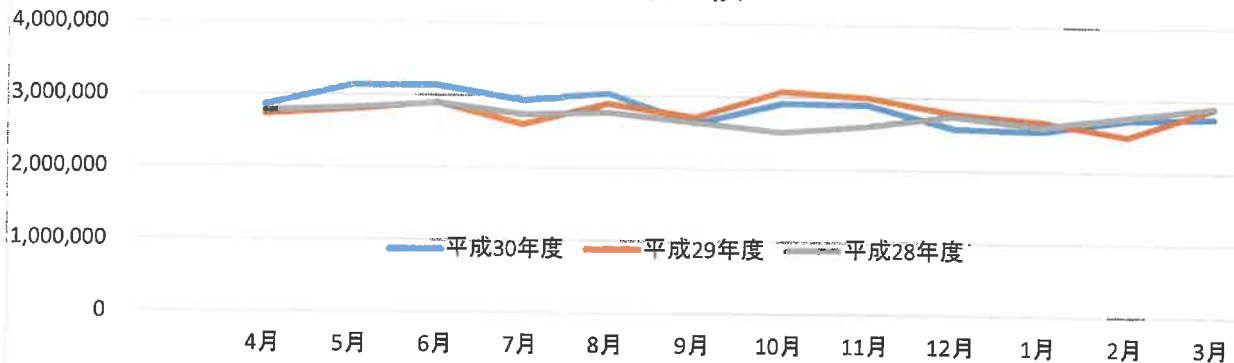
介護度別件数



利用延べ人数比較



売り上げ比較



Ⅱ. 概況

①職員の配置

管理者 古川 展匡
 看護職員 藤田 敦子
 生活相談員 野中 琴恵 ・ 柿塚 真大
 機能訓練指導員 藤田 敦子
 介護職員 緒林 智子 江頭 佐代子 力久 真佐子
 堤 富美(パート) 矢ヶ部 裕紀子(パート)

②サービス利用料

要介護の方

		要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
事業所規模		通常規模				
サービス提供時間	3-4時間	362円	415円	470円	522円	576円
	4-5時間	380円	436円	493円	548円	605円
	5-6時間	558円	660円	761円	863円	964円
	6-7時間	572円	676円	780円	884円	988円
	7-8時間	656円	761円	883円	1,003円	1,124円
入浴介助加算		1日につき		50円		
個別機能訓練加算(Ⅰ)		1日につき		46円		
サービス提供体制加算(Ⅱ)		1日につき		6円		
口腔機能向上加算		月2回		150円		
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)		(基本サービス費+各種加算)×0.059				

要支援の方

	要支援1		要支援2	
介護予防通所介護費	1,647円	月5回以上利用時	3,377円	月9回以上利用時
	378円	月1～4回利用時	389円	月1～8回利用時
運動機能向上加算	225円		225円	
サービス提供体制加算(Ⅱ)	24円		48円	
介護職員処遇改善加算(Ⅱ)	(基本サービス費+各種加算)×0.059			

その他

日常生活費	1日につき	25円
食事費	1食	500円

Ⅲ. 所見

平成30年度は、介護保険の改正に伴う利用料金等一部変更がありましたが、利用者様や各居宅支援事業所への説明を行い、利用数・売り上げ共に、上向きにて年度初旬をすすめる事ができました。冬季に入り、体調不良等でのお休みや入院、前記に伴う利用終了が相次ぎ、利用数等に落ち込みがみられました。新規利用の依頼を各居宅支援事業所にお願ひし、年度終わり頃より新規の受入れをできているところです。

人員の面では、スタッフの異動等のため業務がスムーズに行えない事も一時あり、屋外レクが行えず、デイサービス内でのレクレーションの充実に努めました。来年度はお花見ドライブなどの屋外レクを計画しているところです。

今後も、新規受付や利用曜日増日などの依頼や受入れを随時行い、利用数増加ができるよう努めます。

Ⅳ. 行事録

4月1日	古川 展匡(異動・入)
4月1日	藤田 敦子(異動・入)
4月1日	岩橋 邦尚(異動・出)
4月1日	金子 俊彦(異動・出)
6月26日	介護保険集団指導
7月26日 ~	おやつ作りレク「ところ天突き」
8月20日 ~	季節レク「夏祭り」
9月18日 ~	おやつ作りレク「コーヒーゼリーパフェ作り」
10月22日 ~	物作りレク「小物入れ作り」
11月19日 ~	おやつ作りレク「梅ヶ枝餅作り」
12月17日 ~	クリスマスイベントレク「クリスマスケーキ作り」
1月21日 ~	季節レク「新年会」
2月18日 ~	おやつ作りレク「パン DE 恵方巻き」

Ⅴ. 院外活動

- 4月5日 第37回春の「川を愛する週間」期間中の地域河川清掃活動(全職員)
- 10月7日 第37回秋の「川を愛する週間」期間中の地域河川清掃活動(全職員)

2018Sagareha Hospital Annual Report

平成30年度 ドリームハウス吉原活動報告

平成30年度 ドリームハウス吉原 年度報告書

1.実績

【介護度別の入居者延数】

単位:人

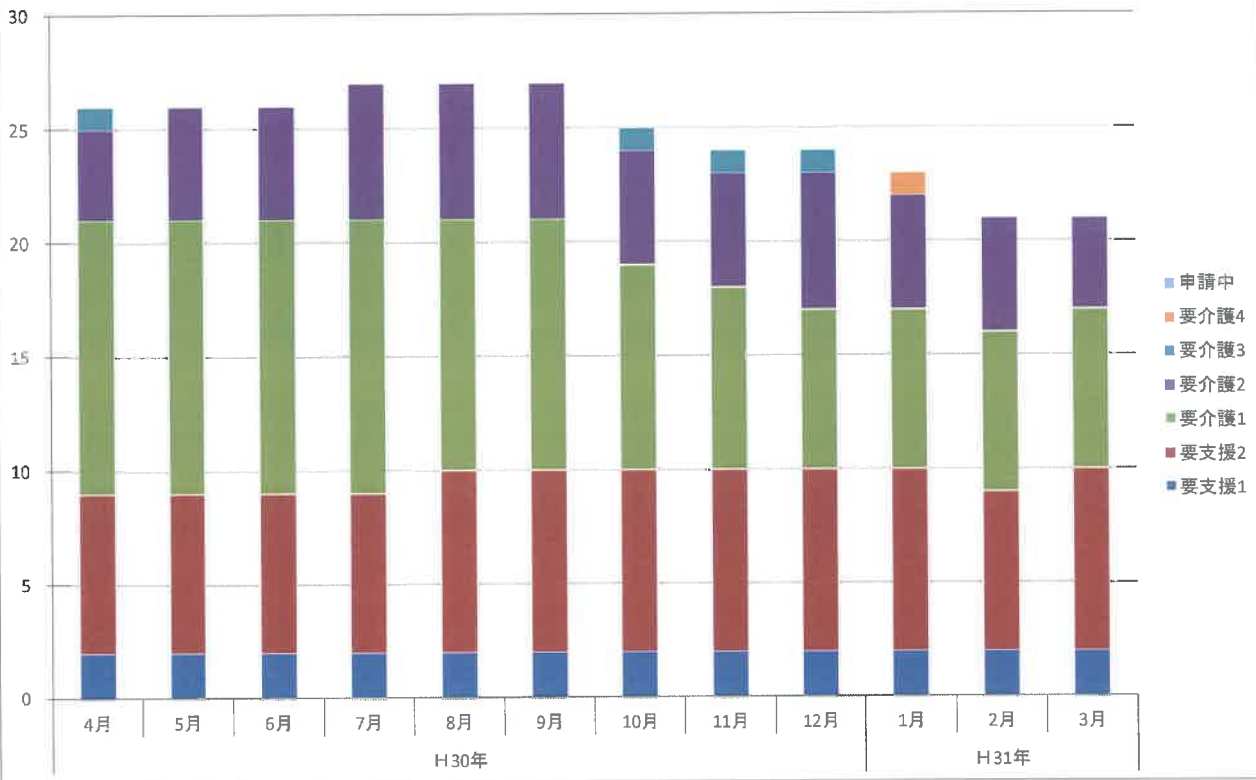
年 月 区 分	H30年									H31年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0
要支援2	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	7	8	91	7.6
要介護1	12	12	12	12	11	11	9	8	7	7	7	7	115	9.6
要介護2	4	5	5	6	6	6	5	5	6	5	5	4	62	5.2
要介護3	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4	0.3
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	26	26	26	27	27	27	25	24	24	23	21	21	297	24.8

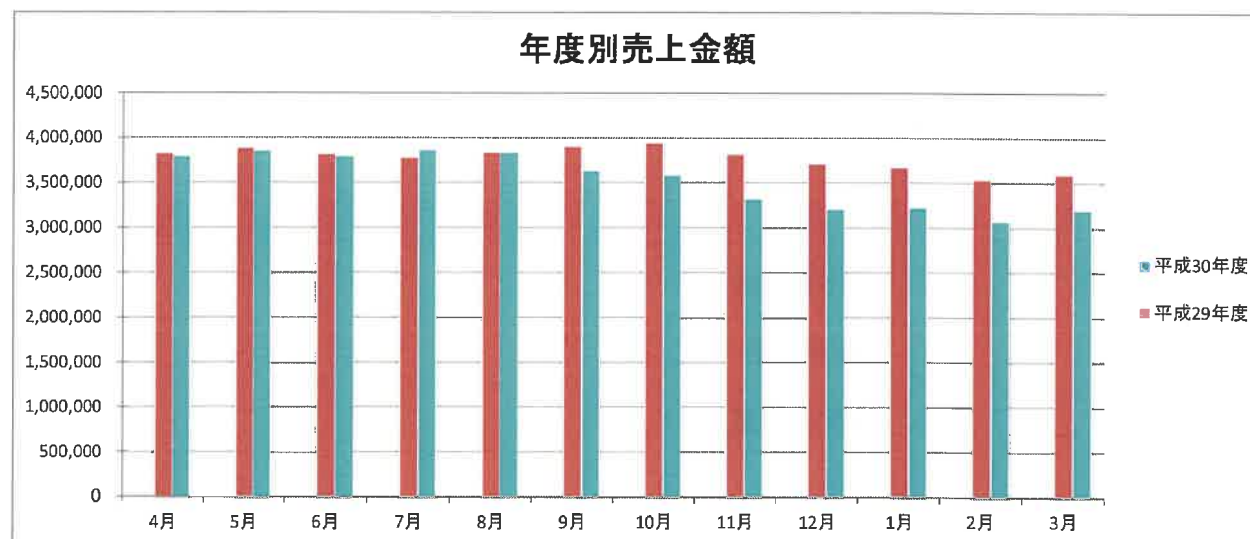
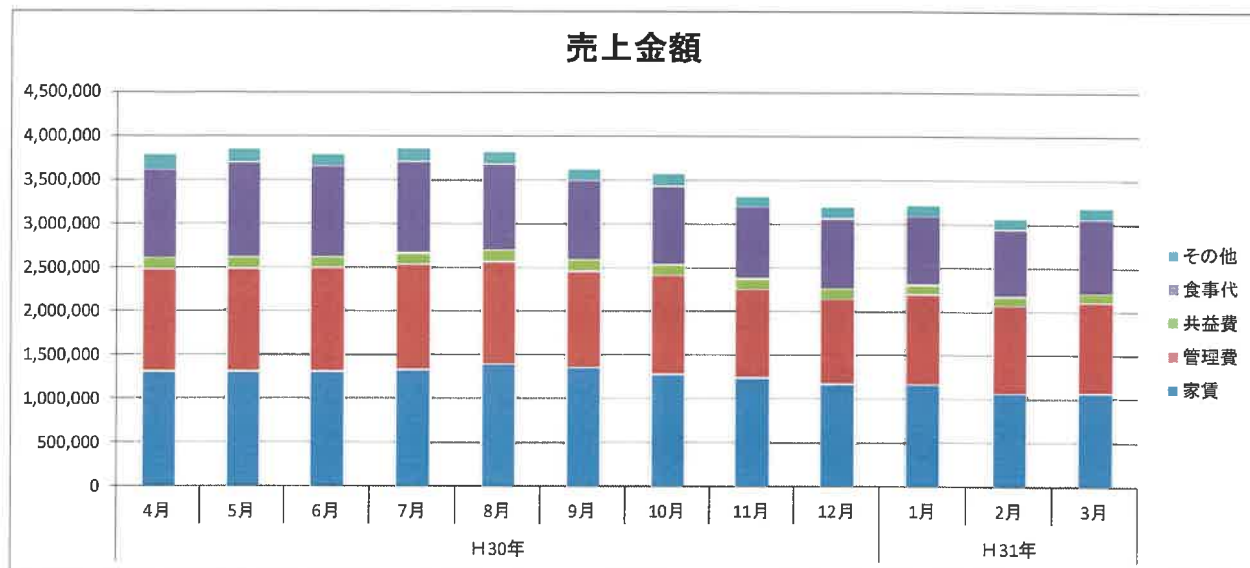
【売上金額】

単位:円

年 月 区 分	H30年									H31年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
家賃	1,311,750	1,316,750	1,315,080	1,333,380	1,400,000	1,358,450	1,285,070	1,250,000	1,177,500	1,171,760	1,073,430	1,075,000	15,068,170	1255680.8
管理費	1,172,620	1,178,500	1,184,000	1,211,520	1,170,000	1,105,000	1,131,000	1,010,000	971,340	1,028,000	1,004,360	1,040,000	13,206,340	1100528.3
共益費	130,000	130,000	130,000	130,000	135,000	132,500	125,000	120,000	117,500	115,000	107,500	105,000	1,477,500	123125.0
食事代	1,009,866	1,084,768	1,034,456	1,040,046	984,138	909,296	895,720	827,010	806,054	778,472	765,050	845,048	10,979,924	914993.7
その他	184,635	157,697	145,548	161,109	151,439	134,854	153,214	125,055	137,518	135,616	130,127	136,128	1,752,940	146078.3
総合計	3,808,871	3,867,715	3,809,084	3,876,055	3,840,577	3,640,100	3,590,004	3,332,065	3,209,912	3,228,848	3,080,467	3,201,176	42,484,874	3540406.2

介護度別の入居者延数





2.概況・所見

下半期に入り退去者が続き空室が増加する状況となった。退去の主な理由は、①入院後にADLの低下によりドリームに戻れなかった(3名) ②入院されたがお亡くなりになった(4名)の2点が挙げられます。高齢の入居者様も多く、急激な体調の変化も考えられるので、普段から見学者や紹介者を整理した見込みリストを作成し、空室期間を短縮する必要があると考えます。

1月より職員の勤務体制が平日は2～3人となり、今後はサービスの質を落とさないよう他部署にも協力頂きつつ業務の効率化を図っていくことが求められています。同時に1名勤務の時間帯や休日の緊急時対応は喫緊の課題として考えています。

今後も入居者様の安心で快適な暮らしの一助となれるよう、日々の業務に取り組んで参ります。

3.活動内容

平成30年	5月12日	昭和大衆歌謡楽団公演見学
	7月30日	夢館作品展 作品制作
	8月4日	佐賀城下花火大会見学
	8月22日	慰問 金曜会(三味線・相撲甚句)
	9月16日	夢館 敬老会
	11月13日	バルーンミュージアム見学
	12月12日	夢館クリスマス会
	12月18日	イルミネーション見学
	12月24日	聖歌隊コーラス(佐賀キリスト福音協会)
平成30年	3月15日	佐賀城下ひなまつり見学
	3月20日	お話会 講師 チャン・ミヨン 先生
	3月31日	北川副さくらまつり見学

定期行事

生け花教室

歌声喫茶

絵手紙教室

平成 30 年 ホームヘルプサービス吉原活動報告

平成30年度 ホームヘルプサービス吉原 年間活動報告書

1.実績、利用回数

サービス / 月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要 支 援	予防Ⅰ	4	4	4	4	5	4	4	5	3	0	0	0	37
	予防Ⅰ・同一	8	7	12	19	15	8	9	9	9	8	8	8	120
	予防Ⅱ	15	18	12	9	9	8	8	9	8	8	8	9	121
	予防Ⅱ・同一	16	25	33	22	16	25	23	16	19	17	16	17	245
	予防Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防Ⅲ・同一	23	10	11	11	24	22	30	25	24	25	24	22	251
	予防Ⅱ・同一・日割	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	予防Ⅲ・同一・日割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
	初回加算	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
	合 計(回 数)	66	73	72	65	69	67	75	64	63	58	56	66	794
処遇改善加算(単位)		2,577	2,844	2840	2233	2,402	2,545	3,029	2,258	2,258	2,098	2,098	2,509	29691
要 介 護	身体介護1・同	15	15	15	17	25	40	37	39	52	43	36	38	372
	身体介護1・同・夜	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	身体介護1	7	8	9	5	0	0	0	0	0	8	0	0	37
	身体介護2・同	47	57	53	61	60	64	73	77	60	49	60	58	719
	身体介護2・同・夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体介護2	3	0	0	0	0	0	0	0	6	7	9	5	30
	身体介護3・同	5	4	5	6	5	6	9	2	14	14	16	20	106
	身体1生活1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	身体1生活1・同	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	身体1生活2・同	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
	身体1生活2	5	4	5	5	4	5	4	4	5	3	4	6	54
	身体1生活3		0	2	2	2	2	3	2	1	2	1		17
	身体2生活1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	身体2生活1・同	9	11	13	13	13	5							64
	身体2生活3	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活援助2・同	63	60	59	57	48	45	45	40	47	45	40	44	593
	生活援助3・同	54	69	61	48	49	37	36	24	19	20	23	26	466
	生活援助3	24	12	7	6	5	6	6	6	5	6	6	4	93
	初回加算	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	4
	自己負担	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自費利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計(回 数)	257	247	229	220	211	210	213	194	210	203	195	201	2590
処遇改善加算(単位)		9,522	8,686	8,022	7,973	7,674	7,623	7,884	7,142	8,678	8,416	8,355	7,798	97,773

介護度別利用者延数

単位:人

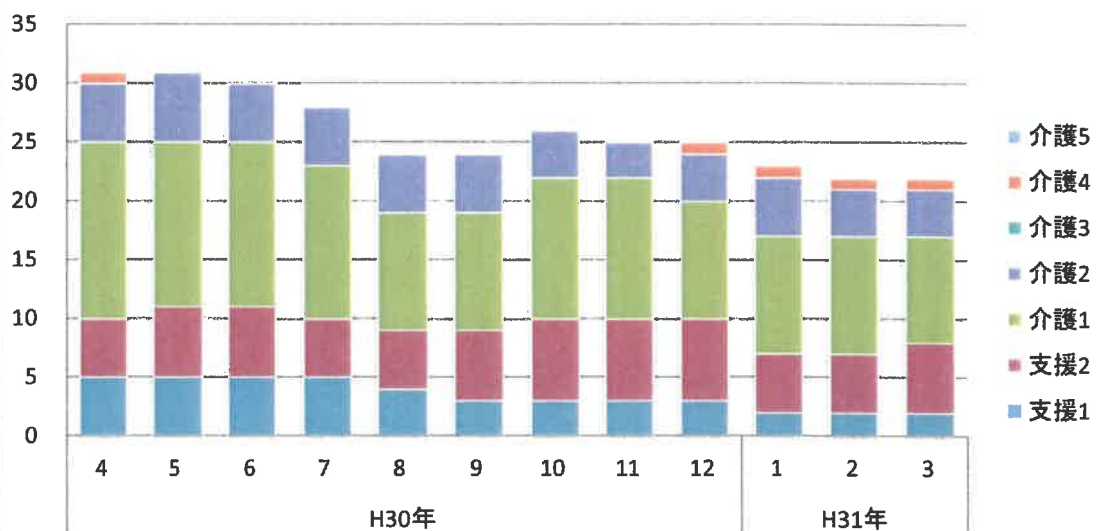
年 区分	H30年									H31年			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
支援1	5	5	5	5	4	3	3	3	3	2	2	2	42
支援2	5	6	6	5	5	6	7	7	7	5	5	6	70
介護1	15	14	14	13	10	10	12	12	10	10	10	9	139
介護2	5	6	5	5	5	5	4	3	4	5	4	4	55
介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	5
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31	31	30	28	24	24	26	25	25	23	22	22	311

売上金額

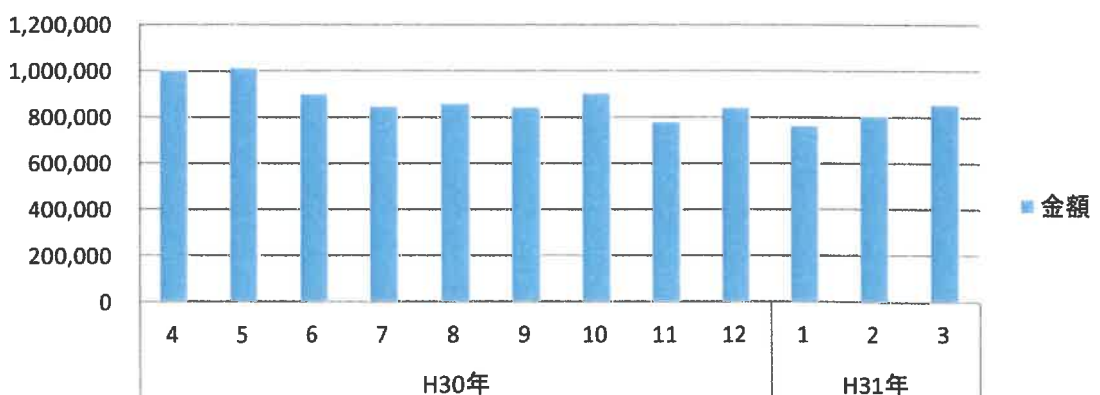
単位:円

年 区分	H30年									H31年			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
金額	1,004,070	1,014,670	901,440	847,030	859,990	843,920	905,780	780,050	842,500	764,060	805,940	855,480	10,424,930

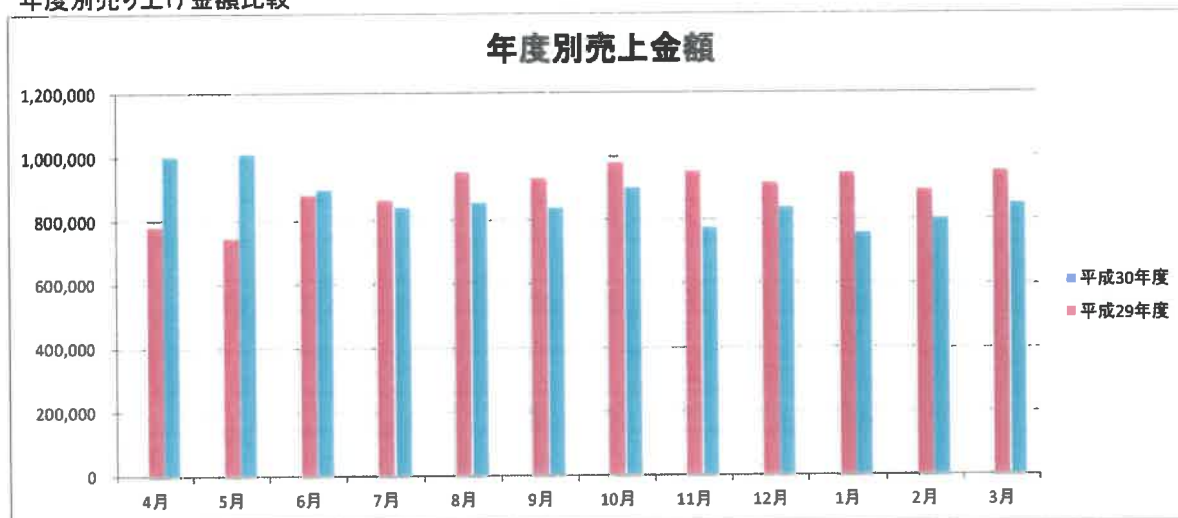
利用者延数



売上金額



年度別売り上げ金額比較



2.概況・所見

今年度売上10,424,930円(前年度10,840,210円)、前年度に比べると-415,280円となっています。4月、5月は外部の利用者様の訪問が毎日入っていたため、収益に繋がっていました。亡くなられたり、ドリームハウス退去に伴う利用者様の人数が減ってきた7月くらいから、収益が下がっています。ドリームハウスの利用者様の入退居により収益に変動が見られています。外部の訪問件数を伸ばす事を心がけてきましたが、前年度の外部利用者様が7件に対し、今年度は5件となっています。外部訪問は、同一建物減算が無いため、今後も稼働時間、移動時間を考慮しながら、外部の訪問件数を増やして行きたいと考えています。

3.活動内容

- ・ヘルパーミーティング(月1回)
- ・新規利用者様サービス開始時ミーティング
- ・院内勉強会参加

2018 Sagareha Hospital Annual

平成30年 グループホーム吉原活動報告

平成30年度 グループホーム吉原 年度報告書

1. 実績 別紙①②参照

2. 年度活動報告

開催日	内容	参加人数	
		入居者	家族
4/4	お花見(病院中庭)	9	
4/20	モラージュ買い物ツアー	5	
5/8	夢を叶えますプロジェクト「おうちに帰りたい」	1	2
5/11	料理レク「パンケーキ」	9	
5/22	ポピー見学	9	
6/21	料理レク「水まんじゅう」	8	
7/18	料理レク「バナナ蒸しパン」	9	1
7/18	防災訓練	9	
7/24	そうめん流し大会	9	6
7/28	北川副地区ふれあい夏祭り	3	
8/4	栄の国祭り花火見学	2	
8/23	料理レク「かき氷」	9	
9/16	夢館 敬老会	9	11
11/9	11月誕生会	9	2
11/13	佐賀バルーンミュージアム見学	9	
11/21	防災訓練	9	
12/12	夢館クリスマス会	9	9
12/22	北川副小学校 しめ縄作り	1	
12/30	料理レク「ぜんざい」	8	3
12/15	夢館クリスマス会	8	8
12/16	しめ縄づくり	1	
1/26	料理レク「おはぎ作り」	9	
2/3	節分(豆まき)	8	
2/16	2月誕生会①	9	1
2/19	2月誕生会②	9	6
3/15	佐賀城下ひな祭り	9	
3/21	3月誕生日会	8	3
3/31	桜まつり(南佐賀公園)	8	

この他にも、毎月DHで行われている、歌声喫茶・絵手紙教室・折り紙教室への参加を行っています。

運営推進会議の開催 (1回/2ヶ月)

開催日: 4/18 6/6 8/29 10/24 12/19 2/13

1/18 外部評価(社会福祉協議会) 受審

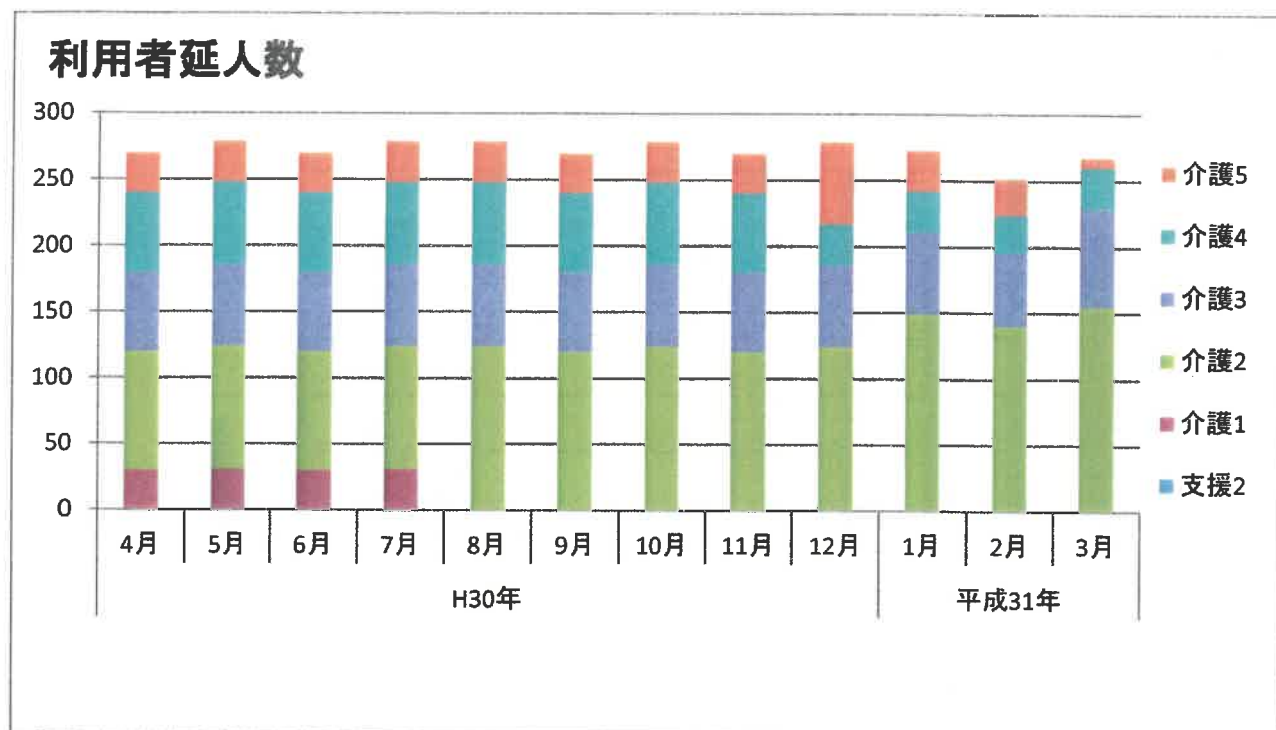
1/15 指定地域密着型サービス事業者等の実地指導(佐賀中部広域連合)

9/3～9/7 佐賀女子短期大学実習 4名

3. 概況・所見

入居されている方は高齢の方が多く、年々体力の衰えがみられ介助量も増えてきています。体力の維持向上として毎日歩行散歩や体操を1～2回行っています。また、季節を感じて頂けるように屋外の散歩や活動での飾り作り等を行ってきました。地域の行事においては車やスタッフを手配し入居者全員が参加できるようにしました。今後も季節を感じられる行事を行い、体力維持に努めていきたいと思ひます。

別紙①



利用者延人数

単位:人

	H30年									平成31年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護1	30	31	30	31	0	0	0	0	0	0	0	0	122
介護2	90	93	90	93	124	120	124	120	124	149	140	155	1422
介護3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	74	742
介護4	60	62	60	62	62	60	62	60	31	31	28	31	609
介護5	30	31	30	31	31	30	31	30	62	31	28	8	373
合計	270	279	270	279	279	270	279	270	279	273	252	268	3268

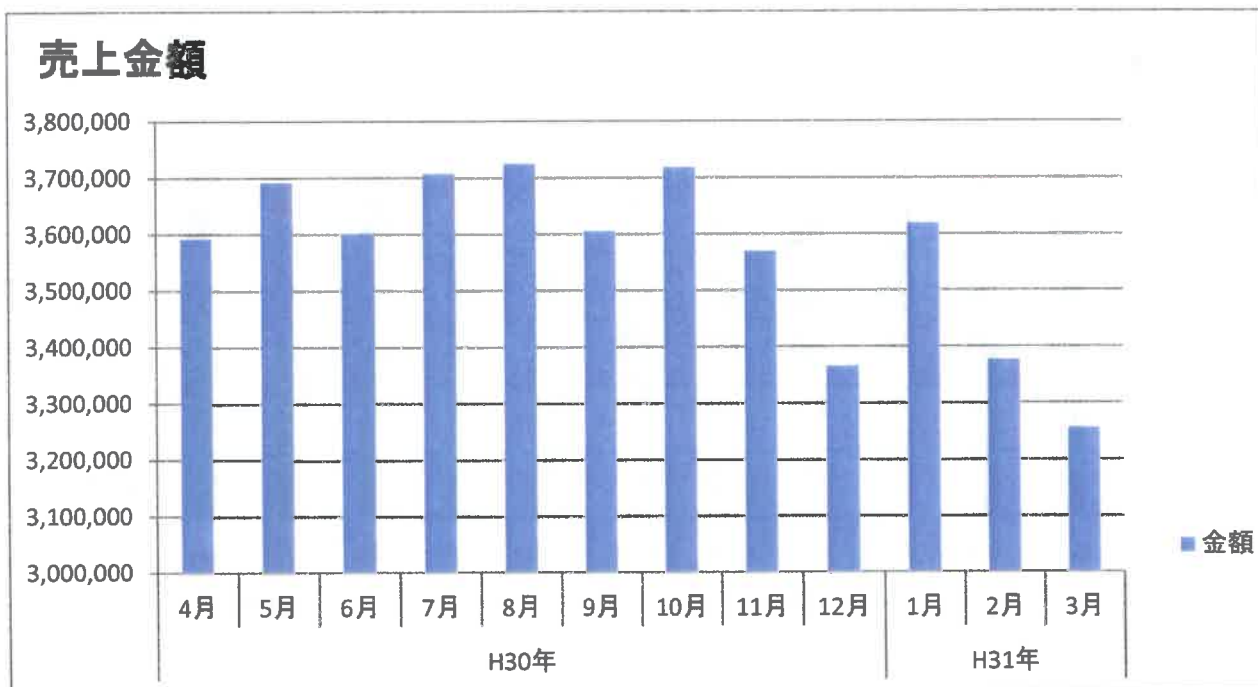
入退去状況

単位:人

	H30年									H31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退居	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

年末頃より体調を崩される方が多く、H30年度は医療的な処置が必要となり2名の方が退去されました。また、2名の方が数週間の入院をされました。早期に対応できたことで家族の方々も喜ばれました。今後も全身状態の観察を行い早期発見に努めていく。

別紙②



売上金額

単位:円

	H30年									H31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
金額	3,592,498	3,691,948	3,602,088	3,707,722	3,725,346	3,605,508	3,718,412	3,569,550	3,365,618	3,618,836	3,376,826	3,256,302
合計	42,830,654											

売上金額(内訳)

単位:円

	H30年									H31年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請求合計(保険)	2,604,730	2,691,570	2,611,390	2,698,230	2,710,630	2,623,390	2,710,630	2,582,990	2,403,420	2,648,400	2,428,080	2,343,010
食事	398,700	407,800	397,850	409,300	410,150	399,800	413,800	392,200	366,650	400,750	371,450	357,350
家賃	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	441,250	450,000	433,000
管理費	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	44,250	45,000	43,400
その他	94,068	97,578	97,848	105,192	109,566	87,318	98,982	99,360	100,548	84,186	82,296	79,542
合計	3,592,498	3,691,948	3,602,088	3,707,722	3,725,346	3,605,508	3,718,412	3,569,550	3,365,618	3,618,836	3,376,826	3,256,302

12月と3月に医療が必要で4名の方が病院に入院し、2名の方が退去されたことで売り上げが落ちている。今後は安定した運営が実施できるように体調管理を行い運営に繋げていく。

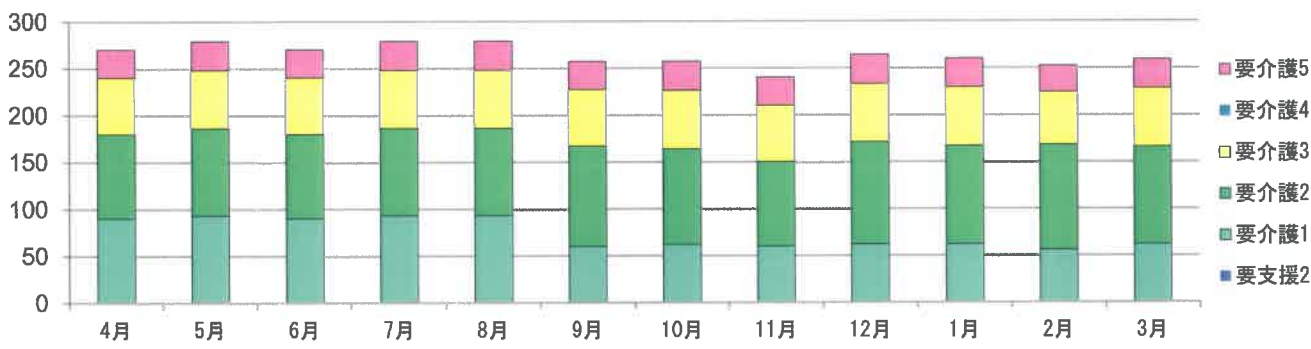
平成 30 年 グループホーム福寿荘活動報告

平成 30 年度 グループホーム福寿荘 年度報告

1. 実績

利用者延人数

単位：人

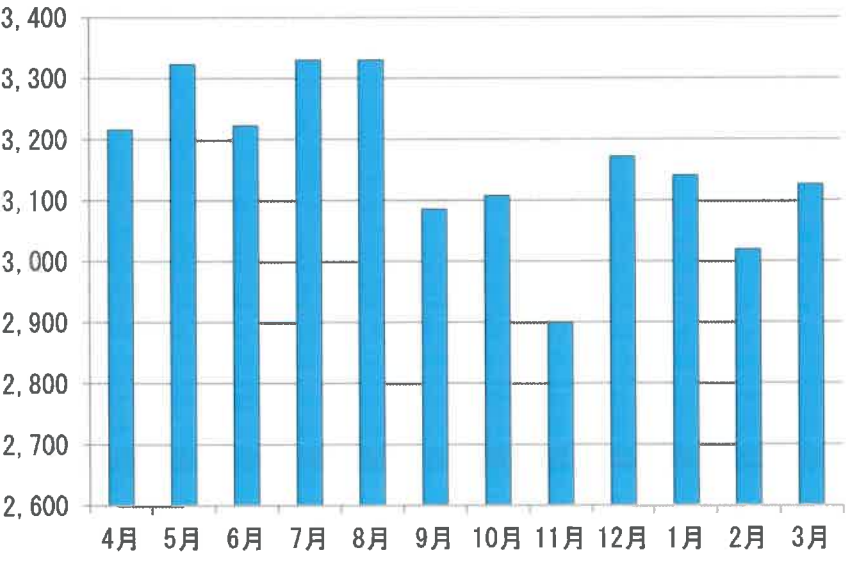


単位：人

	平成 30 年									平成 31 年			合計
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
要支 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介 1	90	93	90	93	93	60	62	60	62	62	56	62	883
要介 2	90	93	90	93	93	107	102	90	109	105	112	104	1,188
要介 3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
要介 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介 5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
合計	270	279	270	279	279	257	257	240	264	260	252	259	3,166

売上金額

単位：千円



年	月	売上金額(円)
H 30 年	4 月	3,215,570
	5 月	3,322,780
	6 月	3,222,230
	7 月	3,329,440
	8 月	3,329,440
	9 月	3,084,990
	10 月	3,106,890
	11 月	2,898,760
	12 月	3,171,300
	1 月	3,140,340
	2 月	3,019,070
	3 月	3,125,520
合計		37,966,330

2. 年間活動報告

- H30. 4. 9 チューリップ鑑賞（嘉瀬公民館周辺）
H30. 4. 12 チューリップ鑑賞（嘉瀬公民館周辺）
H30. 4. 28 入居者誕生日会、料理レク「バースデーケーキ作り」
H30. 7/ 4 セタ飾り
H30. 7. 17 入居者誕生日会誕生日会（ご家族参加）
H30. 8. 6 入居者誕生日会（ご家族参加）
H30. 9. 12 福寿荘敬老会（ボランティア様3団体10名）
H30. 10. 20 入居者誕生日会
H30. 10. 29 消防署立入検査
H30. 11. 9 入居者誕生日会
H30. 11. 11 西与賀文化祭（作品出展）※搬入＝11/10（土）、搬出＝11/11（日）
H30. 11. 29 福寿荘火災避難訓練（日中想定）＝ 避難タイム：4分15秒
H30. 12. 18 入居者誕生日会
H30. 12. 12 夢館クリスマス会（8名参加）
H31. 1. 1 お節料理、屠蘇
H31. 1. 22 入居者誕生日会
H31. 2. 1 恵方巻きづくり、節分豆まき
H31. 2. 20 地域密着型サービス外部評価受審（社会福祉協議会）
H31. 3. 1 雛すし
H31. 3. 5 佐賀城下ひなまつり見学（佐賀城本丸）
H31. 3. 7 入居者誕生日会

* その他

- 夢館行事（歌声喫茶、生花教室、絵手紙教室）への参加
西与賀公民館行事（とまりぎ、ひらけごま）への参加
貼り絵やカレンダー製作、近隣へのドライブ散歩など随時行う
訪問理容 年間6回（偶数月）

3. 医療機関連携

- 訪問診療 毎週1回（火）佐賀リハビリテーション病院 富安 Dr
H30. 6. 13 歯科検診（しほデンタルクリニック）
H30. 11 月 インフルエンザワクチン予防接種、高齢者健診
ほか随時受診

4. スタッフの異動

- H30. 4. 1 管理者/看護師 岩橋邦尚へ（篠原文代より交代）
- H30. 4. 1 ケアワーカー 平山知弘 佐賀リハ HP 2 階病棟から異動

5. 研修等

- H30. 4. 10 介護保険制度改正に係る介護保険事業者説明会
- H30. 6. 18 認知症介護実践者研修（岩橋、緒方）～7/27
- H30. 10. 22 佐賀県認知症対応型サービス事業所管理者研修
- H30. 10. 23 佐賀県認知症対応型サービス事業所管理者研修
- H31. 3. 13 褥瘡について
- H31. 3. 15 NST勉強会
- H31. 3. 20 感染症勉強会

6. 実習受け入れ

- H30. 8. 20～ 8. 24 佐賀女子短大（3 名）
- H30. 9. 3～ 9. 7 佐賀女子短大（3 名）

7. 施設外活動

- H30. 5. 25 第 1 回運営推進会議
- H30. 7. 25 第 2 回運営推進会議
- H30. 9. 19 第 3 回運営推進会議
- H30. 11. 21 第 4 回運営推進会議
- H31. 1. 23 第 5 回運営推進会議
- H31. 3. 20 第 6 回運営推進会議
- H30. 6. 25 平成 30 年度介護サービス事業者等に係る集団指導
- H30. 12. 2 西与賀校区防災避難訓練（職員 2 名参加）
- H31. 3. 20 城西地域ネットワーク会議

平成 30 年度は退居者 2 名、入院が延 4 名あり利用率の低下がありました。特に 9 月から 11 月においては入院と退居が多かったため売上が目立って低下しています。

入居者の平均年齢は 88.6 歳(令和元年 5 月時点)となり年々介助量が増えてきています。持病等での受診も増えてきており、日頃から健康状態の観察を行うとともに、運動などに取組み体力維持に努めていきたいと思っています。

〈平成 30 年度の状況〉退居：2 名(8 月、11 月)、入居：2 名(9 月、12 月)、入院：延 4 名